RasterLink Pro5 TA

ソフトウェア RIP

ラスターリンクプロ 5 TA

リファレンスガイド

TS シリーズ編
DS シリーズ編
Tx シリーズ編
TPC シリーズ編

カラーインクジェットプリンタ “TS シリーズ ”、“DS シリーズ ”、“Tx シリーズ ”、“TPC シリーズ ” 用の RasterLinkPro5 TA の機能について説明しています。

株式会社ミマキエンジニアリング

Version 1.5
D202032-15

マニュアルの種類と使い方

本装置には、次の説明書が付属しています。

インストールガイド

RasterLinkPro5 SG/RasterLinkPro5 IP/RasterLinkPro5 TA のインストール方法と RasterLinkPro5 の設定方法を説明します。

ネットワーク接続ガイド

RasterLinkPro5 へネットワーク接続するための設定方法を説明します。(マニュアル CD に PDF で保存されています)

リファレンスガイド

プリンタ共通編と各プリンタ編に分かれて機能および操作方法など、RasterLinkPro5 SG/RasterLinkPro5 IP/RasterLinkPro5 TA を使用していく上で必要な設定項目について説明しています。

お使いのプリンタに合わせたリファレンスガイドをお読みください。(マニュアル CD に PDF で保存されています)

今読んでいる取扱説明書です。

ファームウェアアップデート取扱説明書

ミマキ製プリンタのファームウェアをアップデートするソフトウェア使用方法について説明します。
(マニュアル CD に PDF で保存されています)

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複写することは固くお断りいたします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更等により、仕様面において本書の記載事項とが一部異なる場合があります。ご了承ください。
- 本ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行する以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してのメディア（ワーク）等の損失、メディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

この取扱説明書について

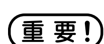
本書は、インクジェットプリンタ “DS シリーズ ”, “Tx シリーズ ” に作図するための “RasterLinkPro5 TA” の取り扱いについて説明しています。

本文中の表記について

メニューに表示される項目は、“ フルカラー ” のように “” で囲っています。

ダイアログに表示されているボタンは、設定終了 のように ☐ で囲っています。

マークについて



操作を行う上で、注意する点を説明しています。



知っていると便利な事について説明しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

用語について

ジョブ : RasterLinkPro5 TA が取り扱う印刷ファイルのことを “ ジョブ ” と称します。Adobe Illustrator などのアプリケーションソフトウェアから出力した各種フォーマットの入力データを RasterLinkPro5 TA にスプールすると RasterLinkPro5 TA に登録され、ジョブになります。

幅 : RasterLinkPro5 TA の設定画面で表示する “ 幅 ” とは、プリンタのヘッドが動く方向（Y 方向）を指します。

送り : RasterLinkPro5 TA の設定画面で表示する “ 送り ” とは、プリンタのメディアが動く方向（X 方向）を指します。

FineCut : ミマキエンジニアリング製ソフトウェアです。Adobe Illustrator のプラグインソフトでカットデータを生成します。

SimpleStudio : ミマキエンジニアリング製ソフトウェアです。印刷データ、カットデータを簡単に作成できます。

目　次

マニュアルの種類と使い方 2

ご注意 3

この取扱説明書について 4

本文中の表記について 4
マークについて 4
用語について 4

ジョブの編集 10

画像編集 10

画像編集画面 10
サムネイルリスト 11
複数ジョブの入れ替え 11
レイアウトプレビュー 12
TPC 使用時にプレビュー画面に表示される赤い線について 13
画像を拡大 / 縮小する（スケール） 14
倍率を指定して拡大／縮小して印刷 14
画像のサイズを指定して拡大／縮小して印刷 15
画像の幅方向と送り方向の比率を変えて印刷 15
印刷データの向きを変えて印刷（回転） 16
ミラー印刷（ミラー） 17
メディア上の任意の位置に印刷（移動） 18
数値を指定して移動する 18
マウスで自由な位置に配置 18
キーボードによる画像の移動 19
印刷データを複数印刷（コピー） 20
コピー部数の指定（TPC） 21
コピー間隔 22
余白指定 22
ピッチ指定 22
トリミング印刷（トリミング） 23
カットラインを印刷する（カットライン） 24
トンボを印刷する 25
トンボ認識 26
画像を整列する（画像が複数ある場合） 27
幅方向に整列 (ネスト) 27
送り方向に整列 (順次) 27
画像を整列する（画像が 1 つの場合） 28
中央合せ 29
パネリング印刷（パネリング） 30
後でカットする画像をコピー印刷する（シールコピー） 32
印刷情報ラベル印刷 36

タイリング編集 37
タイリング印刷の流れ 38
タイリング設定画面 39
タイリングプレビュー 40
レイアウト設定画面 41
レイアウトプレビュー 41
タイル設定の前に画像編集をする 42
ワークの設定をする 43
ワークサイズの設定 43
ワークの移動 44
タイルを分割する 45
タイルを等間隔に分割する 45
タイルの間隔を個別に指定する 46
タイルの分割間隔を調整する 47
キーボードによる分割位置の微調整 48
タイルのオプションを設定する 50
タイルの重ね代を設定する 50
重なり部分のマーク（コーナーマーク）を設定する 52
画像の境界線を印刷（分割線を点線で印刷） 53
タイルごとにタイル番号を印刷（タイル番号印刷） 54
タイルのカット線を印刷（カットライン印刷） 55
タイルの印刷順序を設定する 56
タイルを順次印刷する 56
印刷するタイルを自由に指定する 57
タイルをレイアウトする 59
偶数列を反転させる 59
任意の場所に配置する 60
メディアの中央に配置する 61
タイルを自由な位置に移動する 62
タイリング設定の終了 63
タイルを印刷する 64
複数のジョブを一度に印刷する 66
グループ化 66
ジョブの編集中にグループ化するジョブを追加する 68
グループ化の解除 70
“ ジョブ一覧 ” でグループ化解除 70
編集画面でグループ化解除 71
複数ジョブの編集 71
カラー編集 72
カラーマッチングの設定を行う 72
カラー調整を編集する 74
カラー調整セットを作成する 75
カラー調整セットを削除する 76
カラー調整セットを更新する 76

インク濃度の調整 77
全てのインク濃度を調整する 77
イラスト部分、イメージ部分のインク濃度を調整する 78
より詳細にカラー調整をするには（インクカーブ）.......... 79
バージョン 1.0、2.0 のデバイスプロファイル 79
バージョン 3.0 のデバイスプロファイル 80
インクカーブを調整する 81
キーボードによるインクカーブの設定 84
K-CMY 比率調整 86
色置換 87
色置換の方法 87
スポットカラー名に対して色置換する 87
CMYK に対して色置換する 88
グラデーションに対して色置換する 88
CMYK どれか 1 色を複数のインクへ色置換する 88
自動特色版合成と組み合わせる 89
自動特色版合成： 特色領域が “ 有効画素 ” の場合 89
自動特色版合成： 特色領域が “ 画像全体 ” の場合 89
自動特色版合成： 特色濃度 0% の場合 89
色置換画像の作成方法 90
色置換可能な画像の条件 90
スポットカラーの作成 90
色置換画面 93
スポットカラー 93
グラデーション 95
単色 96
色置換セットの作成 97
色置換セットの更新 98
色置換セットの選択 99
色置換セットの削除 99
スポットカラー・CMYK カラーの置換 100
置換する元の色を指定 100
置換する元の色の選択を解除 100
置換後のインク情報の作成 101
置換後のインク情報の削除 105
表示の切り替え 106
置換情報一覧 106
プレビュー 107
スウォッチライブラリを作成する 107
グラデーション置換をするには 108
色置換できるグラデーションの制約 108
グラデーション置換の設定 109
単色の置換 110
原稿の色を取得する（色取得）.......... 111
色取得の流れ 111
色取得 112

カラーコレクション........115
DICカラーガイドに近似させて印刷する........115

特色調整........120
ハイライト部を特色で強調する........120
特色版を自動的に作成する（自動特色版合成 - TPC）........122
自動特色版合成例........124
合成順例........124
特色版を指定して作成する（マニュアル作成 - TPC）........125
インクリミットを編集する........128
特色調整セットを作成する........128
特色調整セットを削除する........129
特色調整セットを更新する........129
インクカーブを調整する........130
特色版補正機能........131

印刷条件の編集........133
プロファイルの絞込み表示........136
[印刷モード] サブメニュー........137
[プロファイル情報] サブメニュー........140
[デバイス調整] サブメニュー........141
[キャリブレーション] サブメニュー........144

カット条件の編集（TPC 使用時）........145
カット設定サブメニュー........145

複数ページのジョブ........147
メインウィンドウについて........147
“ ジョブエディタ ” について........147
ジョブの編集 (画像編集)........148
出力ページの決定........148
移動........148
トリミング........149
整列........149
コピー........150

条件管理について........151
[ホットフォルダ] サブメニュー........153
[画像編集] サブメニュー........154
[カラー編集] サブメニュー........155
[印刷条件] サブメニュー........156
[カット条件] サブメニュー（TPC のみ）........157
条件管理ウィンドウを表示する........158
条件セットの新規作成........158
条件の設定値を変更する........159
条件をジョブに適用する........161

[ホットフォルダ] サブメニュー 163
ホットフォルダとプリンタドライバの作成 163
PC MACLAN の自動設定について 165
ホットフォルダとプリンタドライバの削除 165
PC MACLAN の設定解除について 166
プリンタステータス表示機能 167
出力ポートが IEEE1394、USB 2.0 の場合 167
“一般” 情報 167
“メディア” 情報 169
“インク” 情報 (Tx3) 171
“インク” 情報 (DS シリーズ / Tx2 シリーズ) 172
“インク” 情報 (TPC/TS3/TS5) 173
“ヒータ” 情報 (TPC/TS3/TS5) 173
“バージョン” 情報 174
出力ポートが IEEE1394、USB 2.0 以外の場合 175
“メディア” 情報 175
“インク” 情報 (Tx3/TPC/TS3/TS5) 176
“インク” 情報 (DS シリーズ / Tx2 シリーズ) 177
付録 178
色取得機能と対応スキャナについて 178
対応スキャナ 178
スキャナドライバの設定内容 179
索引 182

ジョブの編集

ジョブの編集方法を説明します。

ジョブを編集するには、“ジョブエディタ”を開きます。“ジョブエディタ”の開き方は、リファレンスガイド プリンタ共通編をご覧ください。

画像編集

画像の大きさ、出力位置などを指定します。

画像編集画面

[画像サイズ表示]
選択ジョブの画像サイズと、画像編集後の出力サイズを表示します。

[メディア幅]
メディア幅を表示します。

[送り]
メディアがリーフ紙のとき、送り長を表示します。
メディアがロール紙のときは、ロール紙と表示します。

[メディアサイズ取得]
プリンタからメディアサイズを読み出します。

[カーソルキー移動量]
キーボードを使用して画像を移動する場合の移動量を指定します。
(☞ P. 19)

[サムネイルリスト]
ジョブの元画像をプレビューします。
(☞ P. 11)

[設定画面]
ジョブの大きさや位置などを設定します。機種により設定できる項目が異なります。

[レイアウトプレビュー]
実際にメディアに印刷する画像をプレビューします。
(☞ P. 12)

サムネイルリスト

編集対象のジョブをサムネイル画像で一覧表示します。

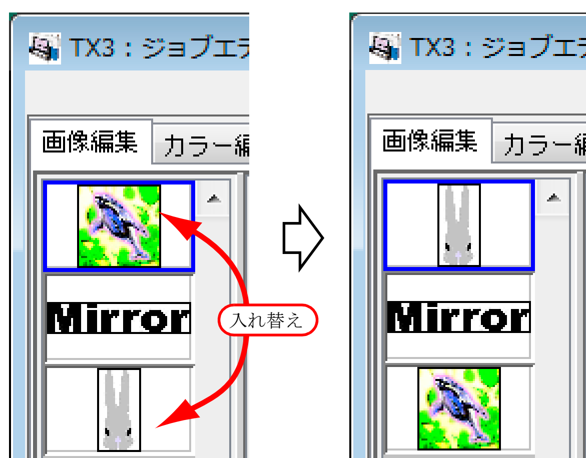
画像編集を行っても、サムネイルの画像は更新しません。

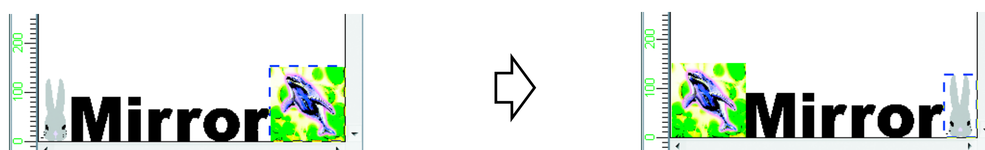
画像をクリックすることで、選択ジョブを切り替えることができます。
Ctrl キーを押しながらジョブをクリックすると、複数ジョブを選択できます。
サムネイル以外の場所をクリックすると、全ジョブの選択を解除します。



複数ジョブの入れ替え

順番を変更するには、変更したいジョブのサムネイルを選択し、ドラッグアンドドロップして順番を入れ替えます。



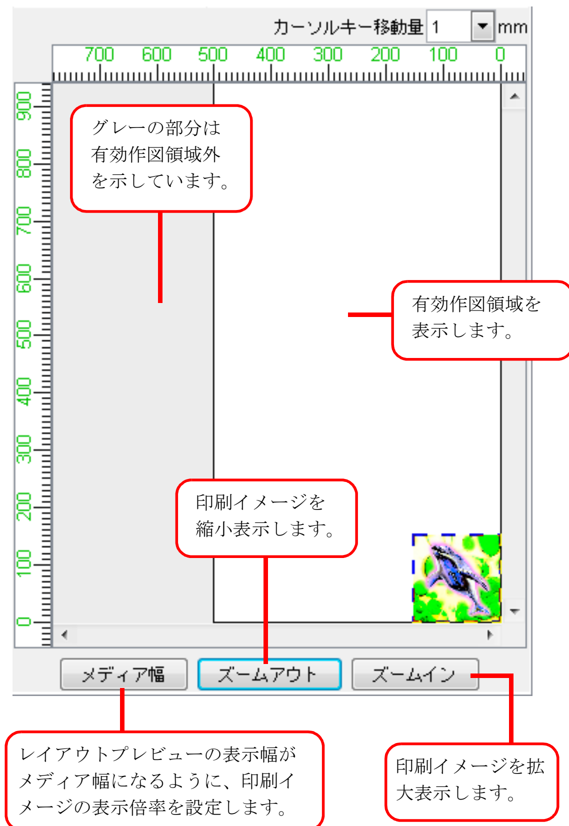


再配置した際のレイアウトプレビュー

レイアウトプレビュー

編集した画像の印刷イメージを表示します。

画像をクリックするとジョブを選択できます。
Ctrl キーを押しながらジョブをクリックすると、複数のジョブを選択できます。
画像が配置されていない場所をクリックすると、全ジョブの選択を解除します。

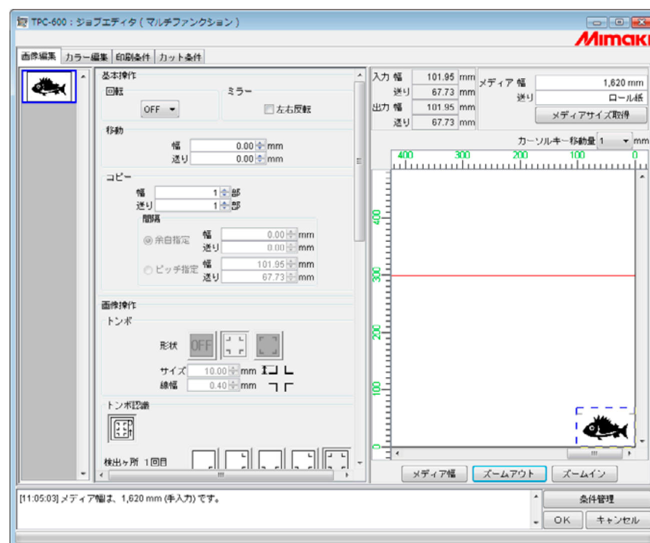


TPC 使用時にプレビュー画面に表示される赤い線について

プリント & カットジョブとカットジョブの場合、プリンタの原点から送り方向の指定した位置に警告線を水平に表示します。

警告線を越える位置にカットする線がある場合、以前に印刷したロールメディアが床と接する場合があります。

警告線の位置はメディア情報画面（☞ P.169）で指定できます。



画像を拡大 / 縮小する(スケール)

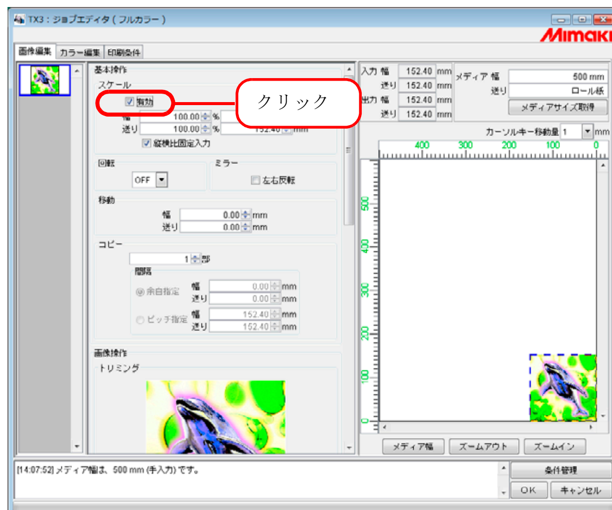
重要!

以下の条件をすべて満たすジョブは、“ スケール ” を表示しません。

- 出力方法がマルチファンクションのジョブ
- FineCut、SimpleStudio から RasterLink 出力されたジョブ
- トンボが設定されているジョブ

画像の拡大 / 縮小を行う機能です。

“ 有効 ” をチェックしていない場合、アプリケーションソフトウェアで作成したデータの大きさで印刷します。

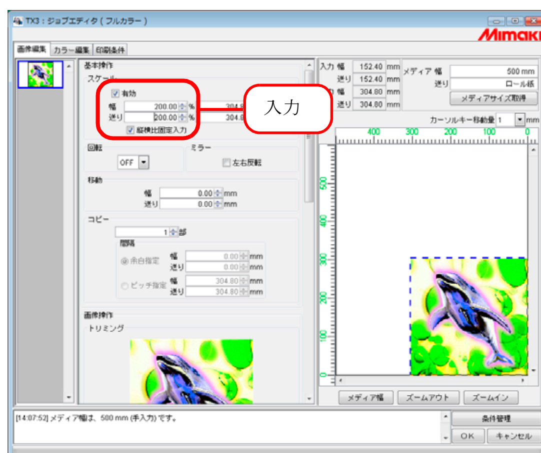


倍率を指定して拡大／縮小して印刷

“ 幅 ” と “ 送り ” に倍率を入力します。



- 数値入力ボックス上で右クリックすると、上下矢印ボタンの増減量を設定できます。またキーボードの [↑] [↓] キーで、入力値の増減ができます。
- “ 縦横比固定入力 ” を有効にしておくと、どちらか一方の数値を入力したとき、他方を同じ比率で自動調整します。
- 100% に設定すると、アプリケーションソフトウェアで作成した画像の大きさで印刷します。

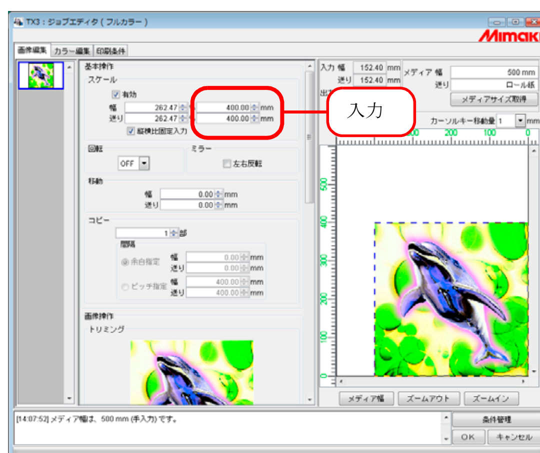


画像のサイズを指定して拡大／縮小して印刷

“ 幅 ” と “ 送り ” に画像のサイズを入力します。

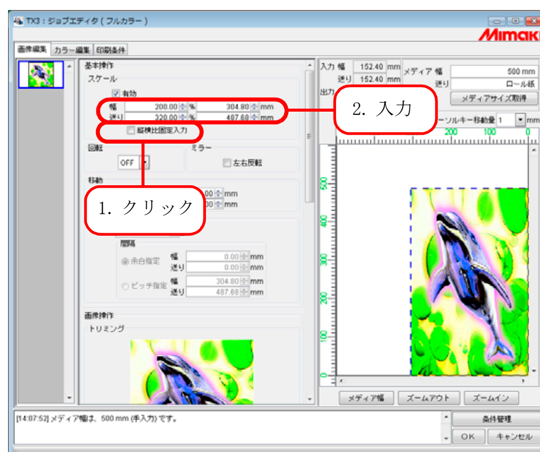


- 縦横比固定入力 ” を有効にしておくと、どちらか一方の数値を入力したとき、他方を同じ比率で自動調整します。
- サイズの単位はオプション設定で変更することができます。（リファレンスガイド プリンタ共通編 P. 98）



画像の幅方向と送り方向の比率を変えて印刷

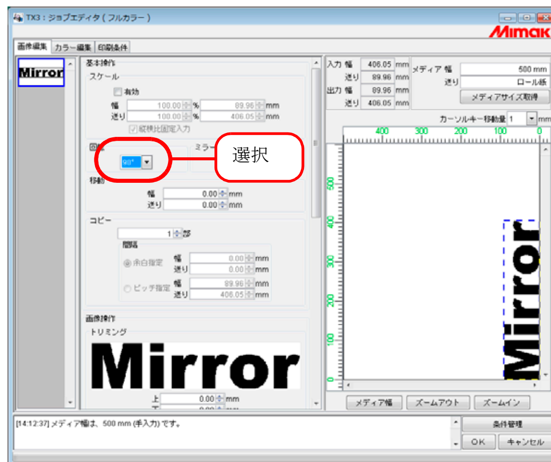
“ 縦横比固定入力 ” をクリックしてチェックを外します。
幅方向と送り方向の倍率または数値を設定します。



印刷データの向きを変えて印刷(回転)

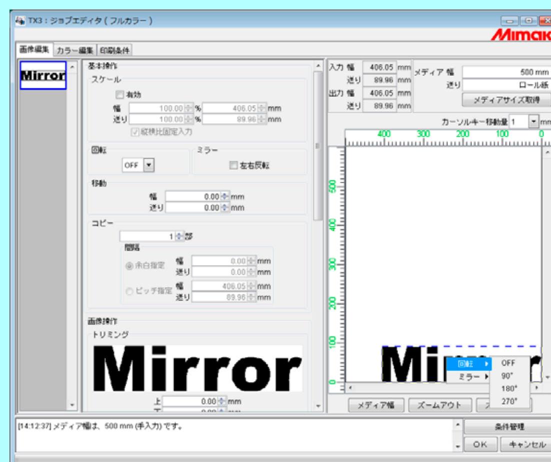
画像を回転させる角度を設定します。

回転角度を選択します。





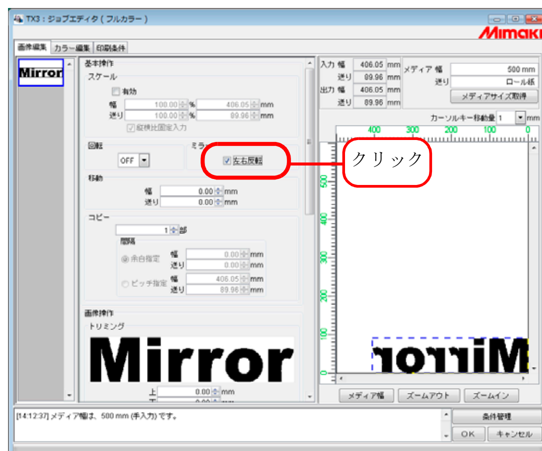
回転は次の方法でもできます。
回転処理するジョブを選択し、レイアウトプレビュー上で右クリックします。
ポップアップメニューから回転角度を選択します。



ミラー印刷(ミラー)

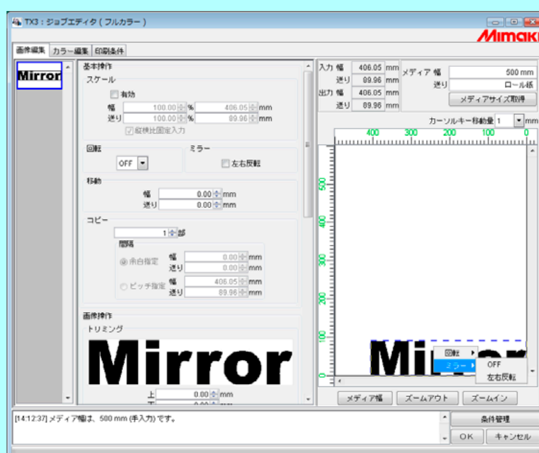
画像を鏡に映したように印刷します。
ミラー処理は、作成した画像の幅方向にかかります。

“左右反転”をチェックします。





ミラーは次の方法でもできます。
ミラー処理するジョブを選択し、レイアウトプレビュー上で右クリックします。
ポップアップメニューから “左右反転” を選択します。



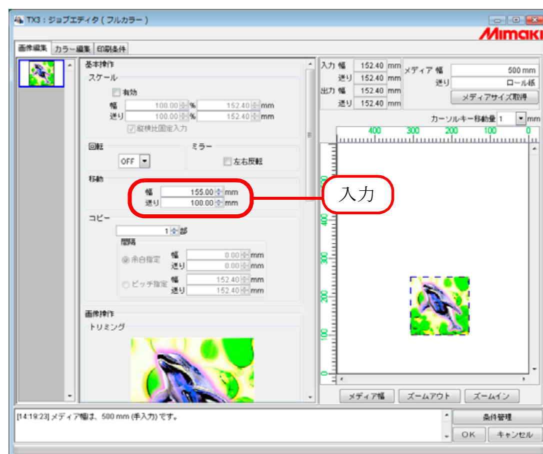
メディア上の任意の位置に印刷（移動）

画像をメディア上の任意の位置に移動して印刷します。

重 要！	有効作図エリアから画像の一部がはみ出している場合、はみ出している部分は印刷されません。 有効作図エリアから画像が完全にはみ出している場合、設定を保存できません。

数値を指定して移動する

“ 幅 ”、“ 送り ” に移動量を入力します。



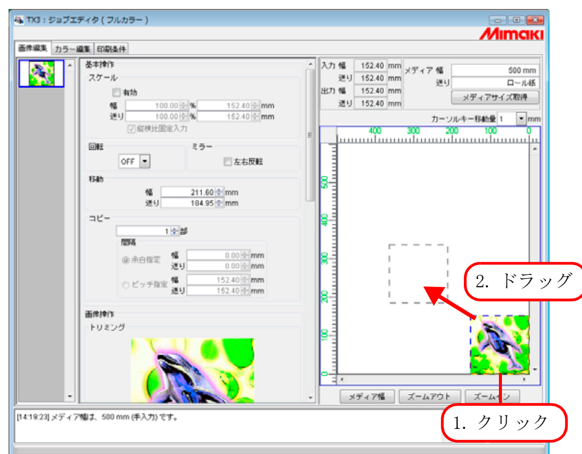
マウスで自由な位置に配置

レイアウトプレビューの画像をマウスでドラッグすると、自由な位置に配置することができます。

レイアウトプレビューの画像をクリックし、ジョブを選択します。

選択された画像は、青い点線で囲まれます。

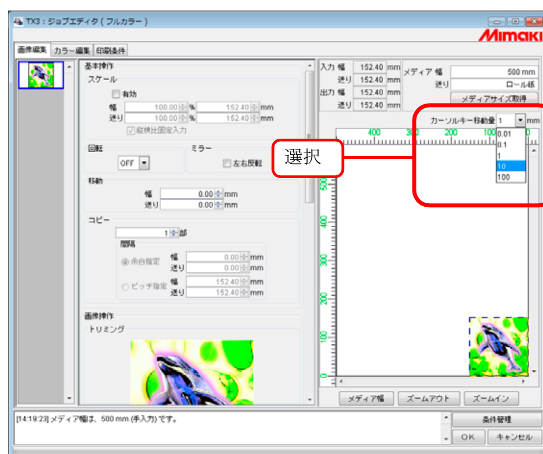
移動する位置までドラッグします。



キーボードによる画像の移動

キーボードの矢印キーを押すことで、画像を移動することができます。

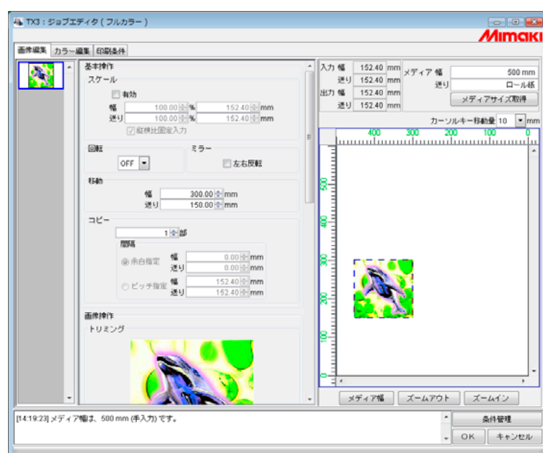
1 “ カーソルキー移動量 ” でキーボードの矢印キーを押したときの移動量を選択します。



2 レイアウトプレビューの画像をクリックし、ジョブを選択します。

レイアウトプレビューが青い矩形で囲まれます。
キーボードの Tab キーを数回押してもレイアウトプレビューを選択できます。

レイアウトプレビューが選択された状態でキーボードの矢印キーを押し、画像を移動します。



印刷データを複数印刷(コピー)

同一画像を複数印刷します。

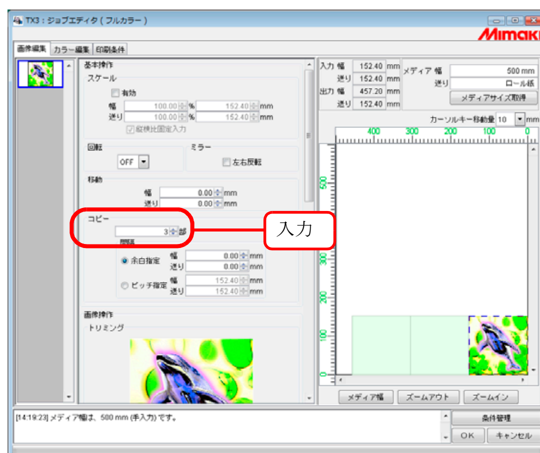
コピーは、画像をメディアの送り方向にコピーします。

幅方向に画像の印刷が可能なスペースがある場合、幅方向にも画像をコピー(ネスティング)します。

間隔を設定すると、画像と画像の間に空白を設けます。

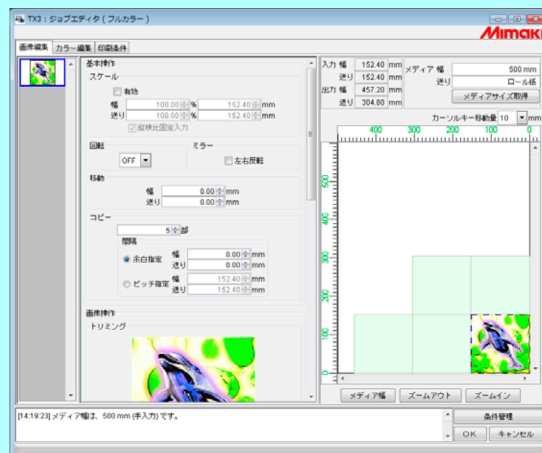
重要!　複数のジョブを同時に編集している、または“パネリング”を設定している場合、コピーの設定はできません。

コピー数を入力します。





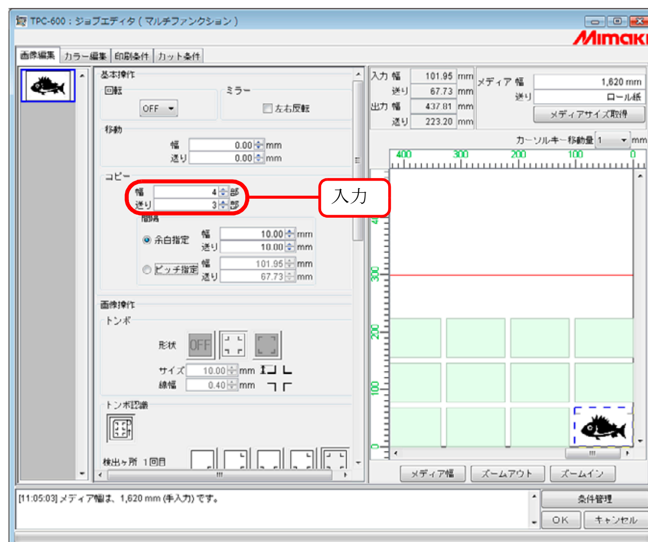
コピーした画像は、自動的にネスティングします。



重要!　ネストする枚数は、現在の移動設定値および有効作図幅によって決まります。

コピー部数の指定(TPC)

FineCut、SimpleStudio から RasterLink 出力したジョブは、幅と送り数でコピー部数を指定します。

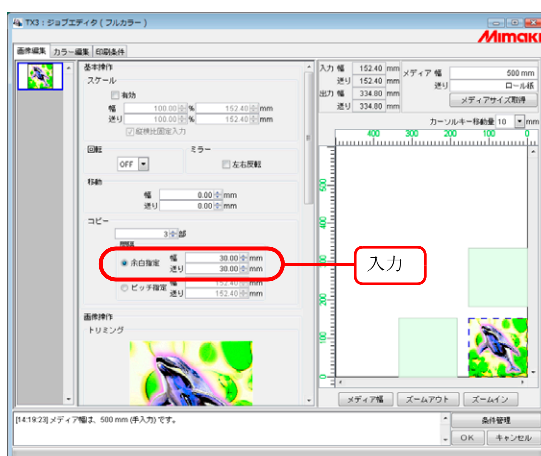


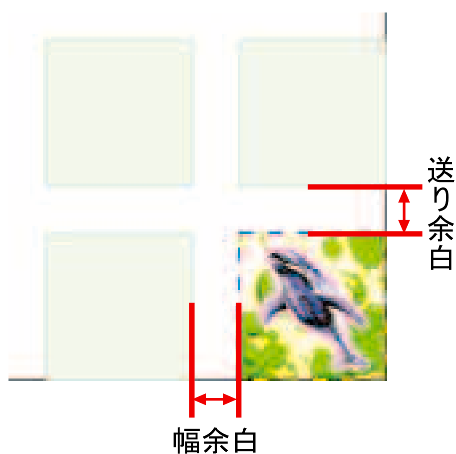
コピー間隔

コピーを設定して印刷すると、隣り合う画像の境界が判りづらくなります。
隣り合う画像の境界が判るように間隔を設けます。

余白指定

“ 余白指定 ” を選択し、幅方向と送り方向の間隔量を入力します。

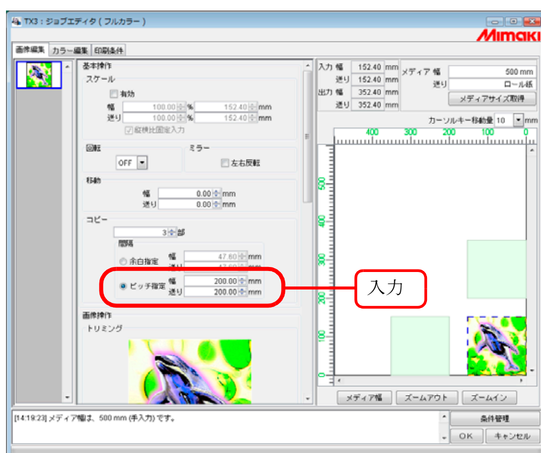


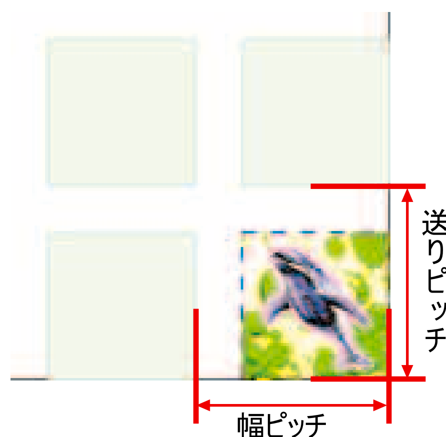


重 要！	画像によってはRIP 処理の際、画像の境界に空白部分が挿入される場合があります。 このような画像の場合、余白を “0” に設定しても、RIP 処理で挿入された空白が画像と画像の間に入ります。

ピッチ指定

“ ピッチ指定 ” を選択し、幅方向と送り方向のピッチ量を入力します。





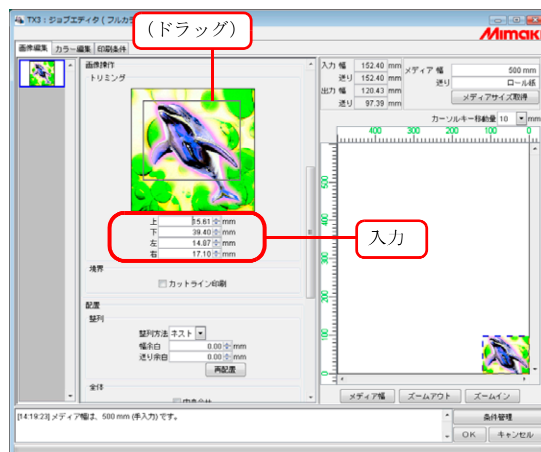
トリミング印刷(トリミング)

> **重要!**
> 以下の条件をすべて満たすジョブは、“トリミング”を表示しません。
> - 出力方法がマルチファンクションのジョブ
> - FineCut、SimpleStudio から RasterLink 出力されたジョブ
> - トンボが設定されているかファンクションが “Cut” のジョブ

画像を印刷する範囲を調整します。

“上”“下”“左”“右”にトリミング量を入力します。

表示画像の中をドラッグしても、トリミングの範囲を設定できます。





各トリミング量に “0” を入力するか、設定画像をクリックするとトリミングを解除します。

> **重要!**
> スケール、回転はトリミングされた後の画像に適用されます。このため、スケール、回転を変更しても、トリミングの位置は変わりません。また、トリミングの値は、スケール適用前の原寸で表示します。

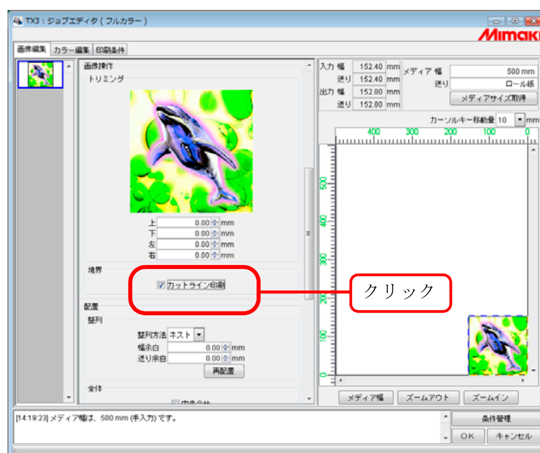
カットラインを印刷する（カットライン）

画像の周囲にカットラインを印刷します。

重 要！

- “ パネリング ” を設定している場合、“ カットライン印刷 ” の設定はできません。
- “カットライン印刷 ” をチェックした状態で “ パネリング ” の設定をすると、“カットライン印刷 ” のチェックが外れます。
- 以下の条件をすべて満たすジョブは “ カットライン印刷 ” を表示しません。
  * 出力方法がマルチファンクションのジョブ
  * FineCut、SimpleStudio から RasterLink 出力されたジョブ
  * トンボが設定されているジョブ
- “カットライン印刷” をチェックした状態で “トンボ” の “形状” に OFF 以外を選択すると、“ カットライン印刷 ” のチェックが外れます。

“ カットライン印刷 ” をチェックします。





カットライン印刷 ” をチェックすると、出力サイズにはカットラインを含めたサイズを表示します。

トンボを印刷する

重 要！

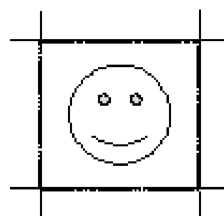
- “パネリング”または“ラベルを付加する”を設定している場合、“トンボ”の設定はできません。“トンボ”をチェックした状態で“パネリング”または“ラベルを付加する”の設定をすると、“トンボ”の設定が OFF になります。
- “トンボ”の“形状”で OFF 以外を設定した状態で“カットライン印刷”をチェックすると、“トンボ”の“形状”が OFF になります。

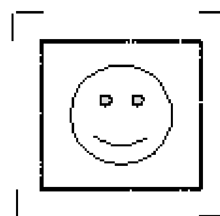
画像の外側にカッティング用のトンボを印刷します。

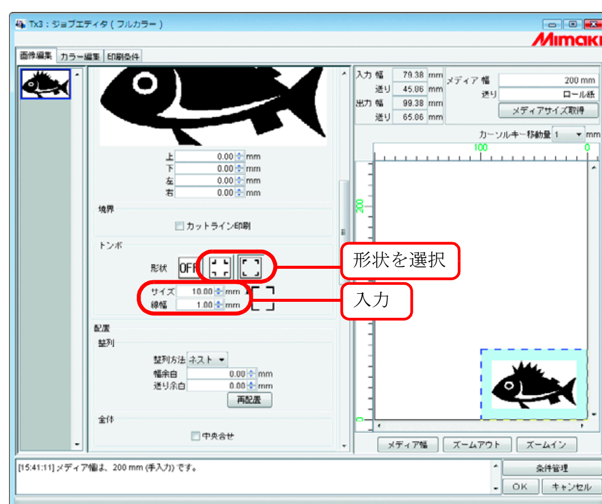
本システムで印刷した画像を、カッティングプロッタなどでカットする場合に使用します。カッティングプロッタはトンボを読み取ることで、画像の正確な位置とサイズを検出することができます。

画像の外側に付加するトンボの印刷仕様は次の通りです。

線幅　　　　：0.3 ～ 1.0 mm
トンボ長さ：4.0 ～ 40.0 mm


外トンボ


内トンボ

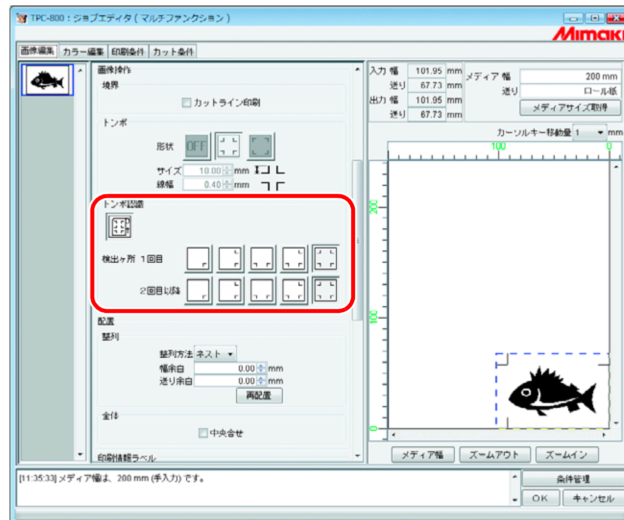




FineCut、SimpleStudio で作成されたプリント&カットデータ、プリントデータ、カットデータ（マルチファンクションジョブ）は、トンボを編集することができません。

トンボ認識

FineCut、SimpleStudio でプリント＆カットデータ、カットデータ（マルチファンクションジョブ）にトンボを設定した場合のみ表示されます。



トンボの読み取り方法を設定します。

検出箇所：読み取るトンボのパターンを選択します。
読み取るトンボの数が多いほど、カッティング位置精度は高くなります。
検出パターンは最初にカットする画像と次にカットする画像で変えることができます。

画像を整列する（画像が複数ある場合）

- 整列および余白の設定は、全ジョブに共通の設定です。
- “ジョブエディタ” を起動すると前回の設定値を適用します。
- サムネイルリストで画像を整列する順番を設定できます。（ P. 11）

幅方向に整列（ネスト）

“ネスト”を選択します。
必要に応じて幅方向と送り方向の余白量を入力します。
この例では幅方向に 50mm の余白を設定しています。

再配置 ボタンをクリックします。

送り方向に整列（順次）

“順次”を選択します。
必要に応じて送り方向の余白量を入力します。
この例では送り方向に 50mm の余白を設定しています。

再配置 ボタンをクリックします。

画像を整列する(画像が 1 つの場合)

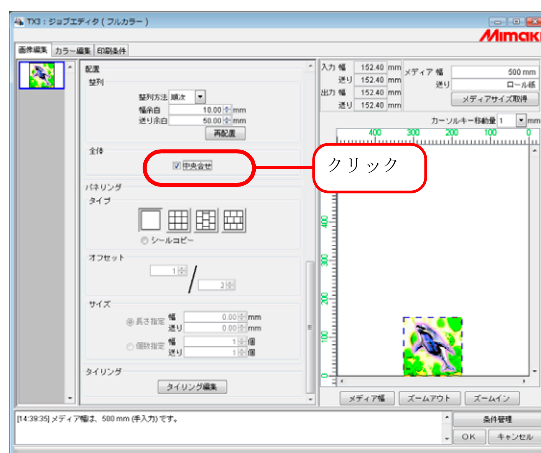
再配置 ボタンをクリックすると、“整列方法”にかかわらず原点に合わせて配置します。
コピー部数が設定されているジョブでは、再配置できません。

中央合せ

画像を常にメディア幅の中央に配置して印刷します。

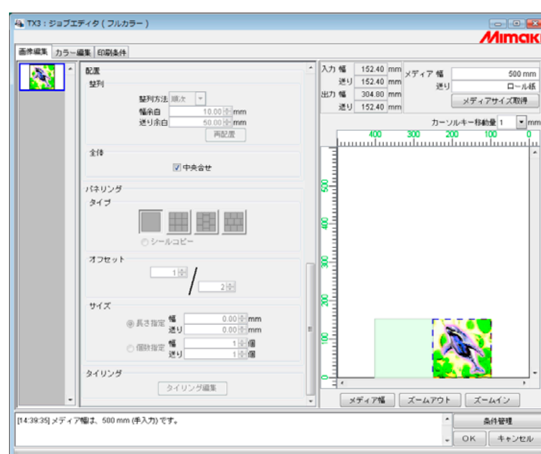
1 “中央合せ”をクリックします。

重要! 中央合せを選択すると幅方向に移動できなくなります。





- 複数ジョブ、コピー時やパネリング時も、中央に配置します。
- 中央合せを解除した場合、幅方向の位置は元の位置に戻ります。



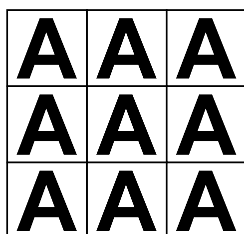
パネリング印刷(パネリング)

画像を以下の 4 種類に配置して印刷します。

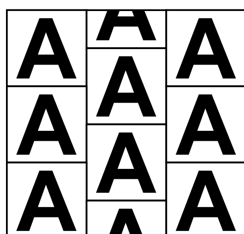
重要!

- 複数のジョブを同時に編集している、複数ページのジョブ、版下出力のジョブ、“コピー”を設定している場合、“パネリング”の設定はできません。
- “パネリング”を設定している場合、“RIP& 印刷”はできません。
- 以下の条件をすべて満たすジョブは、“パネリング”を表示しません。
  * 出力方法がマルチファンクションのジョブ
  * FineCut、SimpleStudio から RasterLink 出力されたジョブ
  * トンボが設定されているかファンクションが“Print&Cut”または“Cut”のジョブ

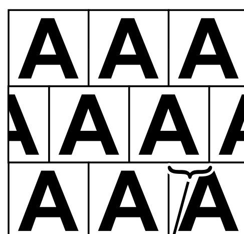
ノーマル



垂直

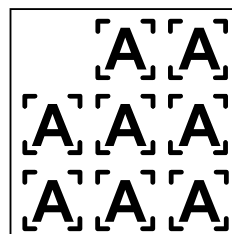


水平



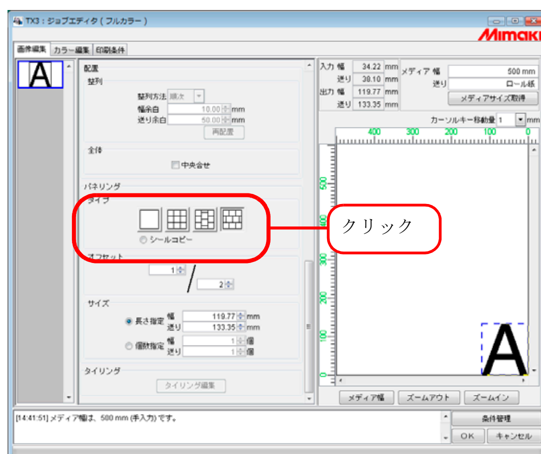
オフセット

シールコピー

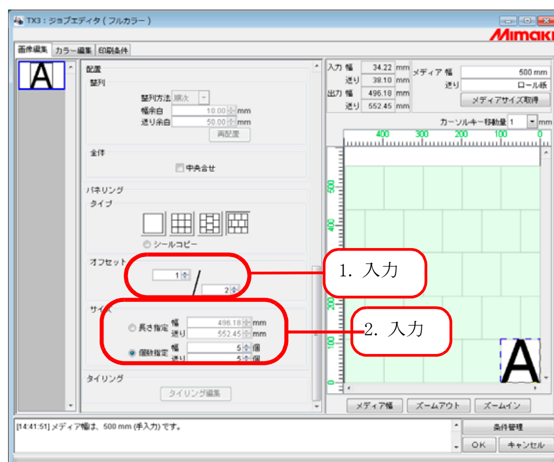


1 パネリングのタイプを選択します。

いずれかのタイプを選択すると、パネリング機能が有効になります。



2 画像を配置するオフセット量を数値指定します。



オフセットとは、配置する画像のズレ量のことです。

> **重要!** オフセットは、パネリングのタイプが " 垂直 " " 水平 " の場合有効です。

画像の繰り返し長を指定します。

● 長さ指定

幅方向・送り方向に指定した長さいっぱいに画像を繰り返し印刷します。

● 個数指定

幅方向・送り方向に指定した個数の画像を繰り返し印刷します。

後でカットする画像をコピー印刷する（シールコピー）

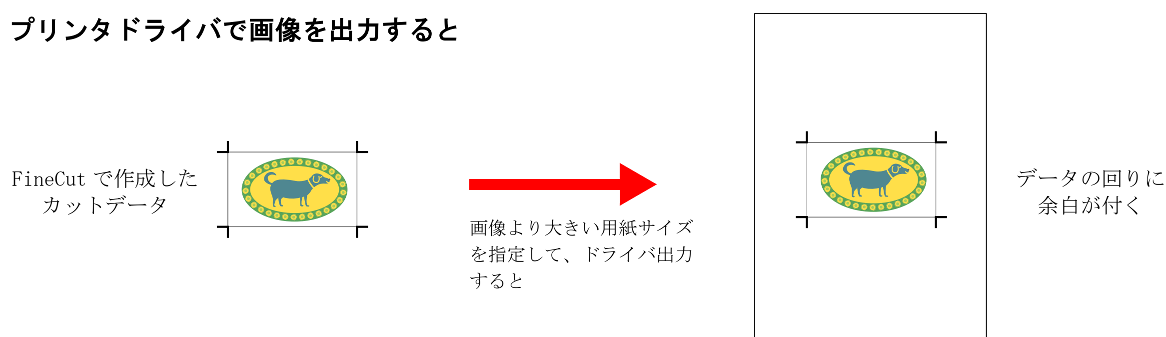
FineCut で作成されたカット用の画像をコピー印刷します。

FineCut では、輪郭をカットする画像の周りにトンボを付けることができます。この画像を RasterLinkPro5 TA に読み込むときにプリンタドライバを用いると、トンボの外枠に空白が付いてしまう場合があります。特に、プリンタドライバの設定で画像より大きい印刷用紙を設定すると、この現象が発生します。この状態でコピーの余白を設定すると、画像の周りの空白部に余白が足されるため、印刷結果は余白が指定より大きく取られたように見えてしまいます。

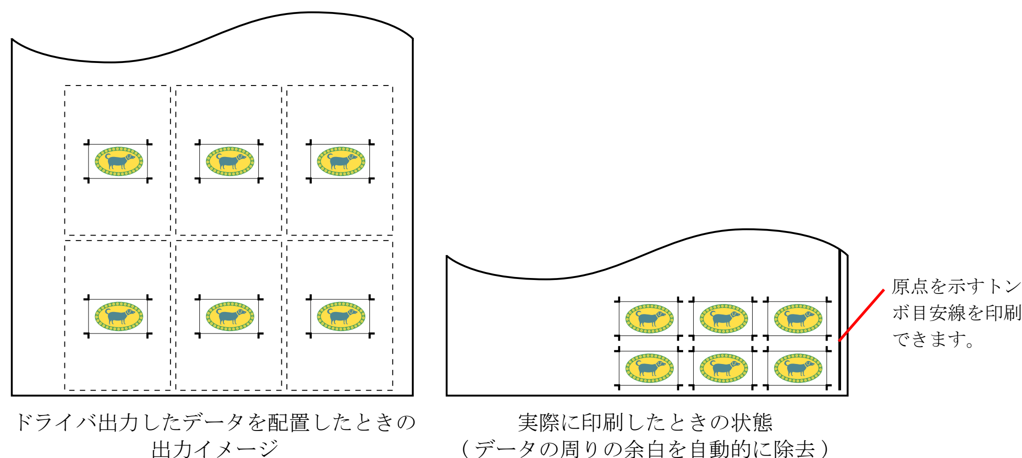
本機能では、この問題を回避するため、トンボの外側に付いた余白を除去してから、指定された余白を画像間に入れてコピーします。

また、カッティングプロッタにて画像をカットするときに、カッティングプロッタが最初に左右どちらかのトンボを読むのか、指定する必要があります。トンボの目安線は、左右どちらのトンボをカッティングプロッタに指示したらよいのかを示します。

プリンタドライバで画像を出力すると



プレビュー画面での出力イメージと実際に印刷したときの違い



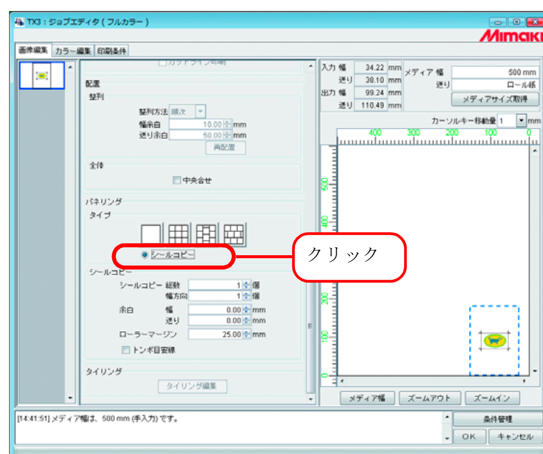
ドライバ出力したデータを配置したときの
出力イメージ

実際に印刷したときの状態
（データの周りの余白を自動的に除去）

1 “ シールコピー ” を選択します。

シールコピーの設定項目を表示します。

> **重 要 !** シールコピーを選択すると、幅方向に移動できなくなります。



2 コピーする画像の総数と、幅方向に印刷する画像数を指定します。

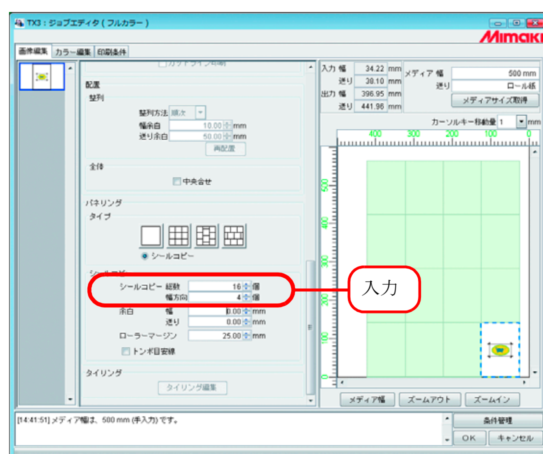
●総数

指定した個数の画像を繰り返し印刷します。

●幅方向

幅方向に指定した個数の画像を繰り返し印刷します。

> **重 要 !** 出力サイズおよびレイアウトプレビューは、空白がついた状態を元にして表示されます。

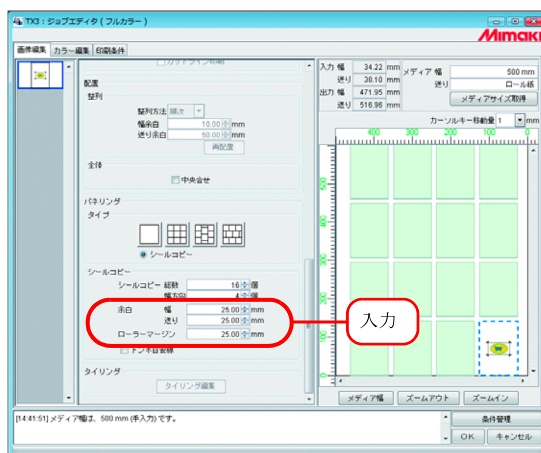


総数　：16 個
幅方向 : 4 個
を指定

3 幅方向と送り方向の余白の間隔量を指定します。

用紙右端の余白の値を“ローラーマージン”で設定します。余白の値は使用するカッティングプロッタの取扱説明書を参照してください。

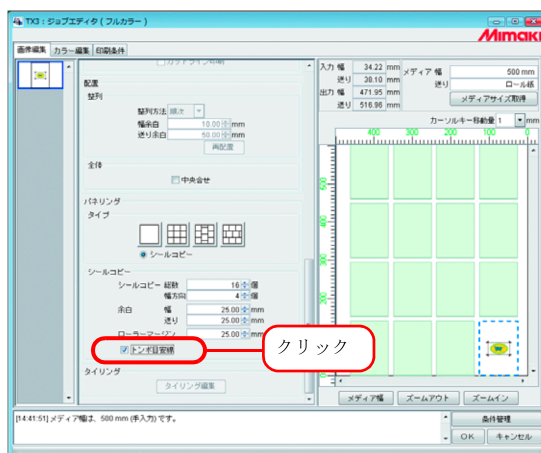
重要! トンボとトンボの間隔は、トンボの長さ以上空けるようにしてください。間隔が狭いと、カッティングプロッタでカットする際、トンボ読み取りエラーの原因となります。



余白（幅）：25mm
余白（送り）:25mm
ローラーマージン：25mm
を指定

4 原点を示すトンボを印刷する場合は、“トンボ目安線”をチェックします。

重要! 出力後に、カッティングプロッタなどを利用する場合は、“トンボ目安線”をチェックしてください。



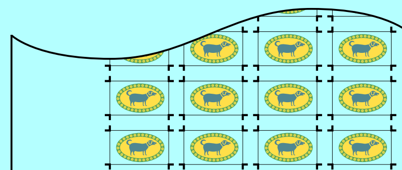


プレビュー画面と印刷時の画面配置について

シールコピーでは、ジョブエディタ上でのプレビュー画面と実際に印刷したときの画像の配置位置が異なります。ジョブエディタ上での余分な空白部分は自動的に除去されてプリントします。



プレビュー画面



印刷時

印刷情報ラベル印刷

ジョブの左上に印刷情報ラベルを付加して印刷します。

重 要!

- “パネリング” を設定している場合、“印刷情報ラベル” の設定はできません。
  “ラベルを付加する” をチェックした状態で “パネリング” の設定をすると、“ラベルを付加する” のチェックが外れます。
- 画像の幅方向の長さが 25.4mm 以下の場合、印刷情報ラベルを付加して印刷することはできません。
  画像の幅方向の長さが短い場合、印刷情報のラベルが切れて印刷されることがあります。

“ラベルを付加する”をチェックします。

ラベルとして印刷したい項目をチェックします。

“備考”には、64 文字まで任意の文字を入力できます。





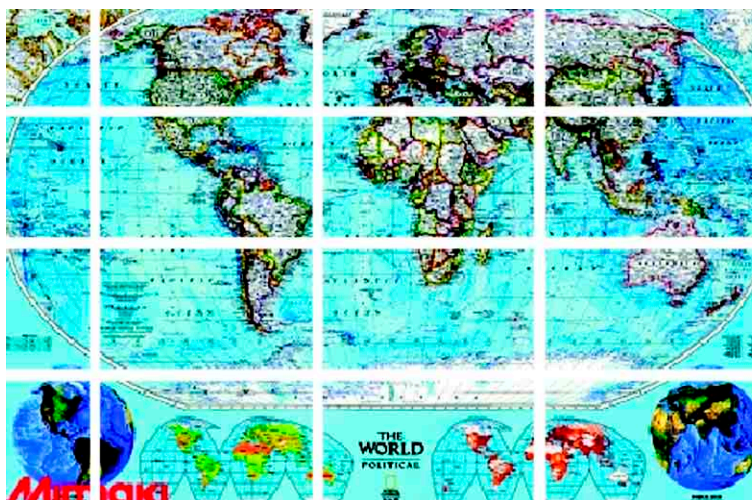
“ラベルを付加する” をチェックすると、出力サイズには印刷情報ラベルを含めたサイズを表示します。

タイリング編集

RasterLinkPro5 TA は、プリンタにセットしてあるメディアより大きなサイズの画像を印刷できます。
大きな画像を印刷するには、画像を複数に分割して印刷します。その分割した画像（タイル）を手作業で貼り合わせて元のサイズの画像にします。
タイリング編集では、タイルの分割とタイルの貼り合わせを容易にするための各種設定を行います。

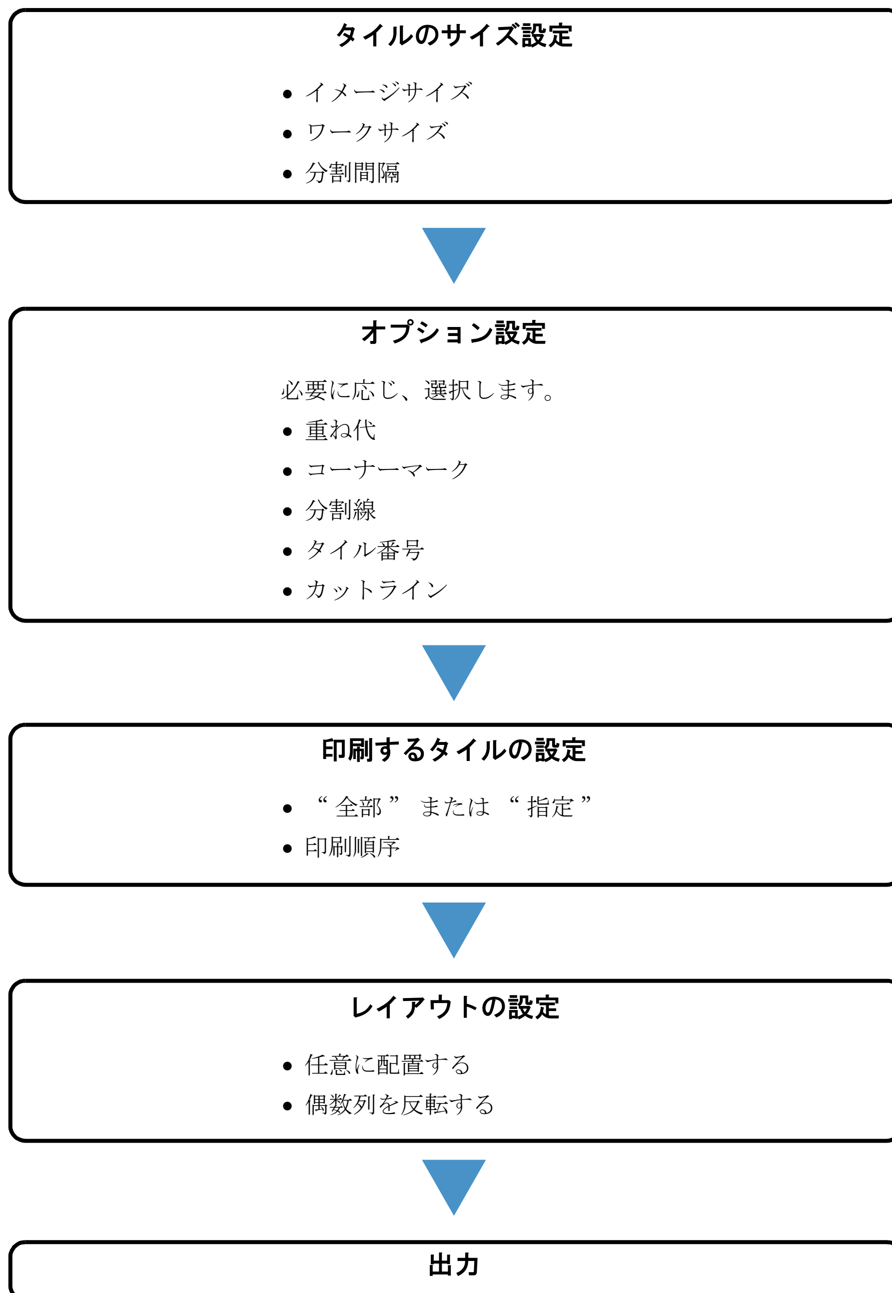




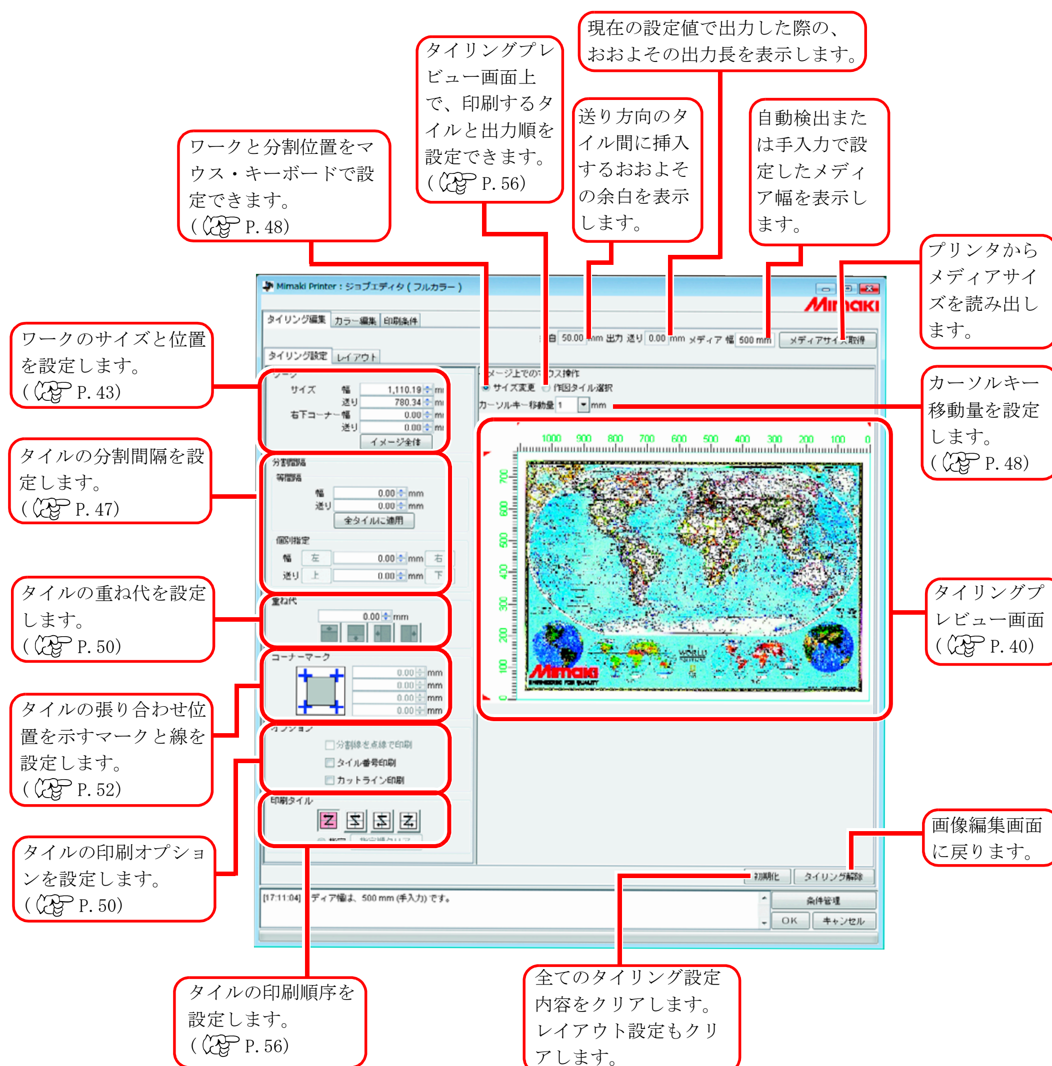


タイリング印刷の流れ

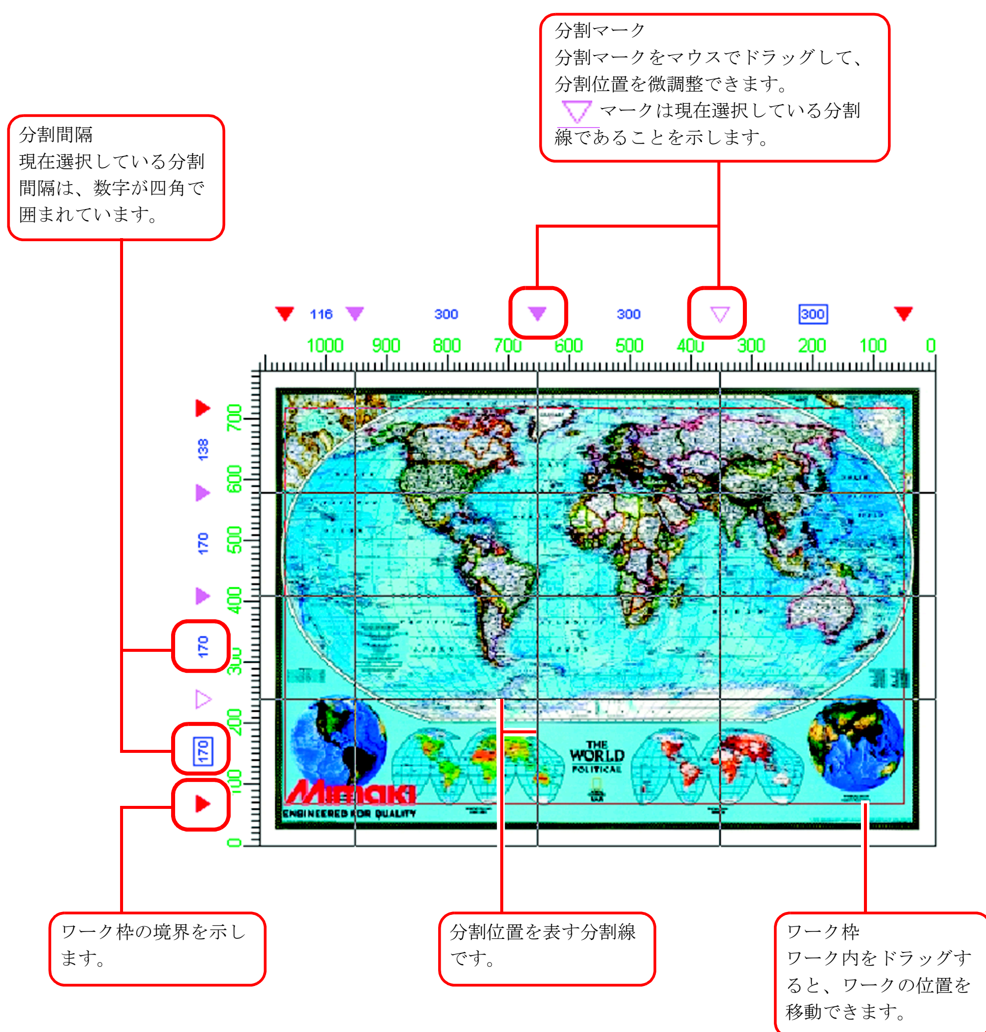
タイリングの手順は以下のようになります。



タイリング設定画面

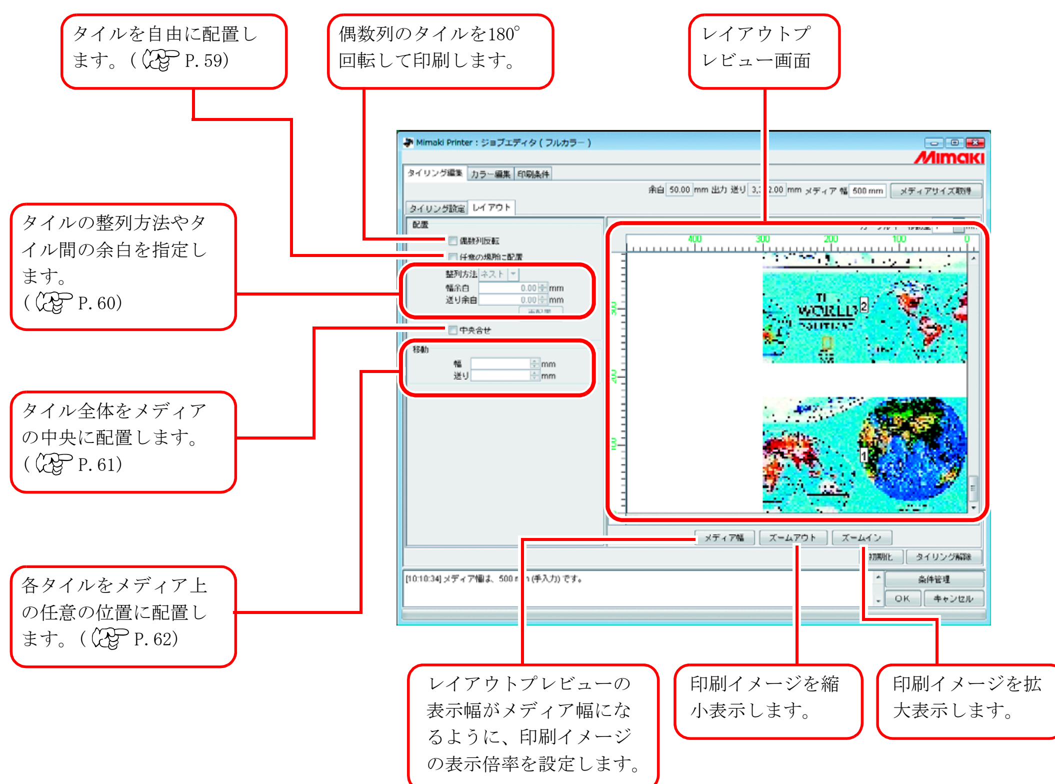

ワークと分割位置をマウス・キーボードで設定できます。（ P. 48）
タイリングプレビュー画面上で、印刷するタイルと出力順を設定できます。（ P. 56）
現在の設定値で出力した際の、おおよその出力長を表示します。
送り方向のタイル間に挿入するおおよその余白を表示します。
自動検出または手入力で設定したメディア幅を表示します。
プリンタからメディアサイズを読み出します。
ワークのサイズと位置を設定します。（ P. 43）
カーソルキー移動量を設定します。（ P. 48）
タイルの分割間隔を設定します。（ P. 47）
タイルの重ね代を設定します。（ P. 50）
タイリングプレビュー画面（ P. 40）
タイルの張り合わせ位置を示すマークと線を設定します。（ P. 52）
タイルの印刷オプションを設定します。（ P. 50）
画像編集画面に戻ります。
タイルの印刷順序を設定します。（ P. 56）
全てのタイリング設定内容をクリアします。レイアウト設定もクリアします。

タイリングプレビュー

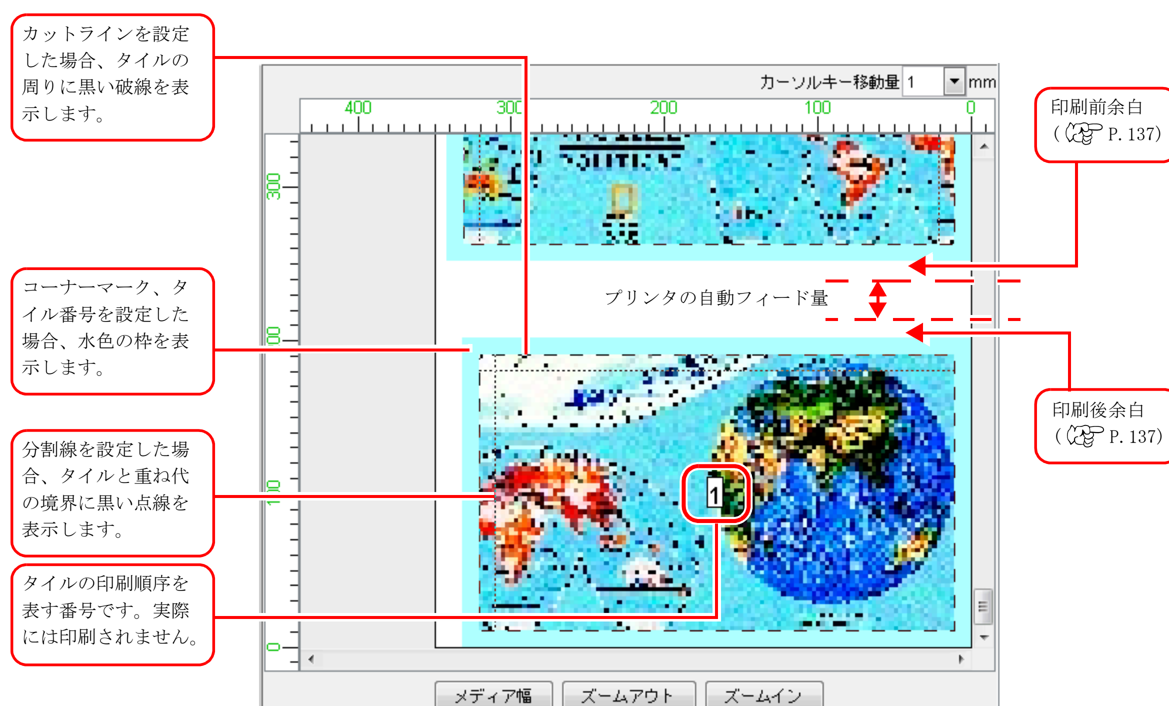


分割マーク
分割マークをマウスでドラッグして、分割位置を微調整できます。
▽マークは現在選択している分割線であることを示します。
分割間隔
現在選択している分割間隔は、数字が四角で囲まれています。
116
300
300
300
1000 900 800 700 600 500 400 300 200 100 0
700 600 500 400 300 200 100 0
138
170
170
170
THE WORLD POLITICAL
Mimaki
ENGINEERED FOR QUALITY
ワーク枠の境界を示します。
分割位置を表す分割線です。
ワーク枠
ワーク内をドラッグすると、ワークの位置を移動できます。

レイアウト設定画面



レイアウトプレビュー

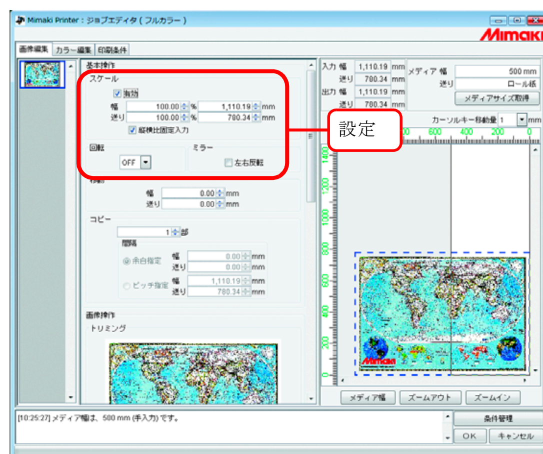


タイル設定の前に画像編集をする

タイル設定の前に、あらかじめ画像サイズの変更、回転、ミラーの設定を行います。
画像編集が必要ない場合、手順 3 に進んでください。

1 “ ジョブエディタ ” を開きます。

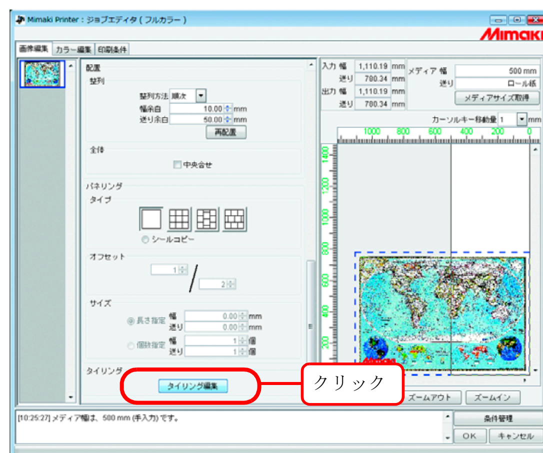
2 各種設定を行います。
“ スケール ”、“ 回転 ”、“ ミラー ” を設定します。



3 タイリングする画像の設定ができたら、 タイリング編集 をクリックします。

> **重 要 !**
>
> - 複数ジョブを同時に編集している場合、あるいは複数ページのジョブ、版下出力のジョブ、“ コピー ”、“ トリミング ”、“ パネリング ” を設定している場合、タイリングの設定はできません。
> - 以下の条件をすべて満たすジョブは、“ タイリング ” を表示しません。
>   * 出力方法がマルチファンクションのジョブ
>   * FineCut、SimpleStudio から RasterLink 出力されたジョブ
>   * トンボが設定されているかファンクションが “Print&Cut” または “Cut” のジョブ

画像編集の設定を変更する場合、タイリング編集タブ内の タイリング解除 をクリックします。



ワークの設定をする

画像内のどの部分を印刷するか設定します。

ワークサイズの設定

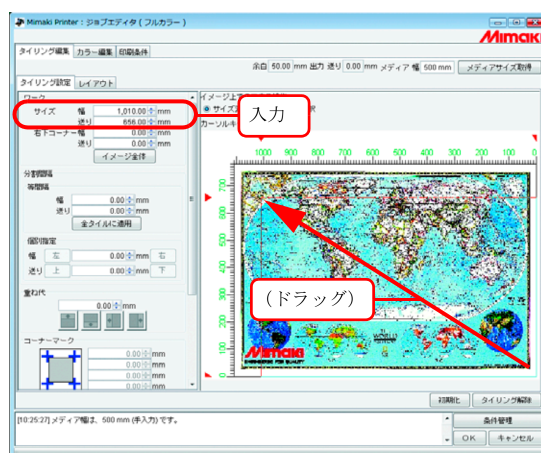
タイリングの作業領域をワークと呼びます。
ワークを設定しないと、タイリング設定を行うことができません。

ワークのサイズ（“ 幅 ”、“ 送り ”）を入力します。

タイリングプレビュー上に、ワークを赤い矩形で表示します。



- タイリングプレビューの右下隅からマウスでドラッグしても、ワークサイズを設定できます。
- ▼ はワークの境界を指しています。ワークの四隅をドラッグすると、サイズ変更できます。





イメージ全体 をクリックすると、イメージ全体にワークを設定します。

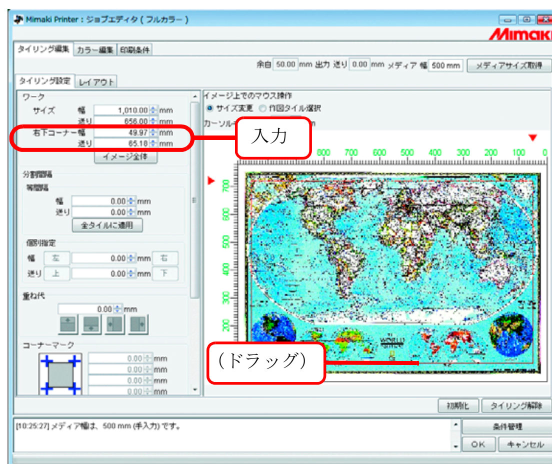
ワークの移動

印刷したいエリアにワークを移動します。

右下コーナー（“幅”、“送り”）を入力します。



ワーク内をマウスでドラッグしてもワークを移動することができます。



タイルを分割する

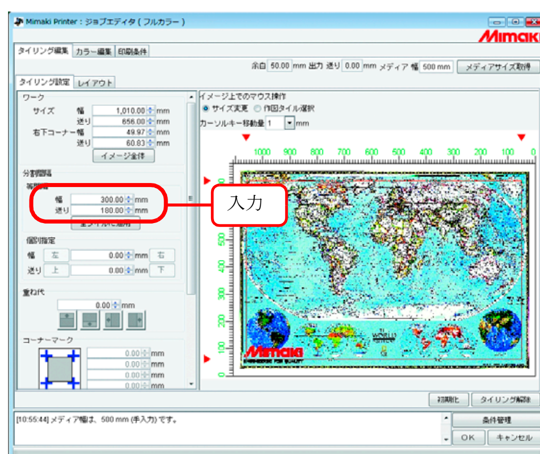
重 要!

- タイルの最小値は 25.4mm（1inch）です。これより小さい数値を入力すると、自動的に 25.4mm になります。
- 印刷できるタイルの最大数は 100 個です。
- 分割の最大数は、幅方向 30、送り方向 30 です。この数を超えた分割はできません。

タイルを等間隔に分割する

基準となる分割間隔を決めた後で微調整する場合、等間隔で設定します。

1 等間隔の“幅”と“送り”に分割間隔の基準値を入力します。

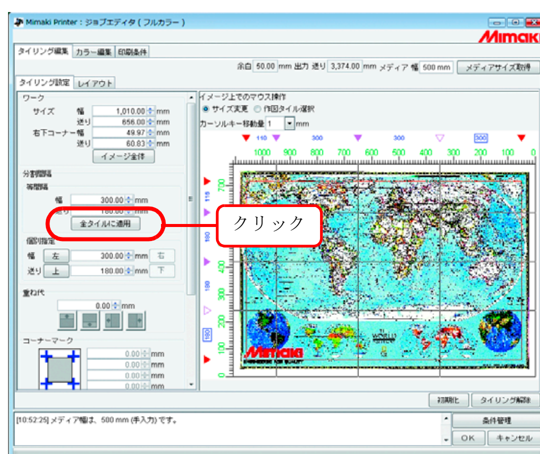


2 全タイルに適用 をクリックします。

タイリングプレビューに分割線を表示します。



“幅”と“送り”に 0 を入力して 全タイルに適用 をクリックすると、入力可能な最大値（メディアサイズまたはワークサイズの小さい方）になります。



重 要!

等間隔で分割した場合、一番左・上のタイルの分割間隔が 25.4mm 未満になる場合があります。この場合 OK をクリックしても、“情報表示”欄にエラーを表示し設定を完了することができません。
該当タイルがタイリングプレビューで分からない場合､個別指定の 上 、下 、左 、右 をクリックし、分割間隔を表示させて確認します。そして「タイルの分割間隔を調整する（☞P.47）」を参考に調整してください。

タイルの間隔を個別に指定する

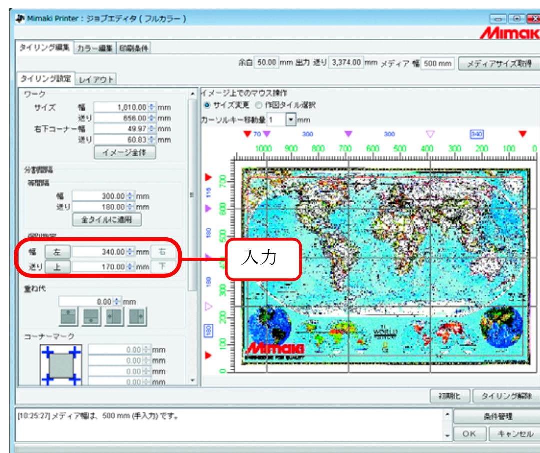
分割間隔を直接入力する場合、個別指定で設定します。

1 個別指定の“幅”と“送り”を入力します。

右端と下端の分割間隔が設定され、タイリングプレビューに分割線を表示します。



- 数値入力後の残りのタイルの分割間隔の初期値は、メディアサイズになります。
- “送り” が未入力の状態で “幅” を入力した場合
  “送り” の初期値として自動的に入力可能な最大値（メディアサイズまたはワークサイズの小さい方）の送りサイズが入力されます。
- “幅” が未入力の状態で “送り” を入力した場合
  “幅” の初期値として自動的に入力可能な最大値（メディアサイズまたはワークサイズの小さい方）の幅サイズが入力されます。



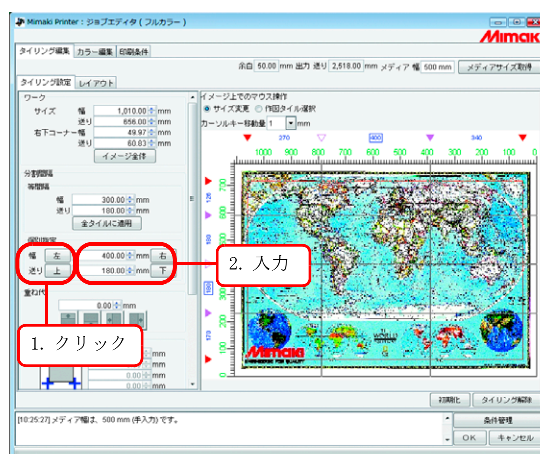
2 [左]（幅方向の設定）または[右]（送り方向の設定）をクリックし、次の分割間隔を入力します。

タイリングプレビューに分割線を表示します。



個別指定の際、各タイル間隔の連続入力ができます。一番右の分割間隔に “幅” を入力して[ENTER]キーを押すと、フォーカスが[左]ボタンへ移動します。もう一度[ENTER]キーを押すと、フォーカスが数値入力部分に移動します。隣の分割間隔を入力します。

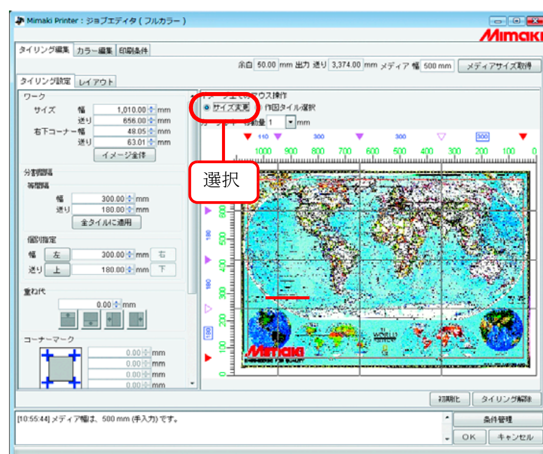
“送り” についても同様です。



タイルの分割間隔を調整する

分割間隔の調整をします。調整の必要がない場合、「タイルのオプションを設定する（☞ P.50）」に進みます。

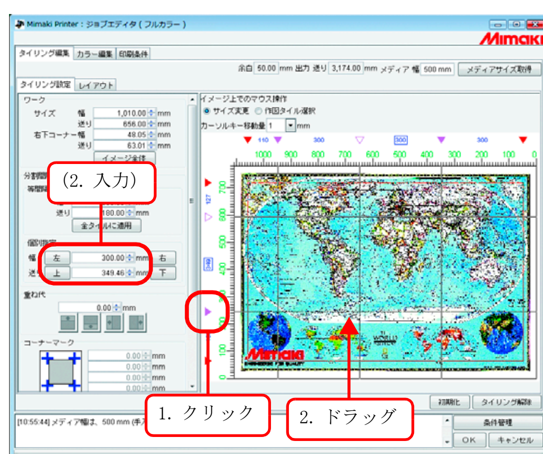
1 イメージ上でのマウス操作の、“サイズ変更”を選択します。



2 調整する分割マーク  をクリックし、ドラッグします。

分割マークをクリックして選択すると白く反転します。
個別指定の“幅”“送り”に数値を入力しても調整できます。

- タイルの最小値は 25.4mm です。最小値に満たない数値を入力しても、自動的に 25.4mm になります。
- 調整可能な最大値はメディアサイズまたはワークサイズの小さい方です。最大値を超える数値を入力すると、自動的に最大値になります。
- 変更する分割線以外の分割線は、元の分割間隔を保持して一緒に移動します。



キーボードによる分割位置の微調整

分割線の位置は、ある程度マウスで調整できますが、キーボードを使うことにより微調整が可能です。

以下のキーを使用します。

- [Tab] キー　：“タイリング設定”ウィンドウの各設定項目を選択します。
  タイリングプレビューエリアを選択すると青い矩形で囲まれます。

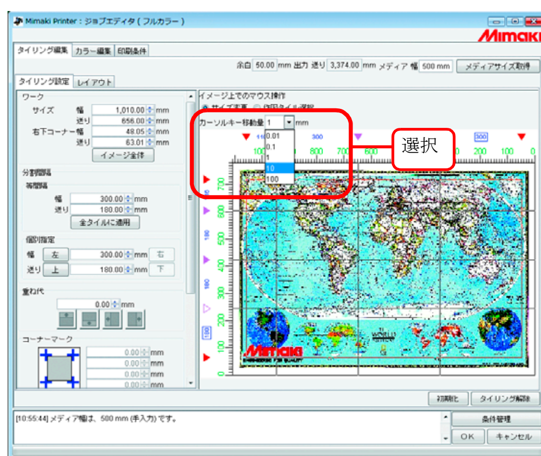
送り方向への分割線移動：

- [Q] キー　：選択している分割線より上方向の分割線を選択します。
- [A] キー　：選択している分割線より下方向の分割線を選択します。
- [↑] キー　：選択している分割線を上方向へ移動します。
- [↓] キー　：選択している分割線を下方向へ移動します。

幅方向への分割線移動：

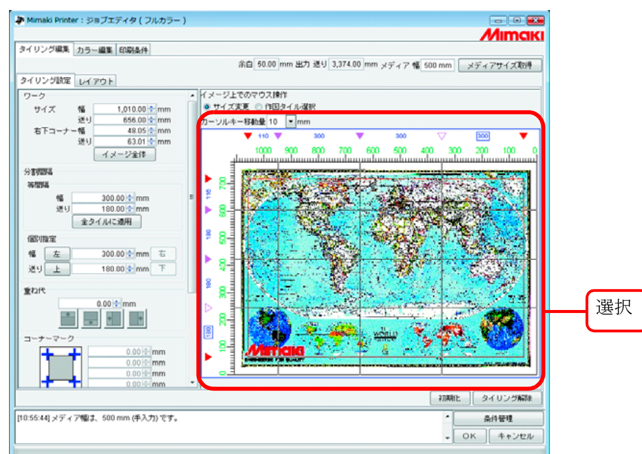
- [Z] キー　：選択している分割線より左方向の分割線を選択します。
- [X] キー　：選択している分割線より右方向の分割線を選択します。
- [←] キー　：選択している分割線を左方向へ移動します。
- [→] キー　：選択している分割線を右方向へ移動します。

1 カーソルキーで移動するための移動量数値を設定します。



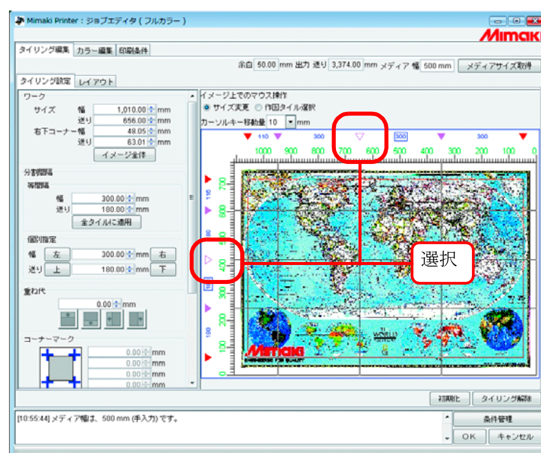
2 Tab キーを数回押し、タイリングプレビューエリアを選択します。

マウスでタイリングプレビューエリアをクリックしても同様です。
タイリングプレビューエリアが青い矩形で囲まれます。



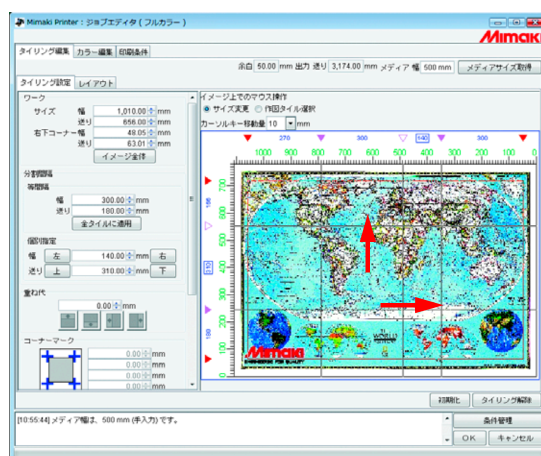
3 アルファベットキー Q A Z X を押して、移動したい分割線を選択します。

選択された分割線の分割マークは、白抜きの三角形に変わります。



4 矢印キー ↑ ↓ ← → を押して、分割線を移動します。

矢印キーを押すたびに、“カーソルキー移動量”で指定したサイズで移動します。矢印キーを押し続けると、分割線が移動し続けます。



タイルのオプションを設定する

オプションでは、タイルを張り合わせる際に効果的な機能を設定します。
特に必要ない場合、「タイルの印刷順序を設定する（☞ P.56）」に進みます。

タイルの重ね代を設定する

タイルの重ね代の長さと重ね代を設ける位置を設定します。
重ね代の部分にも画像を印刷します。
重ね代は、上下左右それぞれに設定できます。
ただし、角や端の部分のタイルには重ね代を印刷しません。
重ね代はタイリングプレビューには表示しません。
レイアウトプレビューでは重ね代部分の画像を表示します。

タイル角



タイルの位置が右下隅のため、重ね代は右と下に設定されません。

タイル下端



タイルの位置が下端のため、重ね代は下に設定されません。

タイル中央

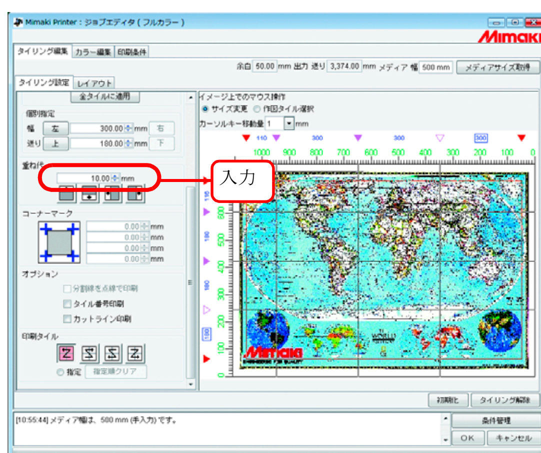


タイルの位置が中央のため、重ね代は全てに設定されます。

重 要!

- 重ね代の最大値は 100mm、最小値は 5mm です。
- 分割間隔と重ね代の合計がメディアサイズを超える場合、メディアサイズに収まるように分割間隔と重ね代を自動調整します。この場合、カットラインとコーナーマークを設定しても、一部しか印刷しない場合があります。

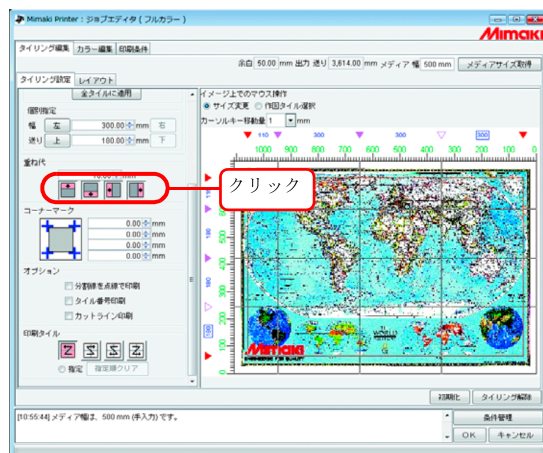
1 重ね代の長さを入力します。
重ね代の長さを入力すると、重ね代の位置を設定する項目が有効になります。



2 重ね代の設定位置を選択します。

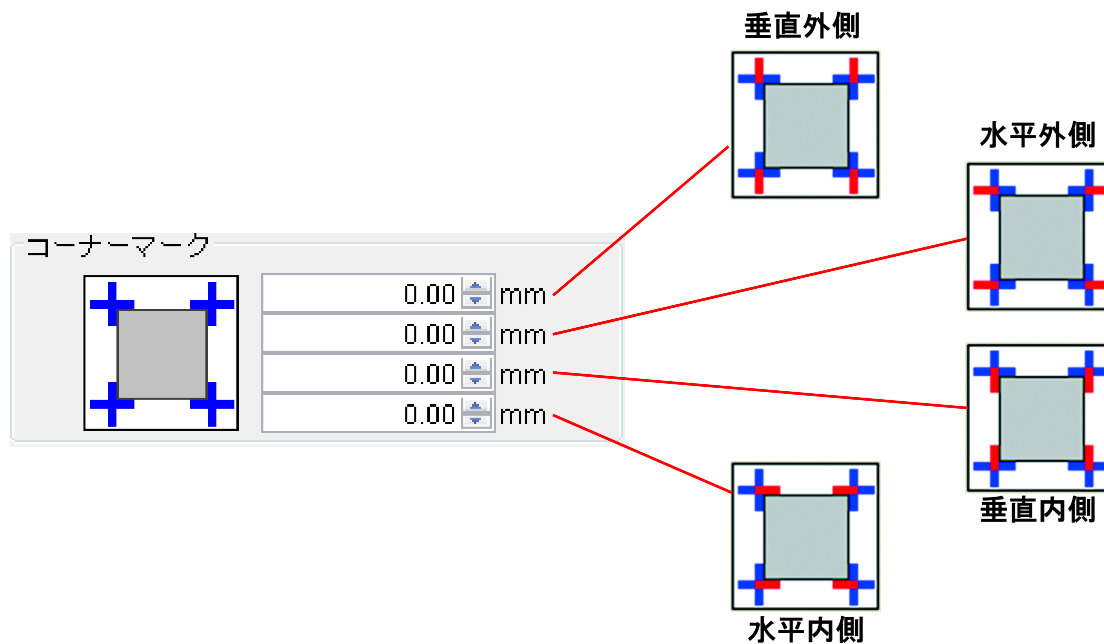
もう一度クリックすると、選択を解除します。

> **重要!**
> 重ね代の長さより小さいサイズのタイルが存在する場合、[OK] をクリックしても "情報表示" 欄にエラーを表示し設定を完了できません。
> 一番上と左の分割間隔を確認します。重ね代のサイズをタイルより小さくするか、タイルの分割間隔を調整します。

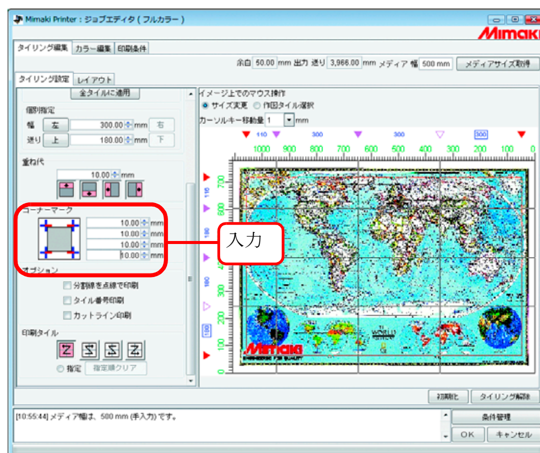


重なり部分のマーク(コーナーマーク)を設定する

タイルの張り合わせを容易にするためのマークを印刷します。
重ね代を設定していない場合、コーナーマークを付けることはできません。「タイルの重ね代を設定する（☞ P.50）」に戻って、重ね代の設定をしてください。
コーナーマークはタイリングプレビューには表示しません。
レイアウトプレビューでは水色の枠で表示します。



入力ボックスにマークの長さを入力します。
　最大値は 100mm です。





数値入力ボックスにカーソルを置くと、対応するマークの部分が赤くなります。
タイリングプレビュー上には表示しません。



4 箇所全てにコーナーマークを設定した場合

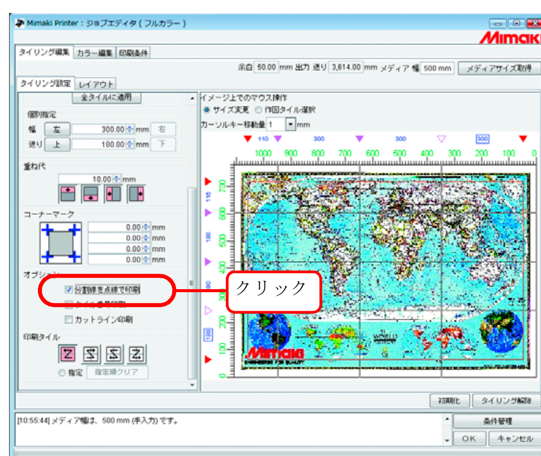
画像の境界線を印刷（分割線を点線で印刷）

タイルと重ね代の境界に、0.1mm 幅の白と黒の線を 50mm ずつ交互に引きます。
分割線は、タイリングプレビューには表示しません。
レイアウトプレビューでは、黒い点線で表示します。

重 要！　“ 重ね代 ” を設定していない場合、分割線を入れることはできません。



“ 分割線を点線で印刷 ” をチェックします。



タイルごとにタイル番号を印刷(タイル番号印刷)

作図したタイルが画像のどの部分に位置するかを示すために、各タイルの左下（重ね代がある場合は重ね代の外）にタイル番号を印刷します。

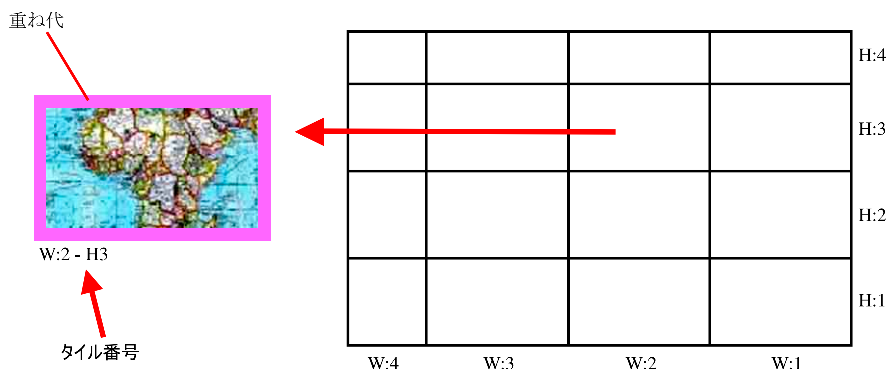
偶数列反転を設定している場合、タイル番号の位置も反転します。

“ タイル番号印刷 ” はタイリングプレビューには表示しません。

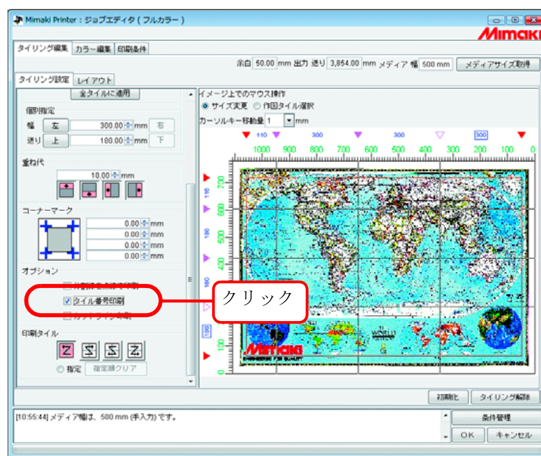
レイアウトプレビューでは水色の枠で表示します。

タイル番号のサイズは、高さ 15mm、幅は最大で 67.5mm です。

> **重 要!**　“ 作図タイル選択 ” 時の、タイリングプレビューに表示する数字とは異なります。



“ タイル番号印刷 ” をチェックします。

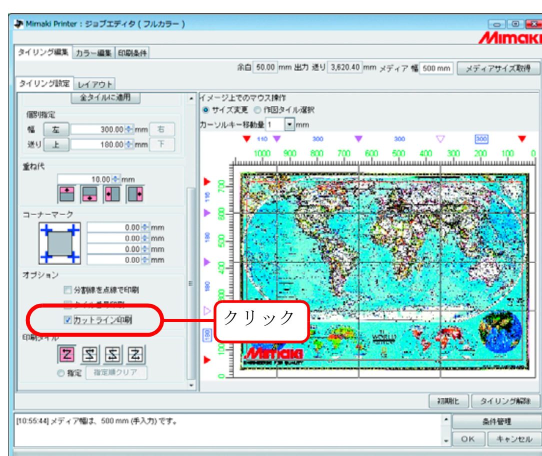


タイルのカット線を印刷（カットライン印刷）

印刷したメディアをタイルごとにカットする際、目安となる 100mm 間隔の黒い破線を印刷します。
カットラインは、重ね代を含むタイルの周りに印刷されます。
“カットライン印刷”はタイリングプレビューには表示しません。
レイアウトプレビューでは黒い点線で表示します。
画像編集の“カットライン印刷”がチェックしてある場合、既にチェックが入っています。



“カットライン印刷”をチェックします。



タイルの印刷順序を設定する

タイルを順次印刷する

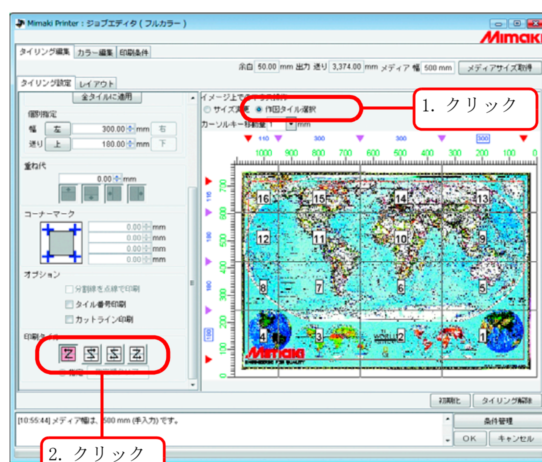
タイルの印刷順序を指定します。

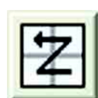
印刷順序を自由に決めたい場合や指定したタイルのみを印刷したい場合、「印刷するタイルを自由に指定する（☞ P.57）」をご覧ください。

“ 作図タイル選択 ” をクリックします。

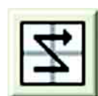
タイリングプレビューにタイルの印刷順序を示す番号を表示します。

印刷順序をどれか一つを選択します。

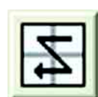




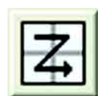
：図の 1 番から 16 番の順に印刷します。



：図の 4 番から 13 番の順に印刷します。



：図の 13 番から 4 番の順に印刷します。



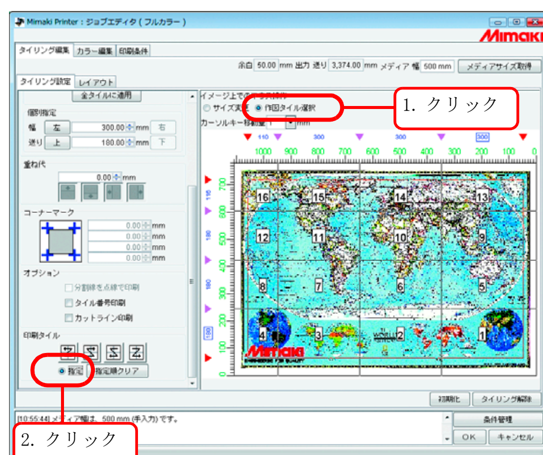
：図の 16 番から 1 番の順に印刷します。

印刷するタイルを自由に指定する

タイルの印刷順を自由に決める場合や、指定したタイルだけを印刷する場合に設定します。

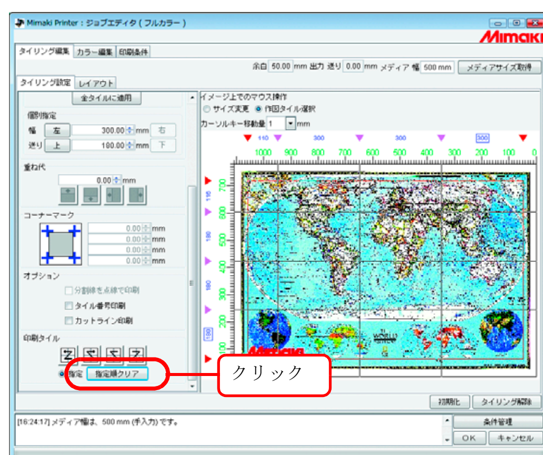
1 “ 作図タイル選択 ” をクリックします。

タイリングプレビューにタイルの印刷順序を示す番号を表示します。
印刷タイルの “ 指定 ” を選択します。
指定順クリア がアクティブになります。

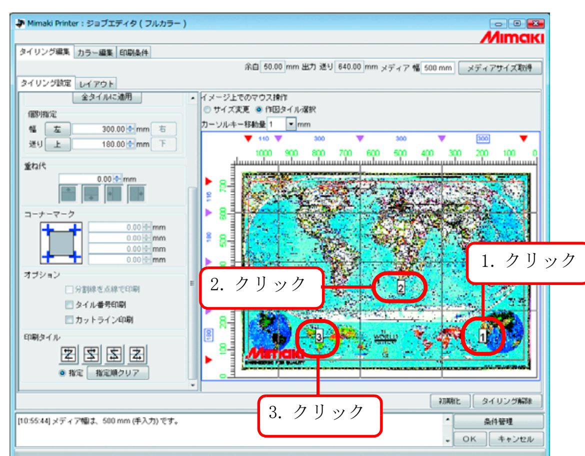


2 指定順クリア をクリックします。

印刷順序を示す数字が、タイリングプレビューから消えます。



3 タイリングプレビュー上で、印刷したいタイルを順番にクリックします。





印刷順序を間違えた場合、[指定順クリア] をクリックし、最初から指定します。

重要!

[指定順クリア] をクリックした後に印刷タイルを指定しない場合、[OK] をクリックしても設定を完了できません。印刷タイルを指定してください。

タイルをレイアウトする

初期状態では、あらかじめ設定した余白（“印刷条件”の“印刷前余白”＋“印刷後余白”）とプリンタの自動フィード量の間隔を空け、指定タイル順に送り方向に配置します。

> **重 要！**　作図前後にプリンタは自動フィードします。自動フィード量は、プリンタや印刷設定（解像度、パス、Tx2、DS シリーズの場合はヘッドの Front・Rear 指定）により異なるので、余白の値は正確な値ではありません。

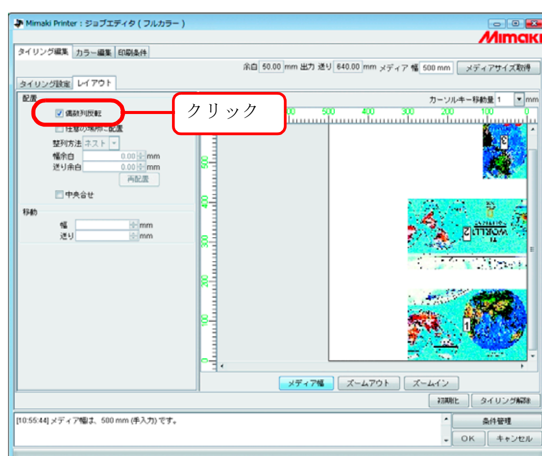
偶数列を反転させる

プリントしたときにタイルの左右で色の差が生じる場合、“偶数列反転”機能が有効です。

> **重 要！**　偶数列のタイルとは、タイリングプレビューの右端から見て偶数列にあるタイルのことです。

“偶数列反転”をクリックします。

レイアウトプレビューで反転したタイルを確認できます。



任意の場所に配置する

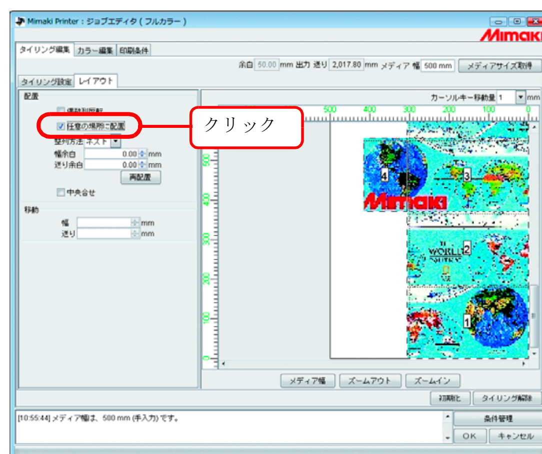
タイルの配置方法や余白を任意に設定できます。

重 要！

タイルのレイアウトには、「固定配置」と「任意配置」があります。

- 「固定配置」ではタイル一枚ごとに RIP・印刷します。
- 「任意配置」では全タイルを RIP してから印刷を開始します。
- 「任意配置」した場合、印刷を開始するまでの時間が長くなります。また出力指定した全タイルの RIP 済データを作成するため、ディスク容量に余裕が必要です。

1 “ 任意の場所に配置 ” をクリックします。



2 “ 整列方法 ” を選択します。

必要に応じ “ 幅余白 ”、“ 送り余白 ” を入力します。

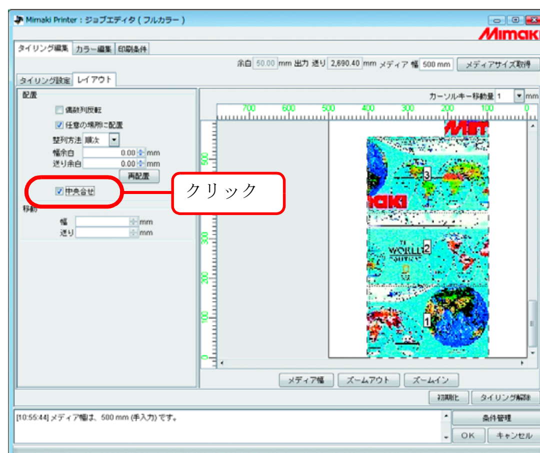
[再配置] をクリックします。



メディアの中央に配置する

メディアの中央にタイルを配置することができます。
画像編集の“中央合せ”がチェックしてある場合、すでにチェックが入っています。
“中央合せ”指定は、タイリングと画像編集で共通であり、同じ設定が適用されます。

“中央合せ”をクリックします。





- “中央合せ”を解除した場合、幅方向の位置は元の位置に戻ります。
- 固定配置：
  （“任意の場所に配置”にチェックがない場合）
  各タイルの中央をメディアの中央に合わせて配置します。
- 任意配置：
  （“任意の場所に配置”にチェックがある場合）
  出力指定した全タイルの中央をメディアの中央に合わせて配置します。

タイルを自由な位置に移動する

“ 任意の場所に配置 ” がチェックしてある場合、それぞれのタイルを自由な位置に移動することができます。

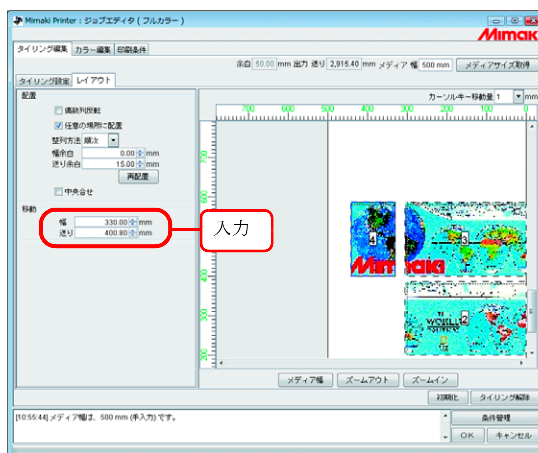
1 レイアウトプレビュー上で、移動したいタイルをクリックします。

クリックしたタイルが青い点線で囲まれ、移動の数値入力ボックスが入力可能になります。



2 移動の “ 幅 ”、“ 送り ” に移動量を入力します。

タイルが移動します。



重 要！

- タイルが重なっている場合、[OK] をクリックしても設定を完了できません。
- タイルが一枚でも作図領域から完全にはみ出ている場合、[OK] をクリックしても設定を完了できません。はみ出たタイルはレイアウトし直すか、不要なタイルであれば印刷するタイルをタイリング設定で設定し直します。

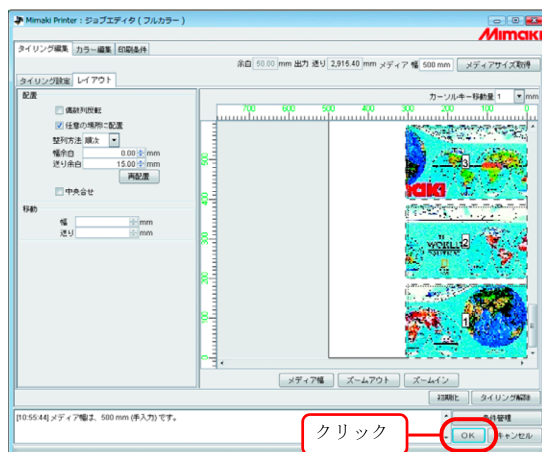


- ドラッグしてもタイルを移動することができます。
- 矢印キー [↑] [↓] [←] [→] でも、“ カーソルキー移動量 ” で指定した移動量で移動できます。

タイリング設定の終了

タイルの設定が終了したら、設定を保存します。

OK をクリックします。



重 要!

- 初期化 をクリックし、何も設定しないで OK をクリックすると設定を完了できません。
  タイリング設定を行ってください。
- タイリング解除 をクリックして OK をクリックすると、タイリング機能は無効になります。（設定値は残ります。）

タイルを印刷する

タイリングの印刷は、通常の印刷と同様に "RIP& 印刷 "、"RIP 後印刷 "、"RIP のみ "、" 印刷のみ "（RIP 済データがある場合）を選択できます。

印刷方法は、リファレンスガイド　プリンタ共通編「出力する」を参照してください。

必要に応じ、以下の設定をします。

重要!　「任意配置」を設定している場合、"RIP& 印刷 " はできません。

RIP 済データ		説明
なし	残したい	RIP 済みデータを残すと、再印刷時の印刷時間を短縮できます。 ただしハードディスクを大量に使用するため、空き容量不足が生じる場合があります。 出力方法で "RIP 後印刷 " を選択します。 または " オプション設定 "（「リファレンスガイド　プリンタ共通編　オプション設定」(☞P. 98）で、"RIP& 印刷で RIP 済データを作成する " をチェックし、"RIP& 印刷 " します。 再印刷する場合、" 印刷のみ " で印刷できます。
	不要	再印刷しない場合、RIP 済みデータは不要です。 " オプション設定 "（「リファレンスガイド　プリンタ共通編　オプション設定」☞P. 98 ）で、"RIP& 印刷で RIP 済データを作成する " のチェックを外し、"RIP& 印刷 " します。 または " オプション設定 "（「リファレンスガイド　プリンタ共通編　オプション設定」(☞P. 98）で、" 印刷後にジョブを削除する " をチェックし、"RIP 済データのみ削除する " を選択します。その後 "RIP 後印刷 " します。

RIP 済 データ	設定値の変更 印刷タイル	説明
あり	変更なし 全タイル印刷	全てのタイルの RIP 済みデータが存在します。 “ 印刷のみ ” で印刷します。
	変更なし 特定タイル印刷	印刷するタイルを指定します。(「印刷するタイルを自由に指定する」(☞P. 57) “ 印刷のみ ” で印刷できます。
	変更あり	タイル設定を変更した場合、“ ジョブエディタ ” の OK をクリック時に RIP 済データを削除します。 “RIP 後印刷 ” または “RIP& 印刷 ” を実行すると、再 RIP します。 ただし、以下の設定変更では RIP 済データは削除されません。 ・印刷タイル指定 ・“ 任意の場所に配置 ” の ON/OFF ・“ 任意の場所に配置 ” が ON の場合の各タイルの印刷位置 ・中央合わせの ON/OFF 全てのタイルを再 RIP する場合、“RIP 済データの削除 ” を行ってから “RIP& 印刷 ” または “RIP 後印刷 ” を行います。
部分的 にあり		印刷タイルを指定して RIP している場合や印刷実行中に処理を中断した場合、RIP 済データ欄が “ 部分的にあり ” になります。どのタイルが RIP 済データかを調べるには、ジョブの “ プロパティ ” を表示します。(「リファレンスガイド プリンタ共通編 ジョブのプロパティ」(☞P. 97) [実行結果] タブをクリックし、確認します。 再印刷する RIP 済データが全てそろっている(変更点がない)場合、“ 印刷のみ ” で印刷できます。 RIP が済んでいないタイルを同時に印刷する場合、“RIP 後印刷 ” を選択します。 RIP 済のタイルは変更がなければ再 RIP しません。変更があった場合 “ ジョブエディタ ” の OK をクリック時に RIP 済データを削除します。ただし、変更内容によっては削除しません。(☞上記の「RIP 済みデータ欄 “ あり ” 、設定値の変更欄 “ 変更あり ”」)

複数のジョブを一度に印刷する

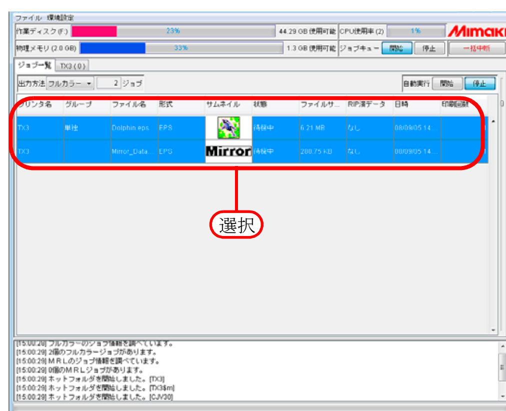
ジョブをグループ化することで、複数の印刷データを一度に印刷することができます。

グループ化

重要!

- 印刷条件の異なるジョブをグループ化する場合、他のジョブが先頭ジョブの印刷条件に合わせられます。
- 画像によっては、隙間なく配置しても画像と画像の間に空白部分が挿入される場合があります。
- タイリング、パネリング、コピーを 2 部以上設定しているジョブ、複数ページのジョブ、アプリ分版、RIP 分版をグループ化することはできません。
- “状態”が“待機中”、“中断”、“エラー”以外のジョブをグループ化することはできません。
- “プリンタ名”が異なるジョブをグループ化することはできません。
- マルチファンクション出力の“ファンクション”が“Cut”、“Print&Cut”のジョブはグループ化できません。

1 “ジョブ一覧”よりグループ化したいジョブを選択します。



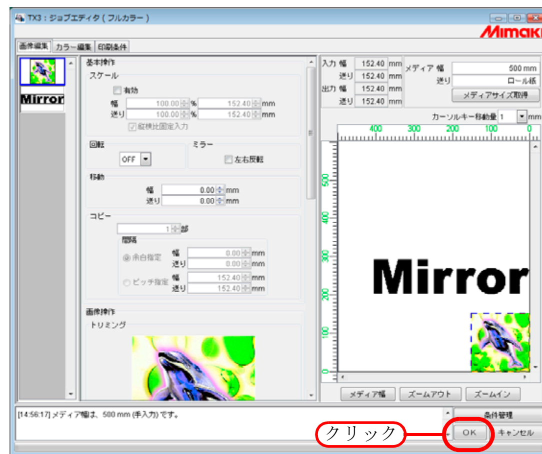


- Ctrl キーを押しながらジョブをクリックすると、クリックしたジョブだけ選択できます。
- Shift キーを押しながらジョブをクリックすると、最初に選択したジョブから次にクリックしたジョブまで全て選択します。
- ジョブの選択時に、他のグループに所属しているジョブも選択することができます。この場合、そのグループのジョブすべてがグループ化対象になります。

2 Shift キーを押しながら選択したジョブをダブルクリックし、“ジョブエディタ”を開きます。

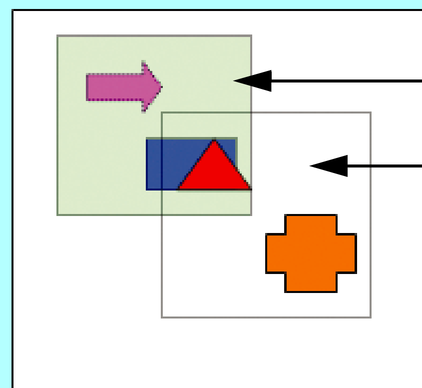
“ジョブエディタ”の開き方は、リファレンスガイド プリンタ共通編（☞P. 75）をご覧ください。

ジョブの編集を行い、 OK ボタンをクリックします。



重 要！

- 画像を重ねて配置する場合、サムネイルリストに表示されている一番上の画像から順番に、重ねて印刷します。
- 画像が重なっている部分は、上に配置する画像の有効画素が優先的に印刷されます。

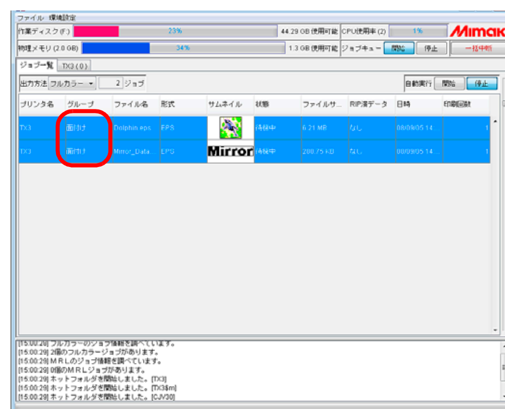


下に重ねる画像

上に重ねる画像

重ねて印刷する例

3 “ジョブ一覧”の“グループ”欄に“面付け”と表示されます。





グループ化したジョブを “ジョブエディタ” で開くと、グループ化されている全てのジョブを “ジョブエディタ” に表示します。

ジョブの編集中にグループ化するジョブを追加する

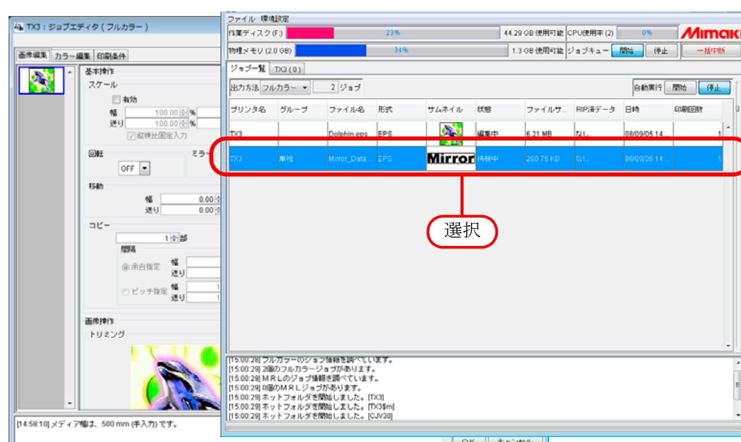
“ ジョブエディタ ” でジョブの編集中にも、グループ化するジョブを追加できます。
“ ジョブ一覧 ” のジョブを “ ジョブエディタ ” に追加します。

重 要 !

- 現在編集中のジョブにタイリング、パネリング、コピーを 2 部以上設定している場合、または編集中のジョブが複数ページ、アプリ分版、RIP 分版の場合、編集中のジョブと “ プリンタ名 ” が異なる場合、ジョブの追加はできません。
- タイリング、パネリング、コピーを 2 部以上設定しているジョブ、複数ページのジョブを追加することはできません。
- “状態” が “待機中”、“中断”、“エラー” 以外のジョブを追加することはできません。

1 “ ジョブエディタ ” を開いたまま追加するジョブを選択し、ダブルクリックします。
次の方法でもジョブを追加できます。

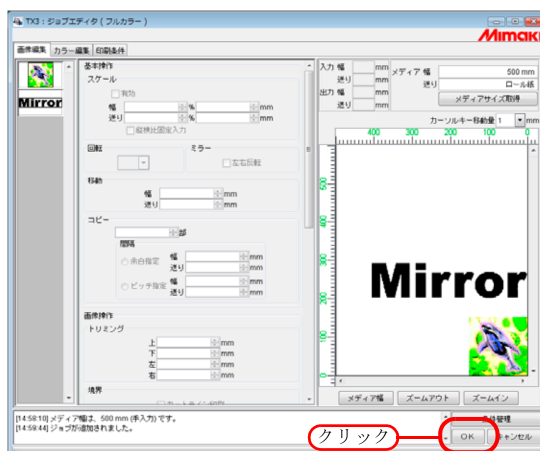
- 右クリックをして “ 編集 ” を選択する
- Ctrl キーを押しながら E キーを押す



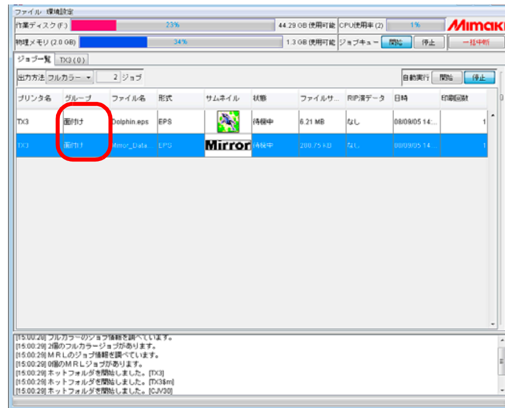


すでにグループ化されているジョブも追加できます。この場合、追加するグループのジョブすべてが追加されます。

2 “ ジョブエディタ ” にジョブを追加しました。
ジョブの編集を行い、 OK ボタンをクリックします。



3 “ ジョブ一覧 ” の “ グループ ” 欄に “ 面付け ” と表示されます。





グループ化したジョブを “ ジョブエディタ ” で開くと、グループ中のジョブ全てを “ ジョブエディタ ” に表示します。

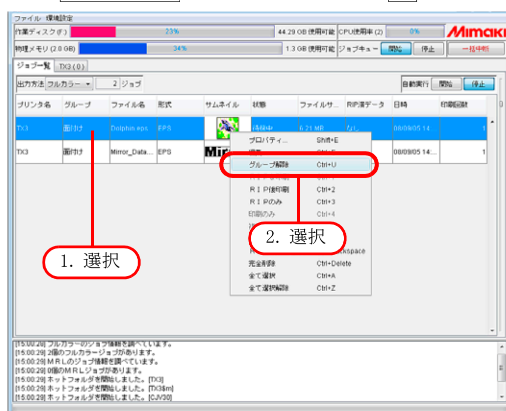
グループ化の解除

グループ化したジョブは、2 つの方法でグループを解除することができます。

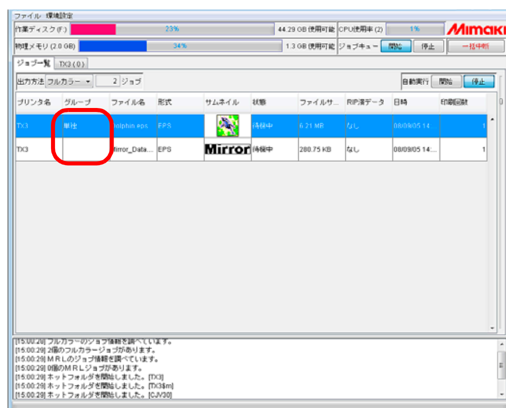
重 要 !	“ 状態 ” が “ 待機中 ”、“ 中断 ”、“ エラー ” 以外のジョブは、グループ解除できません。

“ ジョブ一覧 ” でグループ化解除

1 グループ化しているジョブを一つ選択します。
右クリックをして “ グループ解除 ” を選択します。
または Ctrl キーを押しながら U キーを押します。



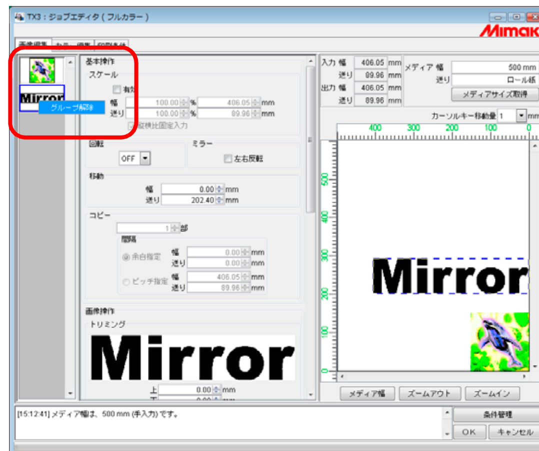
2 “ ジョブ一覧 ” の “ グループ ” 欄に “ 単独 ” と表示されます。



編集画面でグループ化解除

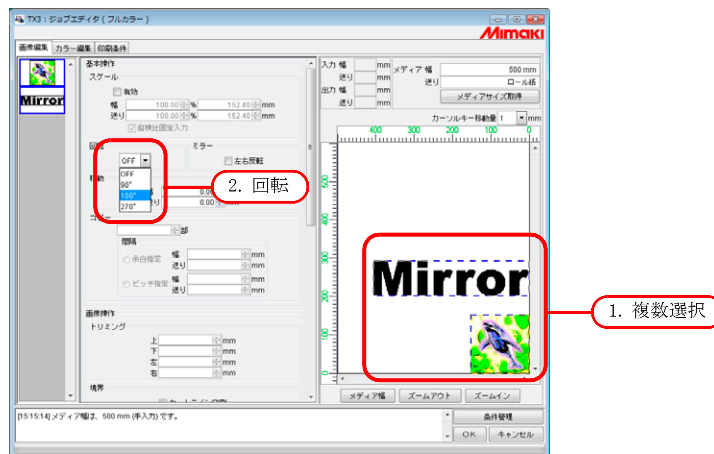
複数のジョブを編集中に、“ ジョブエディタ ” からジョブのグループ化を解除することができます。

グループ解除したいジョブのサムネールを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。
“ グループ解除 ” を選択します。



複数ジョブの編集

“ ジョブエディタ ” 上で、面付けされた複数のジョブに対して同時にスケール、回転、ミラー、移動、カットライン印刷が指定できます。



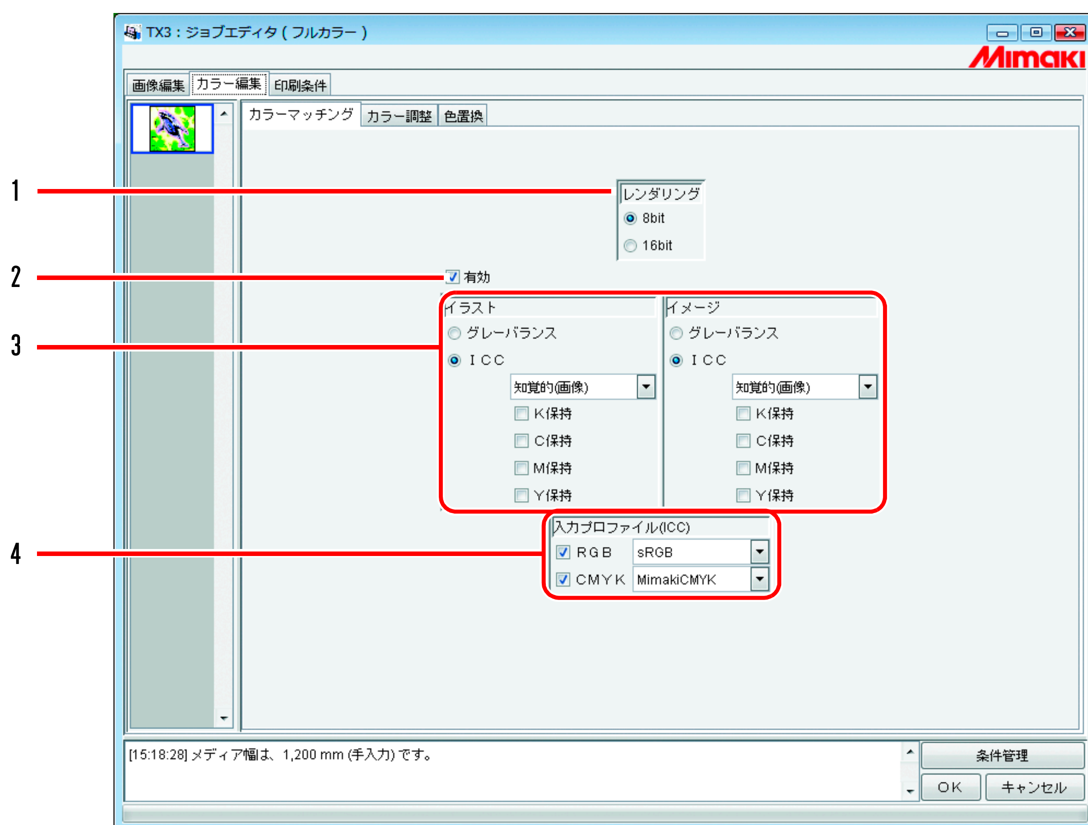
カラー編集

“ ジョブエディタ ” ウィンドウの “ カラー編集 ” で、カラーマッチング方法等を指定します。
カラー編集を行うジョブを、左のサムネイル一覧から選択します。

重 要！

- **ダイアログについて**
  このマニュアルは Tx3 の画面を元に作成していますが、この章では説明に他機種の画面を使用している場合があります。
  ご使用のプリンタ名に置き換えてご覧ください。
- カラー編集はジョブごとに行います。複数のジョブを編集中の場合、サムネイルリストからカラー編集を行うジョブを選択して設定します。

カラーマッチングの設定を行う



1. レンダリング

印刷条件でバージョン 3.0 のデバイスプロファイルを選択するとレンダリング画面を表示します。

8bit:　　従来と同様の画質で印刷します。

16bit:　　グラデーションを滑らかに印刷します。

バージョン 2.0 のデバイスプロファイルを選択すると、レンダリング画面を表示しません。従来と同じ 8bit で印刷します（☞ P.133）。

2. 有効

カラーマッチング機能を有効にします。

“ カラーマッチング ” ページで設定した条件で作図します。

3. イラスト / イメージ

１ファイル内にあるイラスト部分とイメージ部分に対して別々にカラーマッチングを設定します。

グレーバランス： CMYK データの場合有効です。
データで指定されたインク色に、指定以外のインクが混じらないようにして全体の色を合わせます。
カラーマッチングの精度は ICM より劣ります。
バージョン 2.0 のデバイスプロファイルから変換したバージョン 3.0 のデバイスプロファイルを印刷条件で選択している場合、グレーバランスは選択できません。

ICM： ICC プロファイルによるカラーマッチングを行います。
通常は、こちらを選択してください。

知覚的（画像）	ジョブが写真の場合に適しています。画像全体の明るさが、入力画像により近くなるようにカラーマッチングします。
彩度（グラフィック）	ジョブがイラストの場合に適しています。なるべく濃い色が出るようにカラーマッチングします。
相対的な色域を維持	白色に対する印刷色の関係を、入力画像に近づけるようにカラーマッチングします。入力画像が基準としている白とメディアの色が異なる場合、印刷色はメディアの色で変わります。例えば、黄色味かかったメディアに印刷する場合は、入力画像より全体的に黄色味を帯びて印刷します。
絶対的な色域を維持	メディアの色に影響されずに、入力画像に色を近づけるようにカラーマッチングします。入力画像の白とメディアの色が異なる場合、メディアの色を入力画像の白に近づけようとします。このため画像がない場所にもインクを吐出する場合があります。

K 保持、C 保持：M 保持、Y 保持 一次色のシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックで作成されたデータはカラーマッチングを行わずに作図し、他のインクが混ざって印刷されるのを防ぎます。

4. 入力プロファイル（ICM）

データを作成したときのプロファイルを選択します。

チェックを外すと、グレーバランスモードになります。

重 要！ 入力画像がスキャナーなどの特別なプロファイルを持っている場合、そのプロファイルを入力プロファイルに指定することで色の再現性がよくなる場合があります。
プロファイルは Profile Manager で登録する必要があります。

カラー調整を編集する

画像の色味を調整します。調整した値は、カラー調整セットとして登録できます。
“カラー調整”で、各プロファイル毎にカラー調整セットを登録します。

カラー調整セットリストです。
“標準”を選択した場合、カラー調整の編集はできません。
カラー編集を行う場合は、新規にカラー調整セットを作成します。（P. 75）

調整を行うタブをクリックします。
濃度（P. 77）
インクカーブ（P. 79）
K-CMY 比率（P. 86）

TX3：ジョブエディタ（フルカラー）
Mimaki
画像編集 カラー編集 印刷条件
カラーマッチング カラー調整 色置換
標準
光沢塩ビ
濃度 インクカーブ K－CMY比率
全体 イラスト イメージ
濃度
0
削除
光沢塩ビ 追加
更新
[15:18:28] メディア幅は、1,200 mm (手入力) です。
条件管理
OK キャンセル

設定内容にカラー調整セット名を付けて登録したり、削除する際に使用します。
（P. 75）

設定内容を選択中のカラー調整セットに適用します。

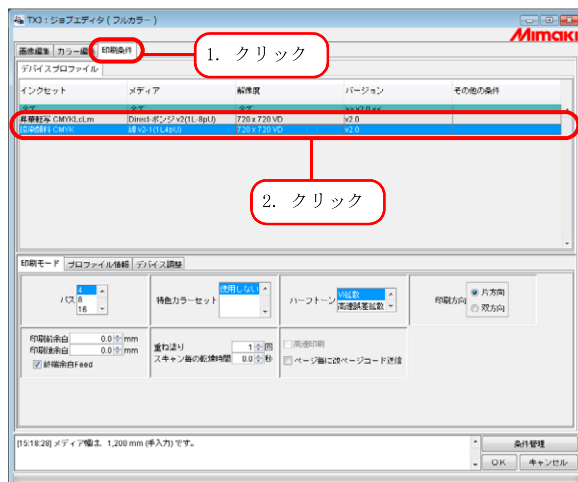
カラー調整セットを作成する

カラー調整セットは、プロファイル毎に作成します。

1 [印刷条件] メニューをクリックします。

カラー調整セットを作成するプロファイルをクリックします。

> **重要!**
> - カラー調整セットは、プロファイル毎に作成します。
> - カラー調整セットを使用して印刷する場合、カラー調整セットを作成した時のプロファイルを選択してください。

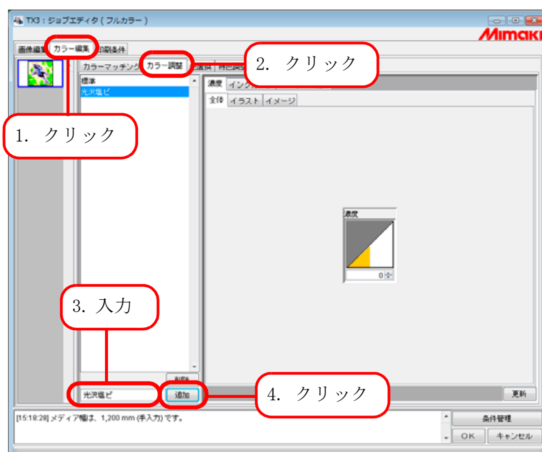


2 [カラー編集] メニューをクリックします。
[カラー調整] メニューをクリックします。
カラー調整セット名を入力します。

> **重要!**
> カラー調整セット名に下記の半角文字は使用できません。
> ¥ / : * ? “ < > I

[追加] ボタンをクリックします。

すでに同じ名前のカラー調整セットがある場合は、上書きの確認メッセージを表示します。





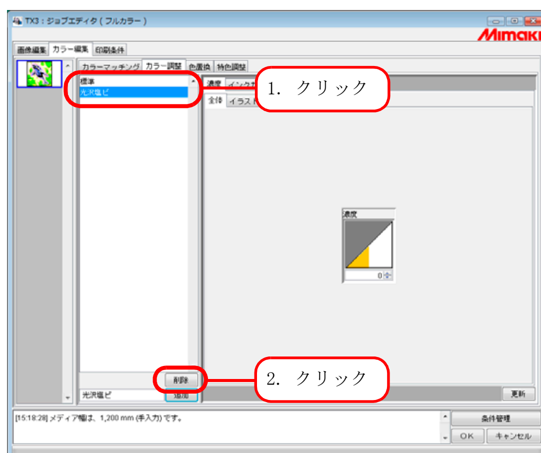
- 新規にカラー調整セットを作成する場合は、“ 標準 ” を選択します。その後、セット名を入力して [追加] ボタンをクリックします。
- 登録済みのカラー調整セットを複製する場合は、編集するセットを選択し、セット名を変えた後に [追加] ボタンをクリックします。

カラー調整セットを削除する

登録したカラー調整セットをクリックします。

削除 ボタンをクリックすると、選択したカラー調整セットを削除できます。

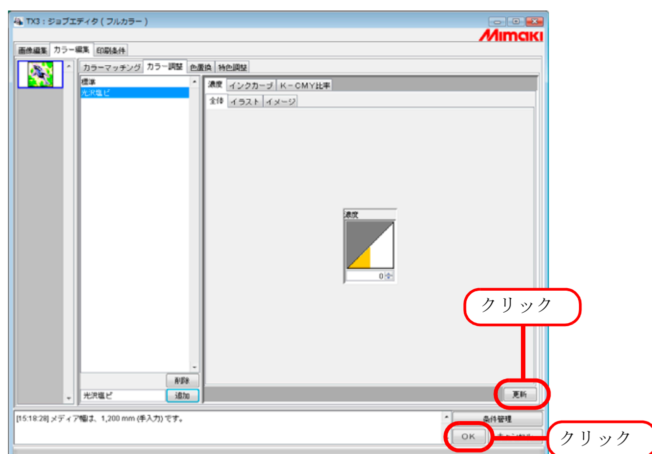
重要！ “標準”セットは、削除することはできません。



カラー調整セットを更新する

設定したカラー調整情報を更新するには、

更新 ボタンをクリックするか、OK ボタンをクリックし、“ジョブエディタ”を終了させせます。

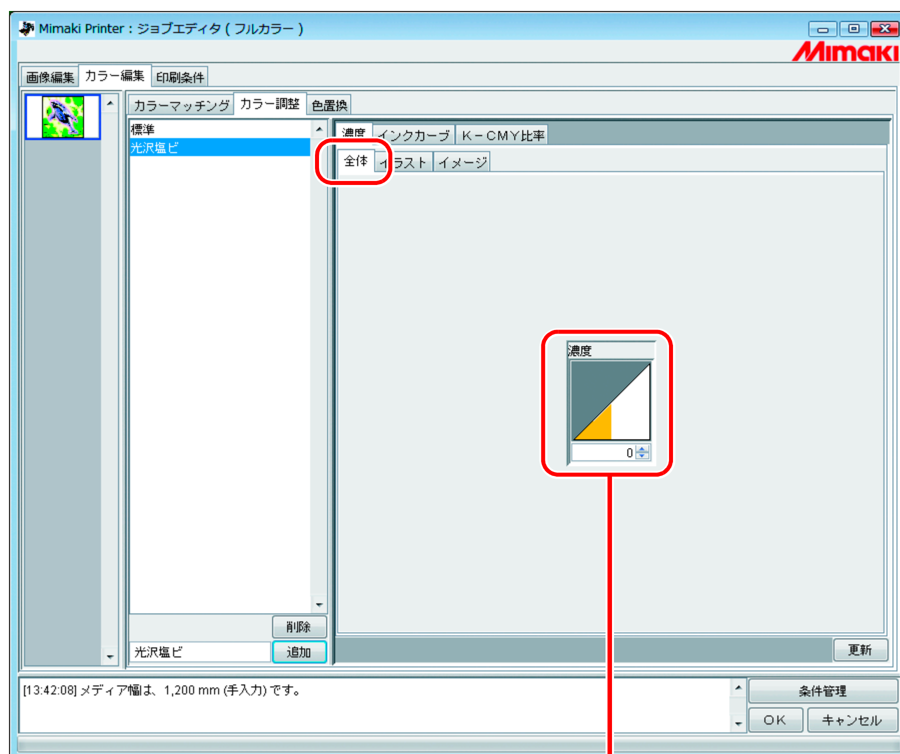


インク濃度の調整

全てのインク濃度を調整する

全てのインクの最大使用量を調整します。

▲ 、または ▼ をクリックすると、５単位で数値が変わります。また、数値ボックスに直接数字を１単位で入力することができます。値は -50% から +50% までの範囲で設定できます。



全てのインクの最大使用量を調整します。
この調整は、イラストとイメージの区別なく反映します。
全体の濃度をプラス値に設定すると、各色のインクリミット値を超えて印刷できます。

イラスト部分、イメージ部分のインク濃度を調整する

1 ファイル中の、イラスト部分とイメージ部分の各インク量の調整を行います

画像のコントラストを調整します。
値を大きくするとコントラストが強くなり、小さくすると弱くなります。

ブラックインク濃度調整
ブラックインクの使用量を調整します。
1 〜 +50 :シアン、マゼンタ、イエローの量を減らして、ブラックインクの量を増やします。
より詳細な設定を行うには、K-CMY 調整を行ってください。
0 :機能が無効となり、K-CMY 調整が有効になります。
-50 〜 -1 :ブラックインクの量を減らします。
0%以外を設定すると K-CMY 調整が無効になります。

主に調整したい部分（ハイライト、中間、シャドウ）のインク量を調整します。より詳細に調整するには、インクカーブ調整を行ってください。
（☞ P. 79）

より詳細にカラー調整をするには(インクカーブ)

インク濃度を変更しても思い通りの色で出力できない場合は、各インクのインクカーブを調整します。

インクカーブの調整方法はデバイスプロファイルのバージョンによって異なります。

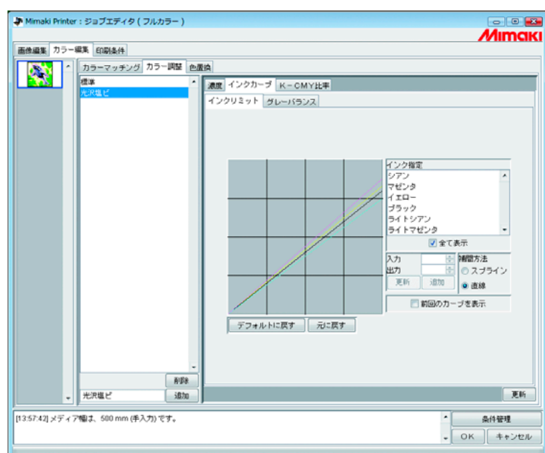
バージョン 1.0、2.0 のデバイスプロファイル

インクリミット : 全色のインクに対してインク濃度を調整します。

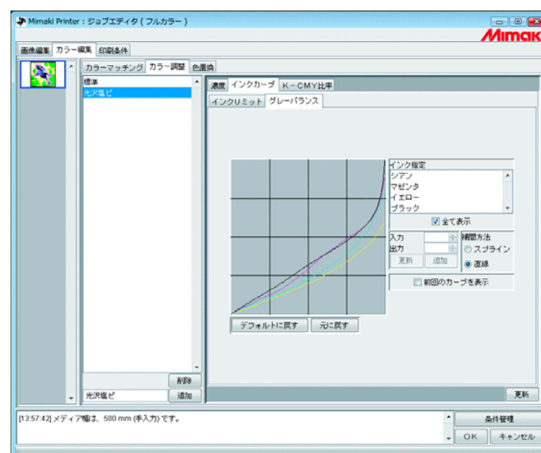
グレーバランス : ブラック、シアン、マゼンタ、イエローの 4 色のみを使用してインク濃度を調整します。
グレーバランスはバージョン 2.0 のみ有効です。

重要!
- “グレーバランス”は、“カラーマッチング”メニュー(P. 72)で、グレーバランスを選択した場合のみ有効になります。
- インクカーブは、イメージとイラストの区別なく画像全体に反映します。

“インクリミット”カーブ



“グレーバランス”カーブ

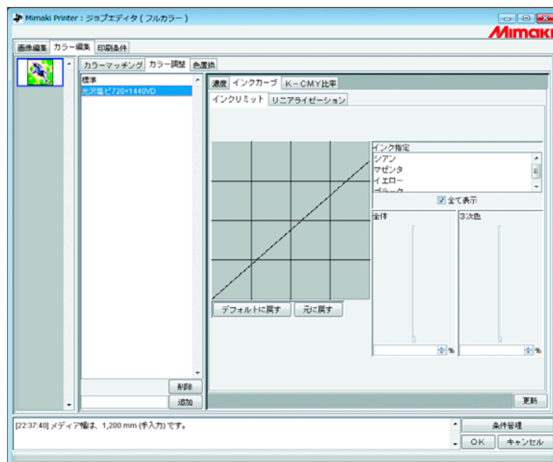


インクカーブの調整方法は、「インクカーブを調整する」(P.81)を参照してください。

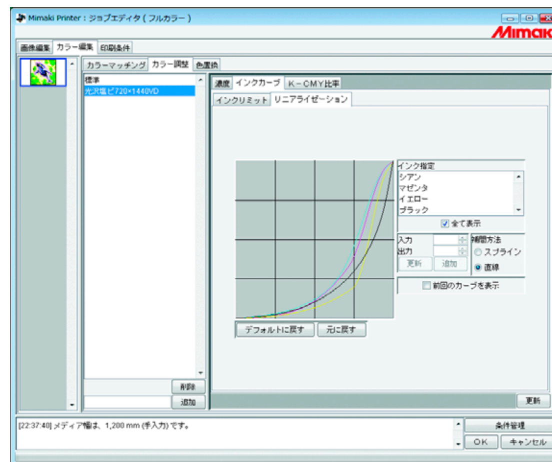
バージョン 3.0 のデバイスプロファイル

インクリミット :　　　インクの最高濃度を決めます。

リニアライゼーション : インクの全範囲での濃度を調整します。



“インクリミット” カーブ



“リニアライゼーション” カー

“インクリミット”カーブはスライダーで調整します。

“全体”は全色のインクに対してインク濃度を調整します。

“3 次色”は 3 色以上のインクが混じったときの各インクの濃度を調整します。

“全体”の濃度が“3 次色”の上限値になります。

“全体”のインクリミットに連動して、“3 次色”のインクリミットの上限値も変わります。

“リニアライゼーション”カーブの調整方法は、「インクカーブを調整する」（☞ P.81）を参照してください。

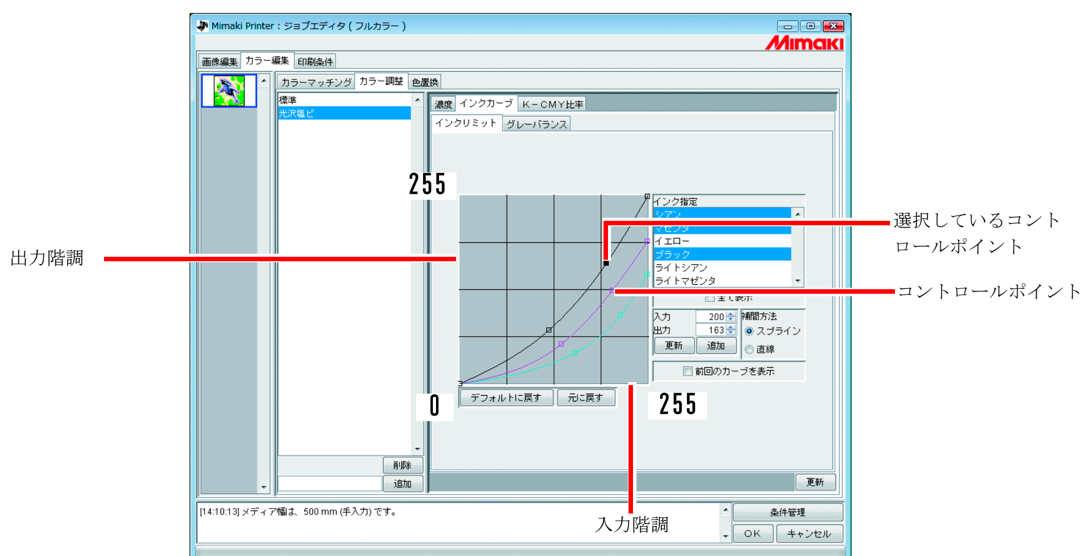
インクカーブを調整する

“インク指定”リストで選択したインクのインクカーブを表示します。

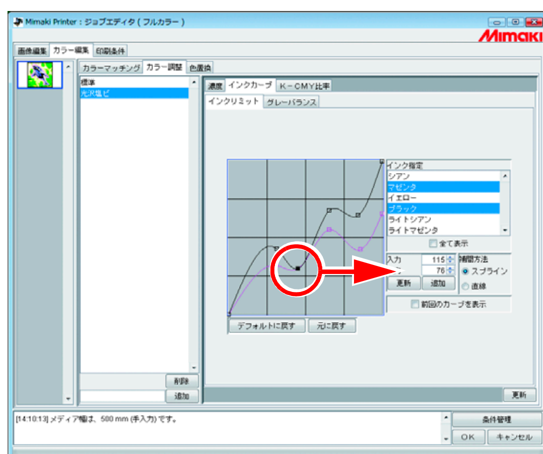
横軸に調整前のインク濃度（入力階調）、縦軸に調整後のインク濃度（出力階調）を示します。
縦軸、横軸とも 0 から 255 の範囲を表示します。

出力階調が 0 より下回る場合は、0 に設定されます。また、255 より上回る場合は、255 に設定されます。

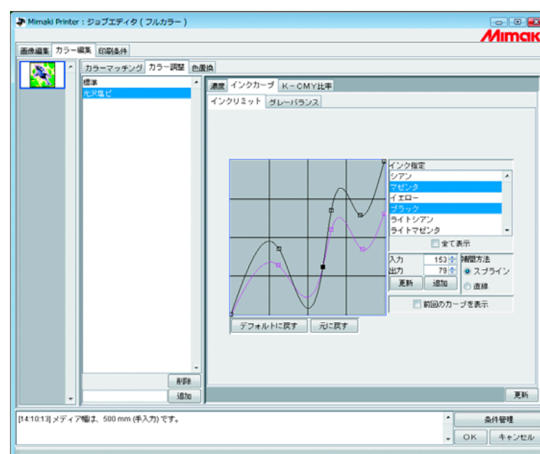
インクカーブ上の調整したいポイントをクリックすると、コントロールポイントができます。
最高 30 個まで追加できます。なお、選択しているコントロールポイントは、白抜きの矩形からインクの色で塗られた矩形に変わります。



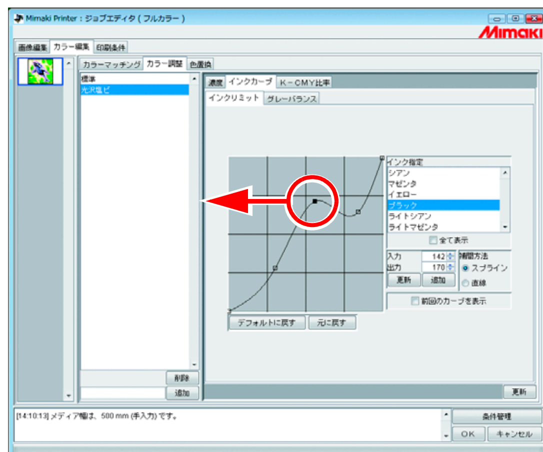
複数のインクカーブを一度に変更する場合は、各色のインクカーブが重なり合っている部分、または接近している部分をマウスでドラッグします。または、キーボードの矢印キーを押してコントロールポイントを移動します。



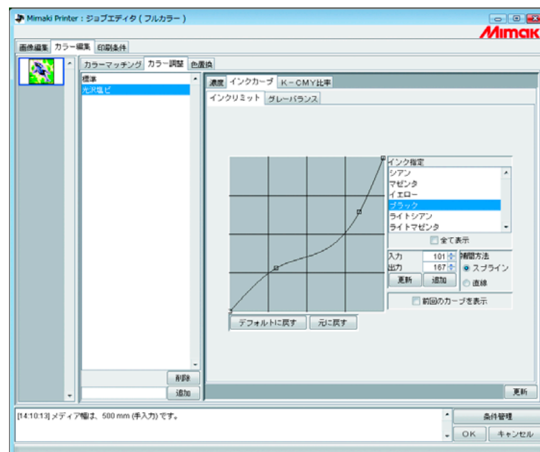


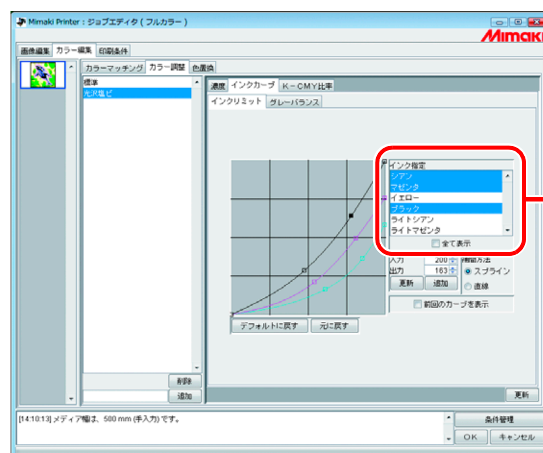


コントロールポイントの削除は、削除したいコントロールポイントを隣合うコントロールポイントの外側にドラッグすると削除できます。または、キーボードの Delete キー（ Back Space キー）を押します。









インク指定リスト：
印刷条件設定ウィンドウで選択したインクセットのインクを表示します。
複数のインクを選択する場合は、Ctrl キーを押しながらインク名をクリックします。
選択を解除するには、もう一度インク名をクリックします。

全て表示：
全てのインクカーブを表示します。
チェックを外すと “インク指定” リストで選択したインクカーブのみ表示します。

補間方法：
補間方法をスプラインにするか直線にするか選択します。
“インク指定” リストのインク名をクリックすると、現在の補間方法を表示します。
複数のインクを選択し、各インクで補間方法が異なる場合は、選択しているインク指定リストの先頭のインクの補間方法を表示

前回のカーブを表示：
変更する前のインクカーブを破線で表示します。 更新 ボタンをクリックすると変更前のインクカーブは消えます。

入力階調と出力階調の数値を入力してコントロールポイントを調整します。コントロールポイントを追加する場合は、数値を入力して 追加 ボタンをクリックします。
コントロールポイントの位置を変更する場合は、変更するコントロールポイントを選択し、数値を入力した後に 更新 ボタンをクリックします。
ただし、変更する入力コントロールポイントは、隣り合うコントロールポイントを超えて設定することはできません。

更新 ボタン：
変更したインクカーブを登録します。

元に戻す ボタン：
“インク指定” リストで選択中のインクカーブを更新する前のカーブに戻します。

デフォルトに戻す ボタン：
“インク指定” リストで選択したインクのリミット値を読み込みます。
リミット値より低い値を設定すると色が薄く印刷されます。
高い値を設定すると色が濃くなり、乾きにくくなります。

乾きにくい

デフォルトカーブ

薄い

キーボードによるインクカーブの設定

インクカーブの調整は、コントロールポイントをマウスでドラッグする他に、キーボードで調整することができます。

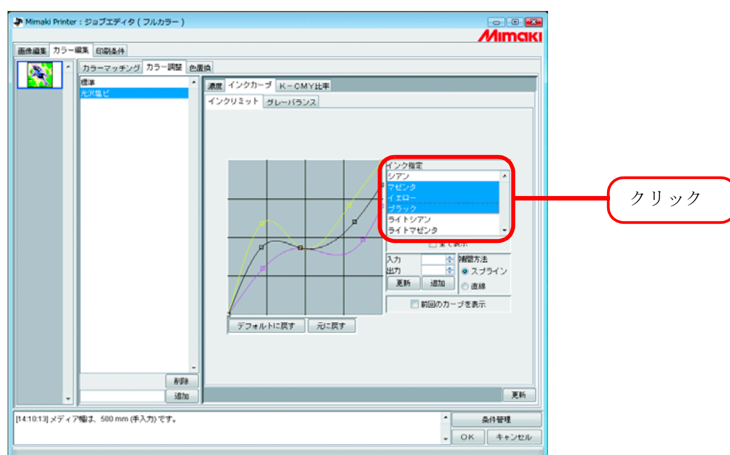
以下のキーを使用します。

- Z キー：左方向へコントロールポイントを選択していきます。
- X キー：右方向へコントロールポイントを選択していきます。
- Delete キー／ Back Space キー：コントロールポイントを削除します。
- ← 、→、↑ 、↓：矢印方向へコントロールポイントを移動します。

複数のインクカーブが重なっている（または接近している）コントロールポイントをまとめて調整する場合、キーボードで調整すると便利です。

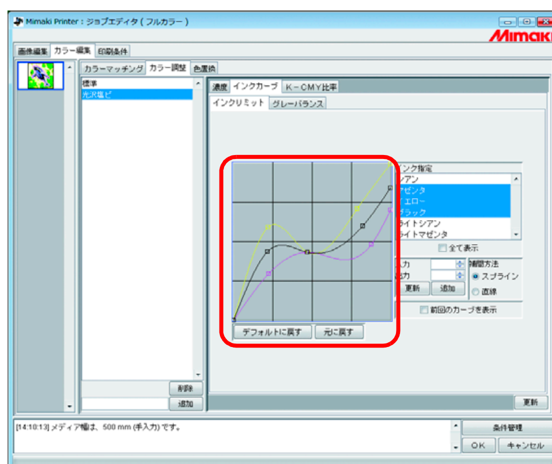
ここでは、複数のインクカーブを調整する方法を説明します。

1 “インク指定”リストで調整するインクを選択します。



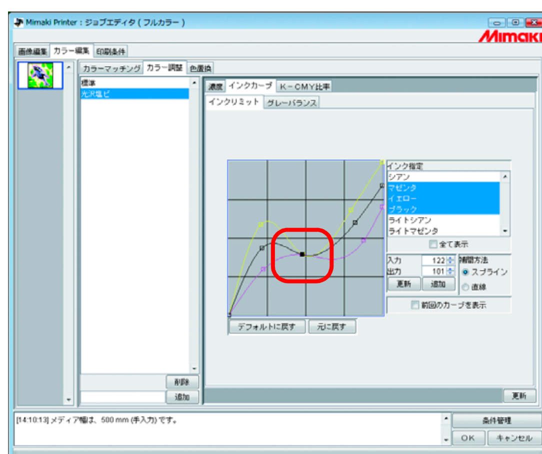
2 インクカーブエリアをマウスでクリックします。

インクカーブエリアが青い枠で囲まれているとインクカーブエリアが選択されています。

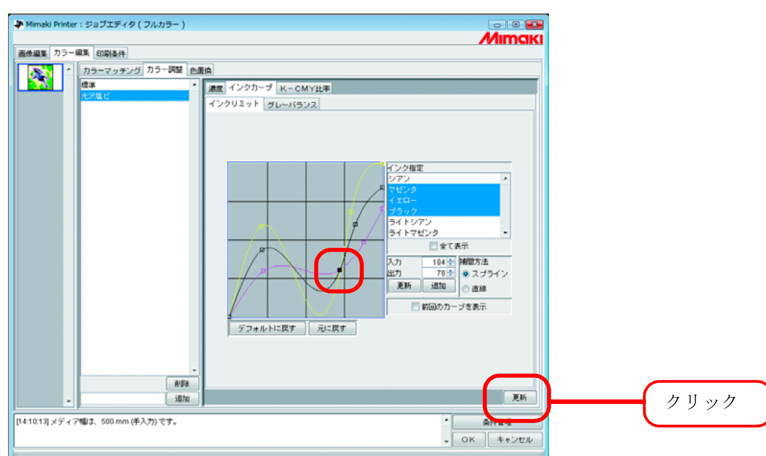


3 Z キーまたは X キーでコントロールポイントを選択します。

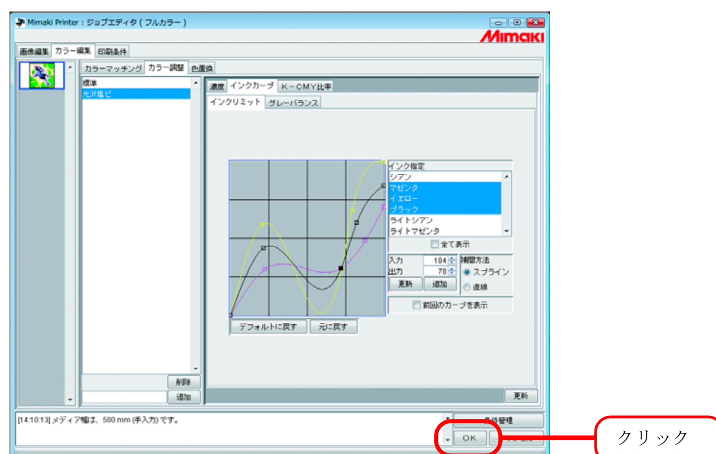
重要! キーを押してもコントロールポイントが選択できない場合は、次の点を確認してください。
- インクカーブエリアが選択されていますか？



4 矢印キーでコントロールポイントを調整します。
更新 ボタンをクリックします。
インクカーブを更新します。



5 OK ボタンをクリックします。
カラー調整セットを更新して“ジョブエディタ”を終了します。



K-CMY 比率調整

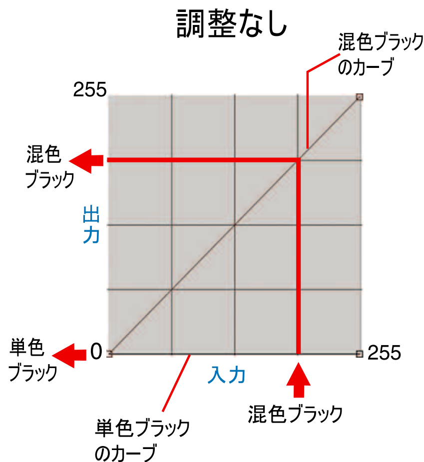
シアン、マゼンダ、イエローでブラック（混色ブラック）を表現している部分を、単色ブラックに置き換えます。

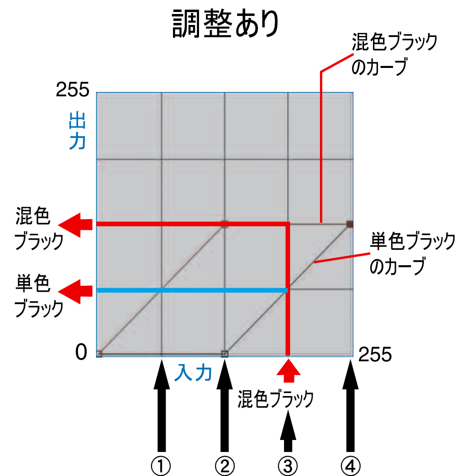
イラスト・イメージ別に調整可能です。

次の場合に効果があります。

① RGB 画像のインク濃度を低減させる

② RGB 画像で、黒にしまりのある印刷をする





調整方法はインクカーブと同様です。

例）

調整したカーブの値

	入力色 A			入力色 B	混色ブラック		単色ブラック		出力色				説明
	C	M	Y	K	入力	出力	入力	出力	C	M	Y	K	
①	64	85	64	5	64	64	64	0	64	85	64	5	変わらない
②	128	150	160	5	128	128	128	0	128	150	160	5	変わらない
③	200	192	200	5	192	128	192	64	136	128	136	69	CMY の一部が K に変わる
④	255	255	255	5	255	128	255	128	128	128	128	133	CMY の一部が K に変わる

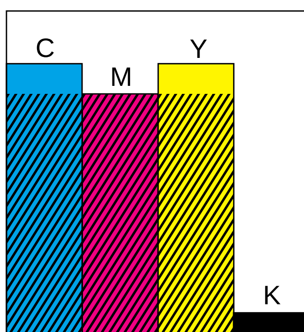
③の計算

C　200 - 192 + 128 = 136

M　192 - 192 + 128 = 128

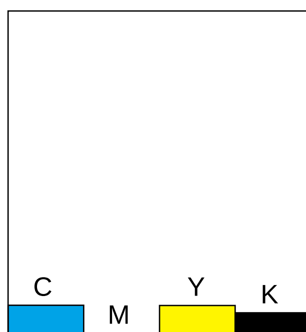
Y　200 - 192 + 128 = 136

K　5 + 64　= 69



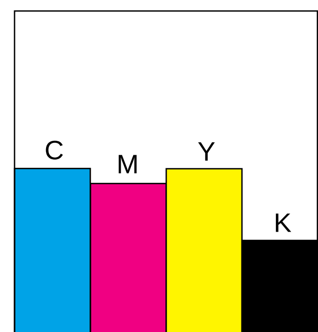
斜線部が CMY の混色ブラック





CMY から混色ブラックの入力を取り除く

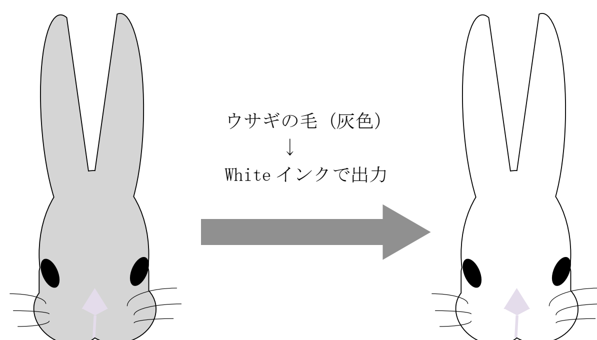




CMY に混色ブラックの出力を加える。
K に単色ブラックの出力を加える。

色置換

元画像の特定の色に対して、使用するインク色とインク濃度を設定し出力する機能（色置換）について説明します。



> **重要!**
> **ダイアログについて**
> このマニュアルは Tx3 の画面を元に作成していますが、この章では説明に他機種の画面を使用している場合があります。
> ご使用のプリンタ名に置き換えてご覧ください。

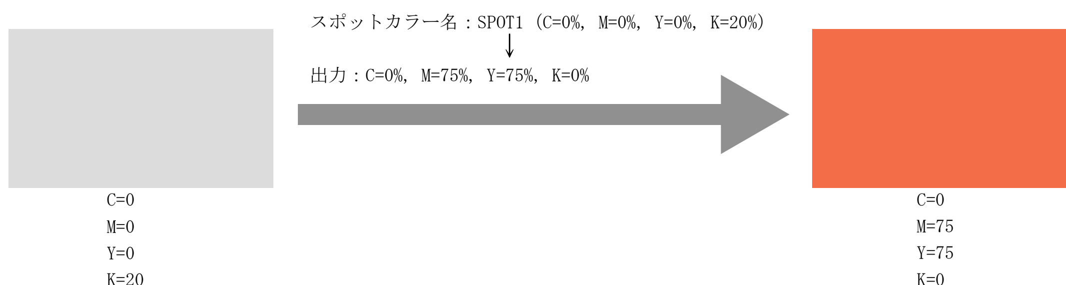
色置換の方法

色置換の方法は 4 種類あります。

スポットカラー名に対して色置換する

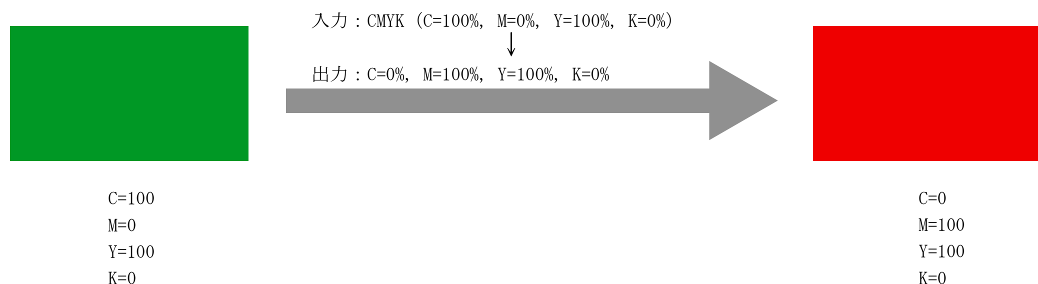
Adobe Illustrator などでは、“ スポットカラー ” または “ 特色 ” と呼ぶ特別な色を作成することができます。

スポットカラーには、必ず名前を付けます。RasterLinkPro5 TA では、この名前に対してインク色と濃度を指定します。



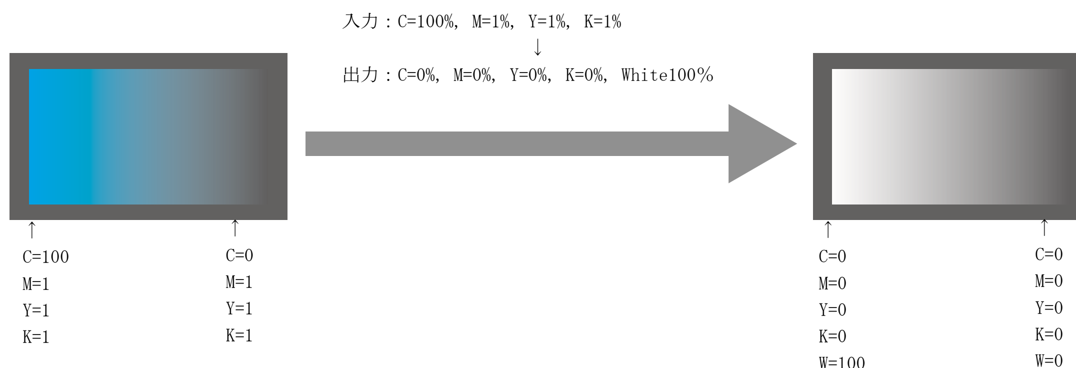
CMYK に対して色置換する

ベクタオブジェクトの CMYK 色を他のインク色に置換できます。
画像の他のベクタオブジェクトで同じ色が使用されている場合、その色も変更されるので、注意が必要です。



グラデーションに対して色置換する

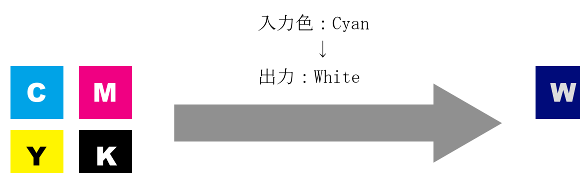
グラデーションに対してインク色と濃度を指定します。
例えば、シアンのグラデーションをホワイトのグラデーションに色置換する濃度を指定します。



CMYK どれか 1 色を複数のインクへ色置換する

CMYK カラーモードの画像で、CMYK のどれか 1 色だけを指定したインクで印刷します。

指定インクは複数選択できます。ただし、ライトインクは指定できません。
このモードでは、ラスタ画像も色置換可能です。
画像全体を特定のインクだけで印刷する場合に使用します。
例えば、モノトーン画像を白インクで印刷する場合に便利です。



自動特色版合成と組み合わせる

色置換と自動特色版合成を同時に指定できます。

自動特色版合成：特色領域が " 有効画素 " の場合

色置換で特色を指定すると、色置換の濃度を優先します。

例）

色置換	：スポットカラー = 特色 20%	スポットカラー = 特色 20% で印刷
自動特色版合成	：特色濃度 = 50%	

自動特色版合成：特色領域が " 画像全体 " の場合

色置換で特色を指定すると、色置換の特色濃度に自動特色版合成の濃度を足します。

例）

色置換	：スポットカラー = 特色 20%	スポットカラー = 特色 70% で印刷
自動特色版合成	：特色濃度 = 50%	

自動特色版合成：特色濃度 0% の場合

自動特色版合成による特色は発生しません。色置換した特色は、指定濃度で印刷されます。

重要！ 特色調整のインクリミットメニューで、特色のインクリミットカーブを調整している場合、特色濃度が指定した値にならない場合があります。（☞ P. 130）

色置換画像の作成方法

色置換可能な画像の条件

色置換可能な画像には条件があります。

画像のカラーモードは CMYK のみ対応しています。

	画像フォーマット	置換できる部分
スポットカラーに対して色置換	EPS, PS, PDF	ベクタオブジェクトのみ
CMYK カラーに対して色置換	EPS, PS, PDF	ベクタオブジェクトのみ
グラデーションに対して色置換	EPS, PS, PDF	ベクタオブジェクトのみ
CMYK 内の 1 色を複数のインクへ置換	EPS, PS, PDF, TIFF	ベクタ、ラスタ

スポットカラーの作成

Adobe Illustrator 10 でスポットカラーを作成する方法と使用方法について説明します。

詳細は、Adobe Illustrator のマニュアルをご覧ください。

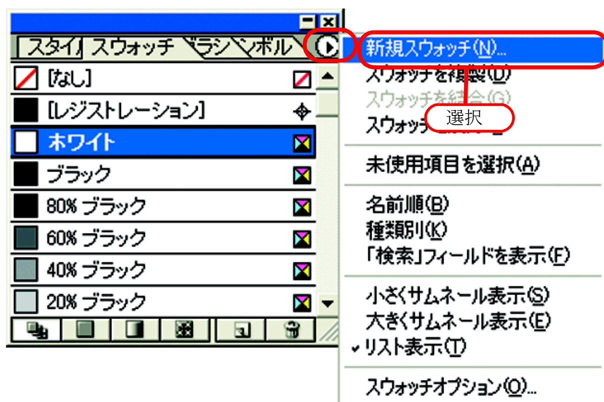
1 編集する画像を Adobe Illustrator で開きます。

スウォッチウィンドウを表示していない場合、[ウィンドウ] - [スウォッチ] メニューを選択するとスウォッチウィンドウを表示します。



2 をクリックし、メニューから“新規スウォッチ”を選択します。

新規スウォッチウィンドウを表示します。



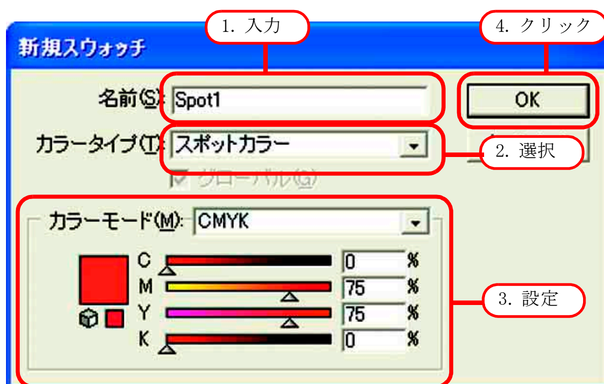
3 “名前”を入力します。

“カラータイプ”に“スポットカラー”を選択します。

Adobe Illustrator CS では“特色”を選択します。

“カラーモード”に“CMYK”を選択し、表示色を指定します。

OK をクリックします。

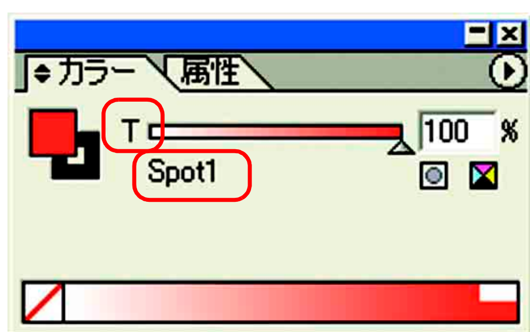


4 新規スウォッチが作成されました。

使用する際は、スウォッチウィンドウから作成したスウォッチを選択します。



カラーウィンドウでは、スウォッチは [色名] と [T] で表示されます。

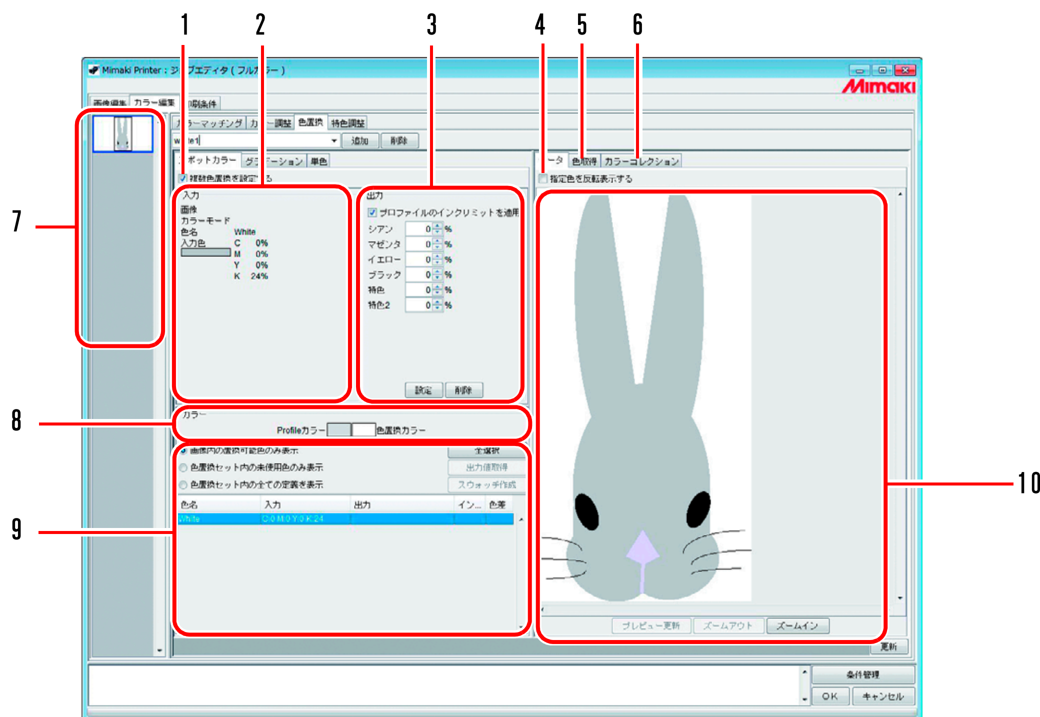


色置換画面

色置換画面には [スポットカラー]、[グラデーション]、[単色] の 3 種類あります。

スポットカラー

スポットカラーおよび CMYK カラーの色置換を設定します。



1. 複数色置換を設定する

複数色置換をできるように設定します。スポットカラーとグラデーションの色置換が可能になります。

2. 入力情報

プレビュー画面上にマウスカーソルを置いた際、カーソル位置の色情報を表示します。
または、置換情報一覧から選択された情報を表示します。

3. 出力情報

現在 " 入力 " 情報に表示されている色に対する、置換後のインク濃度を入力設定します。
また、[プロファイルのインクリミットを適用] をチェックをしておくと、印刷時のインクあふれを緩和させるために、自動的に設定値よりも低い値に変換して印刷を行います。チェックを外すと、指定した色成分値どおりに印刷を行いますが、インクあふれによるにじみなどの印刷不良が出やすくなります。できるだけ［プロファイルのインクリミットを適用］をチェックした状態でお使いください。

4. 指定色を反転表示する

チェックすると現在編集可能状態になっている色を、プレビュー上で点滅表示します。

5. 色取得

カンプなどの原稿の一部分の色をスキャナで読み取り、色を近付けます。

6. カラーコレクション

DIC のカラー情報を表示します。

7. サムネイル

編集対象のジョブをサムネイル画像で一覧表示します。複数のジョブを同時に編集している場合や、複数ページのジョブの場合、サムネイルリストから選択された画像がプレビュー画面に表示されます。置換情報一覧の情報も、選択画像の情報を表示します。

8. カラー

現在 " 入力 " 情報に表示されている色のプロファイルカラー（色置換しないで出力した場合の色）と、色置換カラー（色置換した場合の色）を表示します。

9. 置換情報一覧

置換元（入力）の色と置換後（出力）のインク情報を表示します。

表示する情報は、リスト上部にあるラジオボタンで選択します。

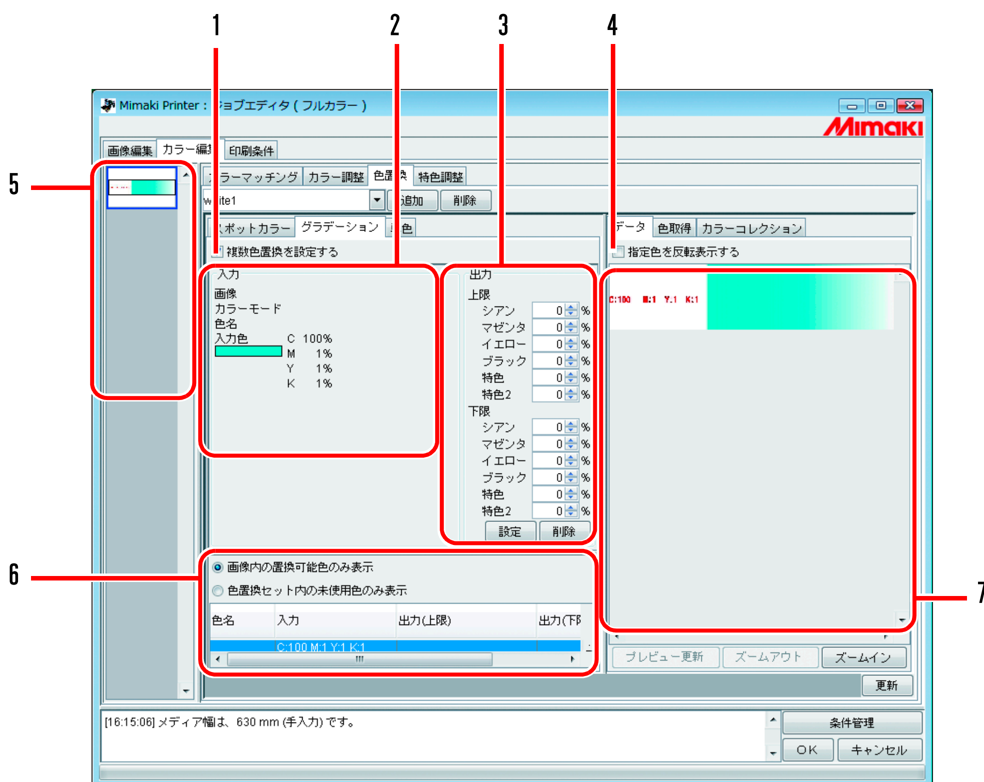
また、置換後（出力）のインク情報を、カラーコレクションから取得します。

10. プレビュー画面

画像のプレビューを表示します。マウスカーソルでプレビュー上をなぞると、" 入力情報 " にピクセル情報を表示します。マウスでクリックすると、そのピクセルの色が編集可能になります。

グラデーション

グラデーションの色置換を設定します。



1. 複数色置換を設定する

複数色置換をできるように設定します。スポットカラーとグラデーションの色置換が可能になります。

2. 入力情報

プレビュー画面上にマウスカーソルを置いた際、カーソル位置の色情報を表示します。

または、置換情報一覧から選択された情報を表示します。

3. 出力情報

現在 “ 入力 ” 情報に表示されている色に対する、置換後のインク濃度を入力設定します。

グラデーションの最も色の濃い箇所の色と最も色の薄い箇所の色をそれぞれ指定できます。

4. 指定色を反転表示する

チェックすると現在編集可能状態になっている色の最高濃度部分を、プレビュー上で点滅表示します。

5. サムネイル

編集対象のジョブをサムネイル画像で一覧表示します。複数のジョブを同時に編集している場合や、複数ページのジョブの場合、サムネイルリストから選択された画像がプレビュー画面に表示されます。置換情報一覧の情報も、選択画像の情報を表示します。

6. 置換情報一覧

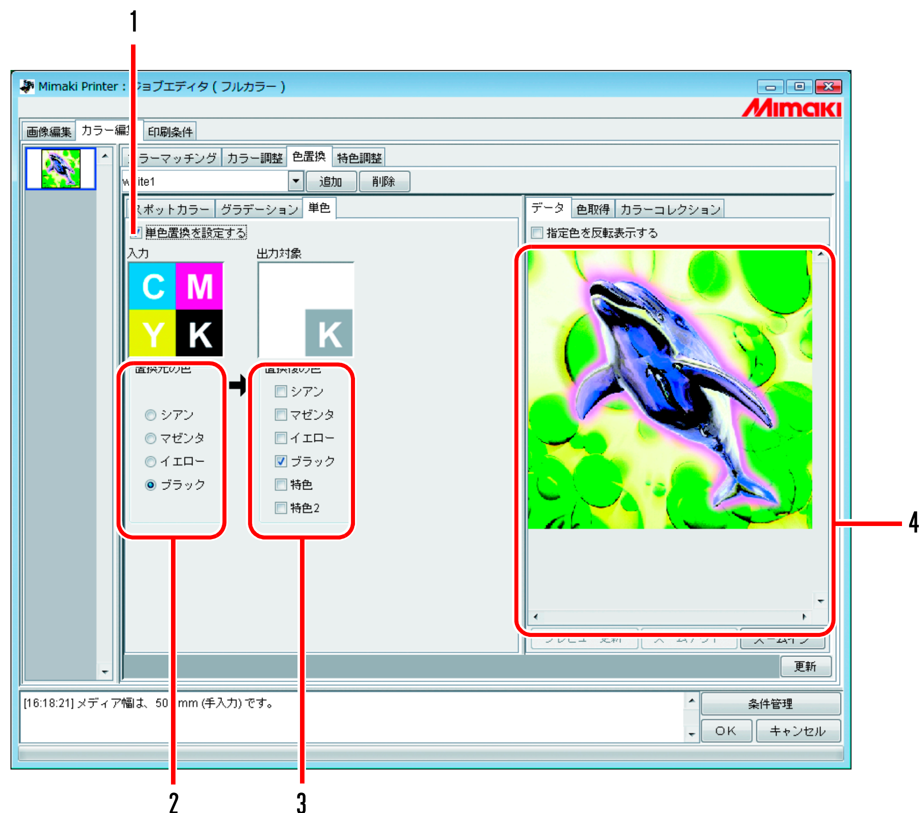
置換元（入力）の色と置換後（出力）のインク情報を表示します。表示する情報はリスト上部にあるラジオボタンで選択します。

7. プレビュー画面

画像のプレビューを表示します。マウスカーソルでプレビュー上をなぞると、“ 入力 ” 情報にピクセル情報を表示します。

単色

単色の色置換を設定します。



1. 単色置換を設定する

単色置換を設定できるようにします。

チェックすると、入力 CMYK のいずれか 1 色を、指定されたインクに割り当てます。

ライトインクは指定できません。

2. 置換元の色

画像内で置換する色を指定します。

3. 置換後の色

置換後に使用するインク色を指定します。

4. プレビュー画面

画像のプレビューを表示します。

色置換セットの作成

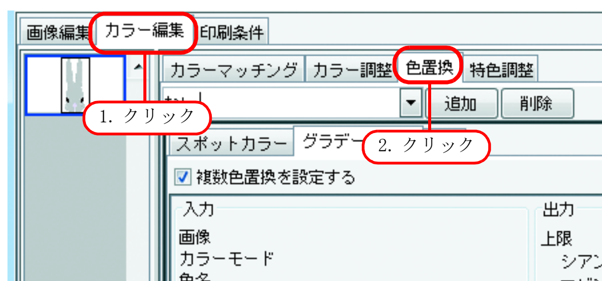
1 [印刷条件] メニューをクリックします。
色置換セットを作成するプロファイルを選択します。
選択機種が特色スロットを持っている場合、[特色カラーセット] を選択します。
P.138





色置換セットはプロファイルと、特色カラーセットの組み合わせごとに作成します。

2 [カラー編集] メニューをクリックします。
[色置換] メニューをクリックします。

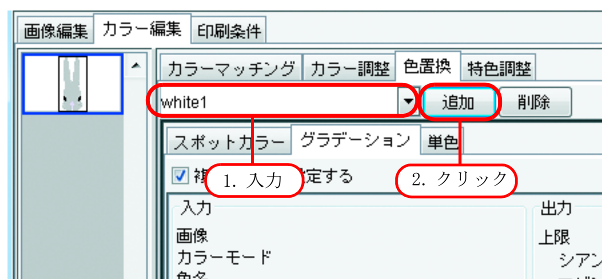


3 色置換名入力欄に色置換セット名を入力します。

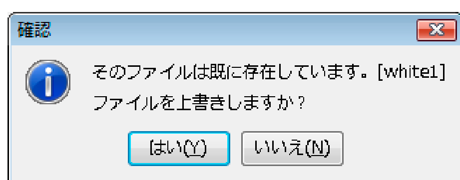
重要!

色置換セット名に下記の半角文字は使用できません。
¥ / : * ? “ < > I

追加 をクリックします。

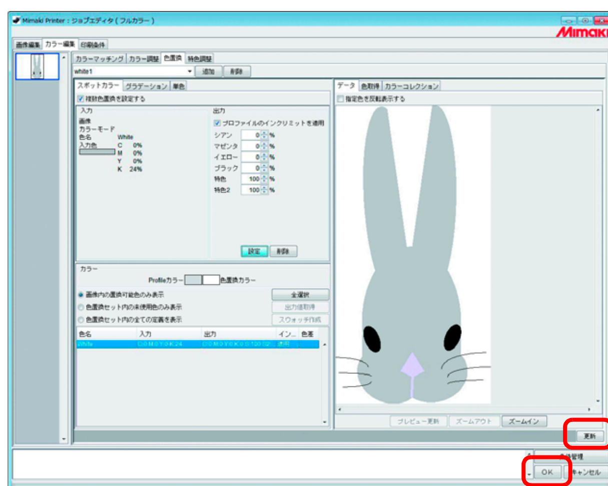


既に同じ名前の色置換セットがある場合、上書き確認メッセージを表示します。



色置換セットの更新

設定した置換情報を更新するには、 更新 をクリックするか、 OK をクリックし、“ジョブエディタ”を終了させます。



色置換セットの選択

[色置換] メニュー上部の色置換名入力ボックスの ˅ をクリックし、リストを表示・選択します。



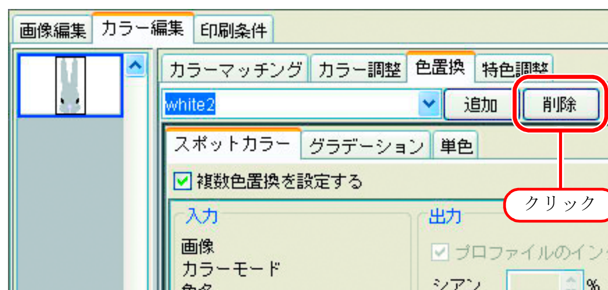
色置換セットの削除

1 ジョブの " ジョブエディタ " を開き、[色置換] メニューを開きます。

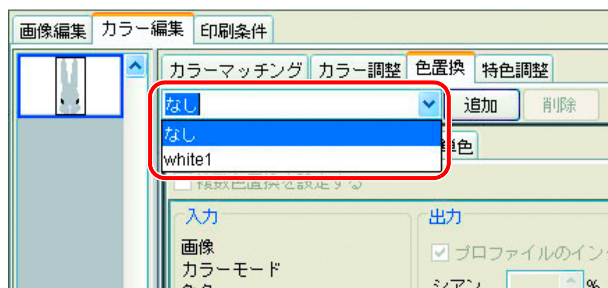
削除する色置換セットを選択します。



2 削除 をクリックします。



3 削除されます。



スポットカラー・CMYK カラーの置換

スポットカラー・CMYK カラーの置換方法を説明します。

重要!

- CMYK カラーを色置換する場合、同じ色が他のベクタオブジェクトに使用されていると、その色も変わります。
- Adobe Illustrator のドロップシャドウ / 透明 / ボカシのようなフィルタ効果をかけた色は、正しく色置換できません。
- FineCut、SimpleStudio から RasterLink 出力したデータは、以下のスポットカラーが付加される場合があります。このスポットカラーは、色置換設定しないでください。
“MPC_FRAME_DATA”、“Mimaki Register Mark”、“Around Mimaki Register Mark”

置換する元の色を指定

指定方法は 2 種類あります。

置換する元の色を指定すると、置換情報設定画面が編集可能になります。

複数色を置換する場合は、“ 複数色置換を設定する ” をチェックします。

① 置換情報リストから選択する

色置換したい色の色名をリストから見て選択します。

スポットカラーまたは登録済みの CMYK カラーが表示されます。

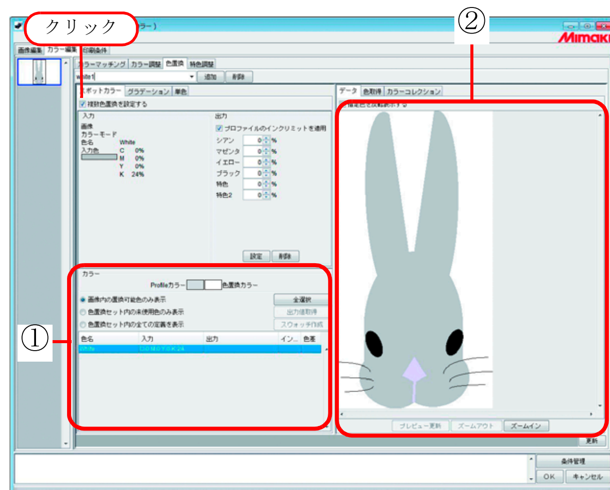
② プレビュー画面上から選択する

マウスカーソルをプレビュー画面上に置き、色置換したい場所をクリックします。

CMYK カラーは最初、置換情報リストに表示されないので、この方法を選択します。

重要!

一度色を選択すると、解除するまでプレビュー上のマウスで指定した色情報を入力画面に表示することができません。



置換する元の色の選択を解除

選択解除の方法は 2 種類あります。

① 置換情報リストが選択状態になっているとき、[Esc] キーを押します。

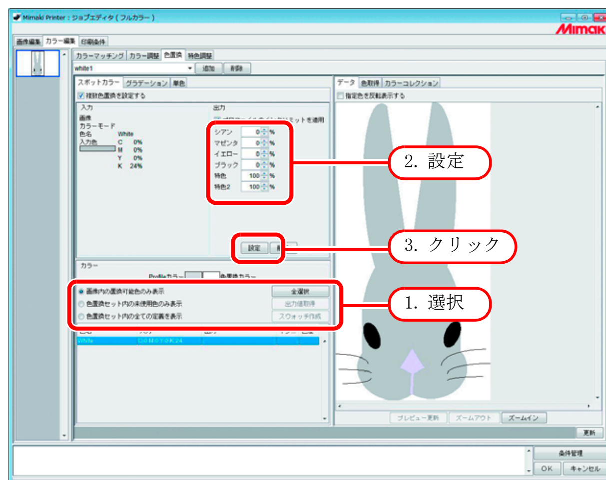
② プレビュー上にマウスカーソルを置き、右クリックします。

置換後のインク情報の作成

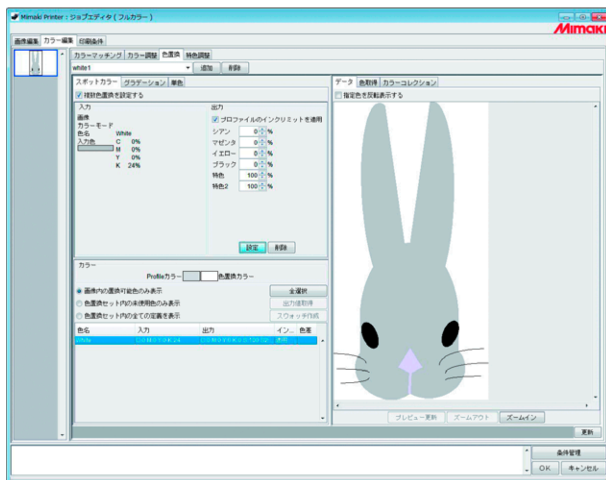
置換後のインク情報の作成方法は、インク濃度を手入力する方法とカラーコレクションから取得する方法があります。

インク濃度を手入力する

1 置換元の色を選択します。
出力情報画面で、使用するインク色のインク濃度を入力します。
[設定] をクリックします。



2 色置換情報が設定されます。



重要!

カラーコレクションの DIC のカラー（出力値）は、現在選択しているデバイスプロファイルによって、色の再現性に差があります。

- 高精度色置換情報を含むバージョン 3.0 のデバイスプロファイルの場合：
  DIC カラーに近似した色が再現可能です。
- 上記以外のデバイスプロファイルの場合：
  色の再現が正確でない可能性があります。

カラーコレクションから取得する 1

1 置換元の色を選択します。

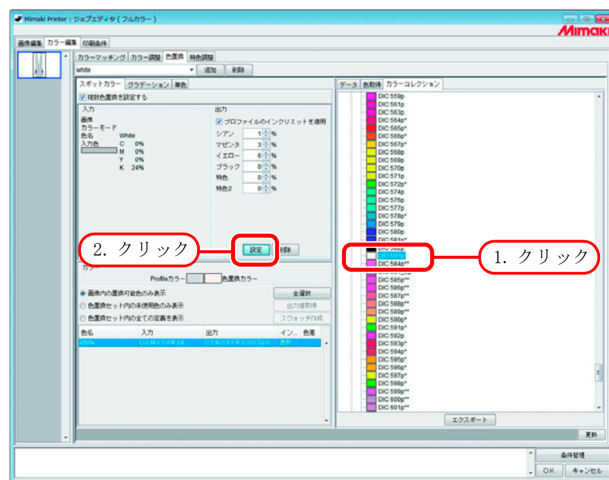
カラーコレクション画面で、色置換したいカラーコレクションのフォルダを開きます。



2 カラーパッチを選択します。

設定 をクリックします。

色置換情報が設定されます。

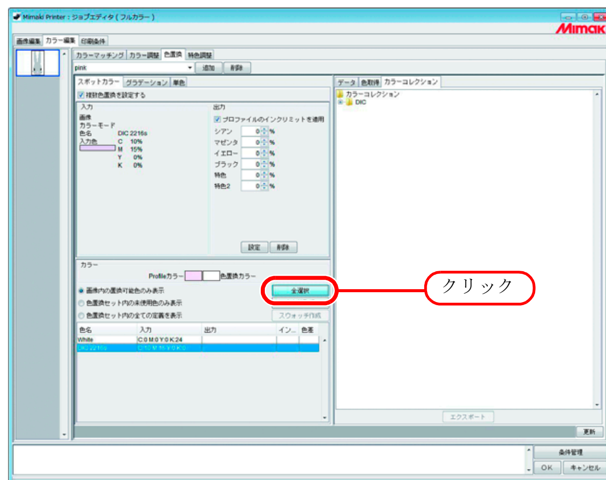


カラーコレクションから取得する 2

置換する元の色が、カラーコレクションに登録されている DIC カラーのスポットカラーの場合、出力値を個別設定することなく、カラーコレクションから自動で出力値を取得できます。

1 全選択 ボタンをクリックします。

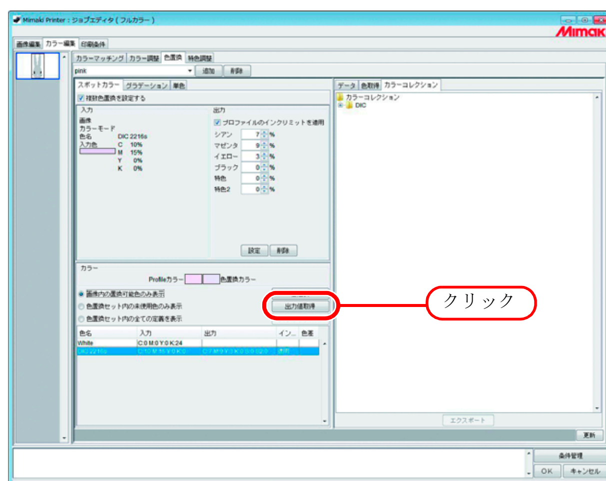
リストから置換したい任意の色を個別に選択することも可能です。



2 出力値取得 ボタンをクリックします。

置換する元の色が DIC カラーで、置換後の色がプリンタの色再現範囲外のカラーの場合、置換する元の色と置換後の色との色差を表示します。

→ DIC カラーが再現できないことを示しています。



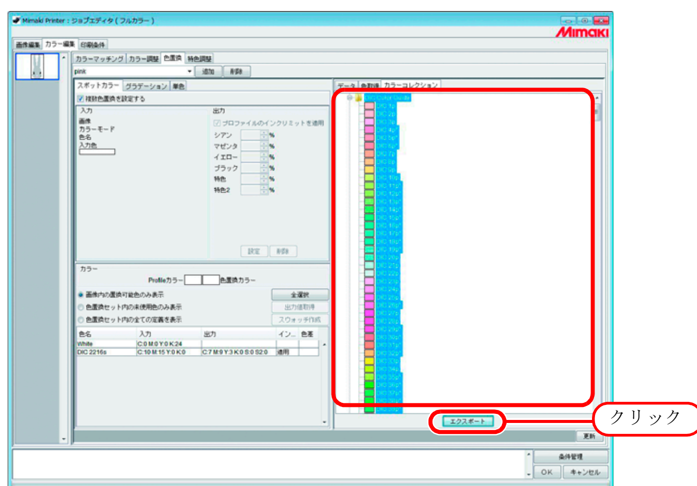
色置換情報が設定されます。

カラーコレクションから取得する 3

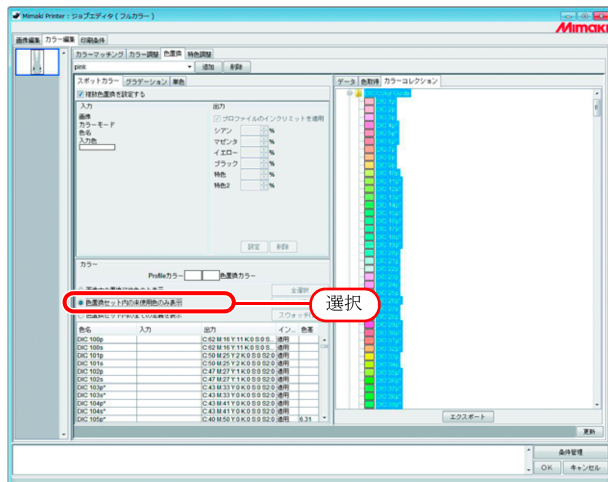
現在の色置換定義ファイルに、画像内の DIC カラー以外の色もカラーコレクションから取得して登録できます。

この作業は、画像内の DIC カラーが色置換定義ファイルに登録されたスポットカラーと一致した場合、この色置換定義ファイルを使用すると、個別に色置換の設定をする手間を省力します。

1 カラーコレクション画面で色置換したいカラーコレクションのフォルダを開きます。
任意のカラーパッチを選択します。
キーボードで Ctrl キー＋ A キーを押します。（ Ctrl キーを押しながら任意のパッチを複数選択することも可能です。）
エクスポート ボタンをクリックします。



2 色置換セット内の未使用色のみ表示を選択します。
画像内にないスポットカラーの出力値が設定されています。



重要!

画像内で、スポットカラーの濃度を変えて使用しているときの注意点は以下のとおりです。

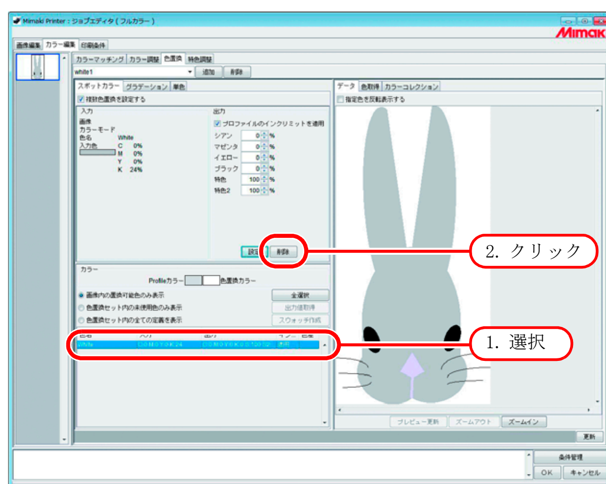
- RasterLinkPro5 では、スポットカラーの濃度は 100% に対してインク濃度を設定します。
  スポットカラーの濃度にしたがって、インク濃度が自動的に計算されます。
  例）
  Illustrator で Spot（表示色 C=100,M=0,Y=0,K=0）という特色が 100% で塗られているところと、50% で塗られているところがあったとき、RasterLinkPro5 で Spot をインク濃度 C=0,M=80,Y=20,K=0 とした場合、Spot の 100% で塗られている部分のインク濃度は C=0,M=80,Y=20,K=0、Spot の 50% で塗られている部分のインク濃度は C=0,M=40,Y=10,K=0 となります。
- 置換情報一覧に表示されるスポットカラーの色が Illustrator で指定した表示色と異なる場合があります。
  これは、置換情報一覧に表示されるスポットカラーの入力色は RasterLinkPro5 が画像上で最初に発見したスポットカラーの濃度に合わせた表示色を表示するためです。
  例）
  Illustrator で Spot（表示色 C=100,M=0,Y=0,K=0）という特色が 100% で塗られているところと、50% で塗られているところがあったとき、RasterLinkPro5 が先に Spot が 50% で塗られているところを発見した場合、色置換情報一覧の Spot の表示色は C=50,M=0,Y=0,K=0 となります。
- プレビュー画面でスポットカラーをマウスカーソルでなぞった場合、「入力情報」にはマウスカーソル下のスポットカラーの濃度に合わせた表示色が表示されますが、クリックした場合、「入力情報」にはクリックした場所のスポットカラーの濃度に関係なく、置換情報一覧に表示されている内容が表示されます。

置換後のインク情報の削除

置換する色置換情報を持つ色を選択します。

出力情報画面の［削除］をクリックします。

色置換情報が削除されます。



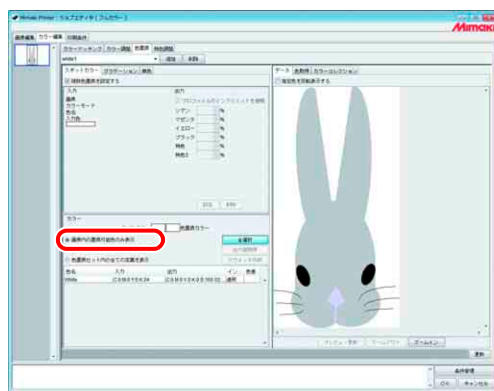
表示の切り替え

置換情報一覧

置換情報一覧は次のように表示を変更することができます。

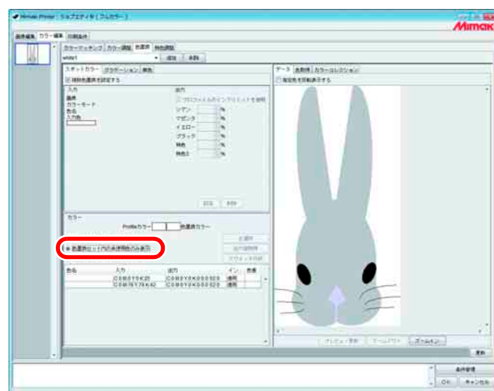
画像内の置換可能色のみ表示

色置換セット内で色置換指定可能な色置換定義を表示します。



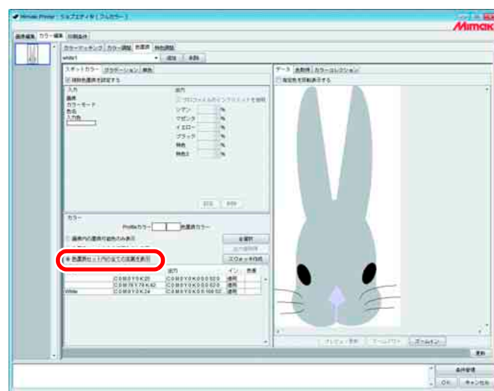
色置換セット内の未使用色のみ表示

色置換セット内で色置換指定不可能な色置換定義を表示します。



色置換セット内の全ての定義を表示

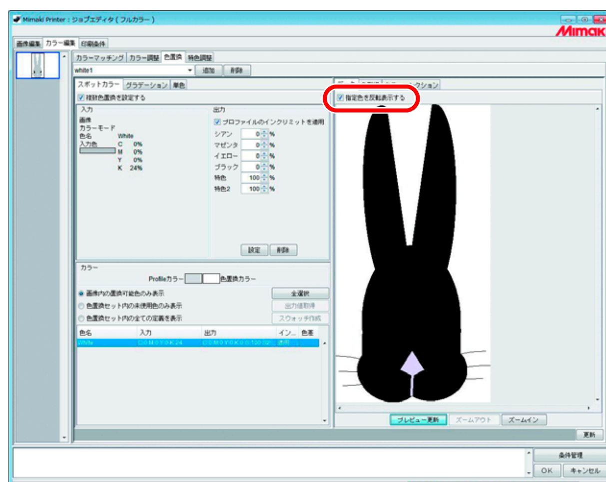
色置換セット内の色置換定義情報を全て表示します。



プレビュー

[指定色を反転表示する] をチェックすると、現在編集可能状態の色がプレビュー上で点滅します。

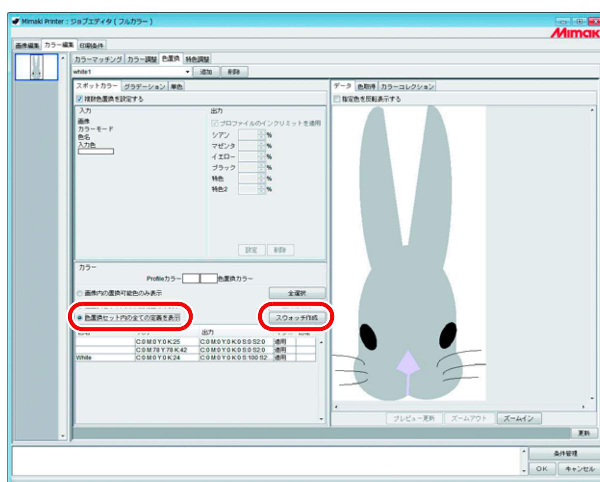
> **重 要!**
> - ［指定色を反転表示する］がチェックされた状態で編集対象の色を変更しても、以前に選択された色を点滅表示します。
>   点滅表示箇所を変更するには、 プレビュー更新 をクリックします。または［指定色を反転表示する］をチェックしなおします。
> - グラデーション置換に対して反転表示させた場合、高濃度部分のみ反転表示します。



スウォッチライブラリを作成する

スウォッチ作成 ボタンをクリックすると、「色置換セット」に登録されている内容を使って、スウォッチライブラリを作成できます。

作成方法は、リファレンスガイド　プリンタ共通編「スウォッチライブラリを作成する」（☞P.114）をご覧ください。



グラデーション置換をするには

色置換できるグラデーションの制約

色置換できるグラデーションには、以下の制約があります。

- Illustrator で作成したベクタオブジェクトのみ
- Illustrator で作成したグラデーションに、次の操作をしたものは色置換できません
  「分割・拡張」操作したもの
  ラスタライズしたもの
- PhotoShop で作成したグラデーションや、ラスタライズしたグラデーションは色置換できません

指定可能なグラデーションの色は以下のとおりです。
グラデーションの最高濃度と最低濃度の組み合わせは以下の通りです。

最高濃度（%）

C	M	Y	K
100	1	1	1
1	100	1	1
1	1	100	1
1	1	1	100

最低濃度（%）

C	M	Y	K
0	1	1	1
1	0	1	1
1	1	0	1
1	1	1	0




最高濃度


最低濃度

重 要!

- グラデーションの、最高濃度と最低濃度の間に中間点を挿入して色を変更した場合、色置換はできません。
- クリッピングパスを数多く含むグラデーションは、正しく色置換できない場合があります。
- イラストレータのドロップシャドウ／透明のようなフィルタ効果を用いたグラデーションは正しく色置換できません。
- グラデーションに含まれる色と同じ色を持つイラストも置換されます。
  例）
  最高濃度　C=100，M=1，Y=1，K=1
  最低濃度　C=0，M=1，Y=1，K=1
  C=50，M=1，Y=1，K=1 のイラストがデータ中にあった場合、このイラストも色置換されます。
- 画面上でグラデーション置換の設定を行うことができても、データによって置換されない場合があります。必ず、事前に縮小印刷して置換されるか確認してください。
- Illstrator の設定で「コンパチブルグラデーション＆グラデーションメッシュ」にチェックが入っていると、グラデーション置換の設定ができません。

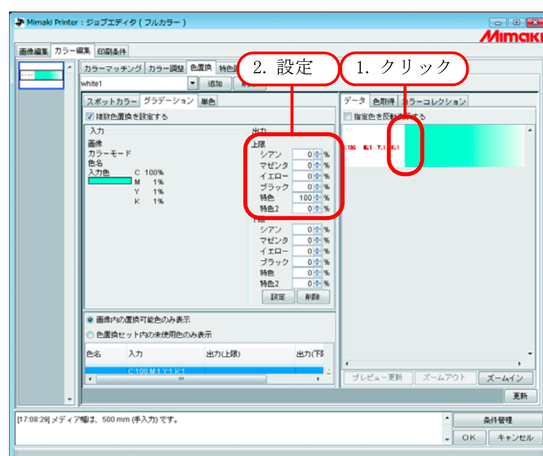
グラデーション置換の設定

グラデーションの色置換は、スポットカラーと同様の設定を行います。

1 グラデーションの最高濃度部分をクリックします。

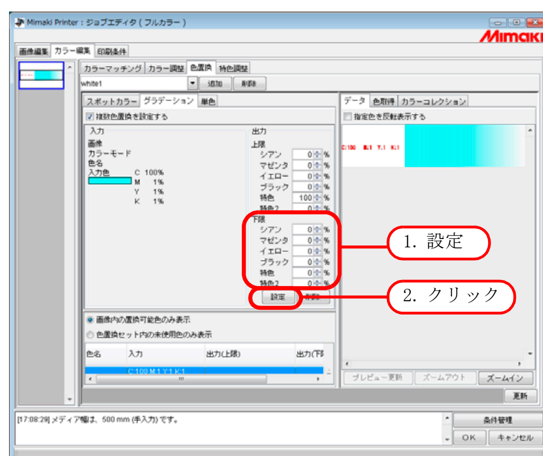
置換情報一覧の選択色を反転表示します。

置換後の最高濃度部のインク色のインク濃度を入力します。

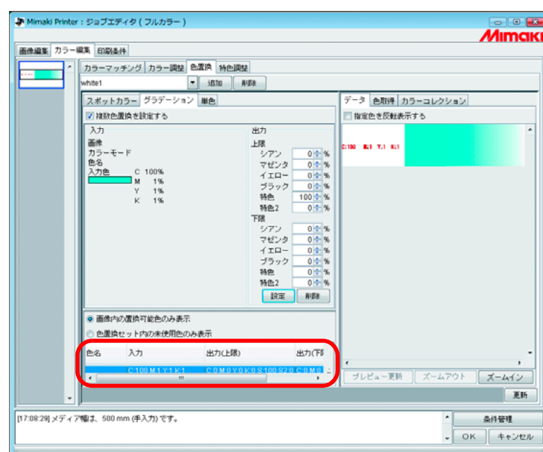


2 続いて、置換後の最低濃度部のインク色のインク濃度を入力します。

設定 をクリックします。



3 色置換情報が設定されます。



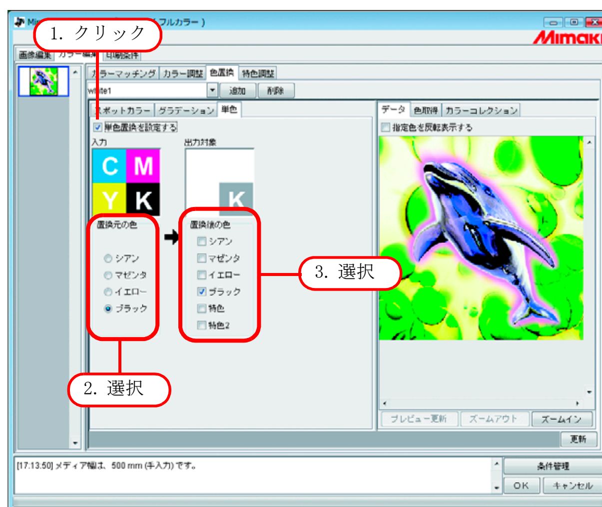
単色の置換

“ ジョブエディタ ” を開き、[カラー編集] - [色置換] - [単色] メニューを表示します。

“ 単色置換を設定する ” をチェックします。

“ 置換元の色 ” から、置換する色を選択します。

“ 置換後の色 ” から、出力で使用するインク色を選択します。



原稿の色を取得する（色取得）

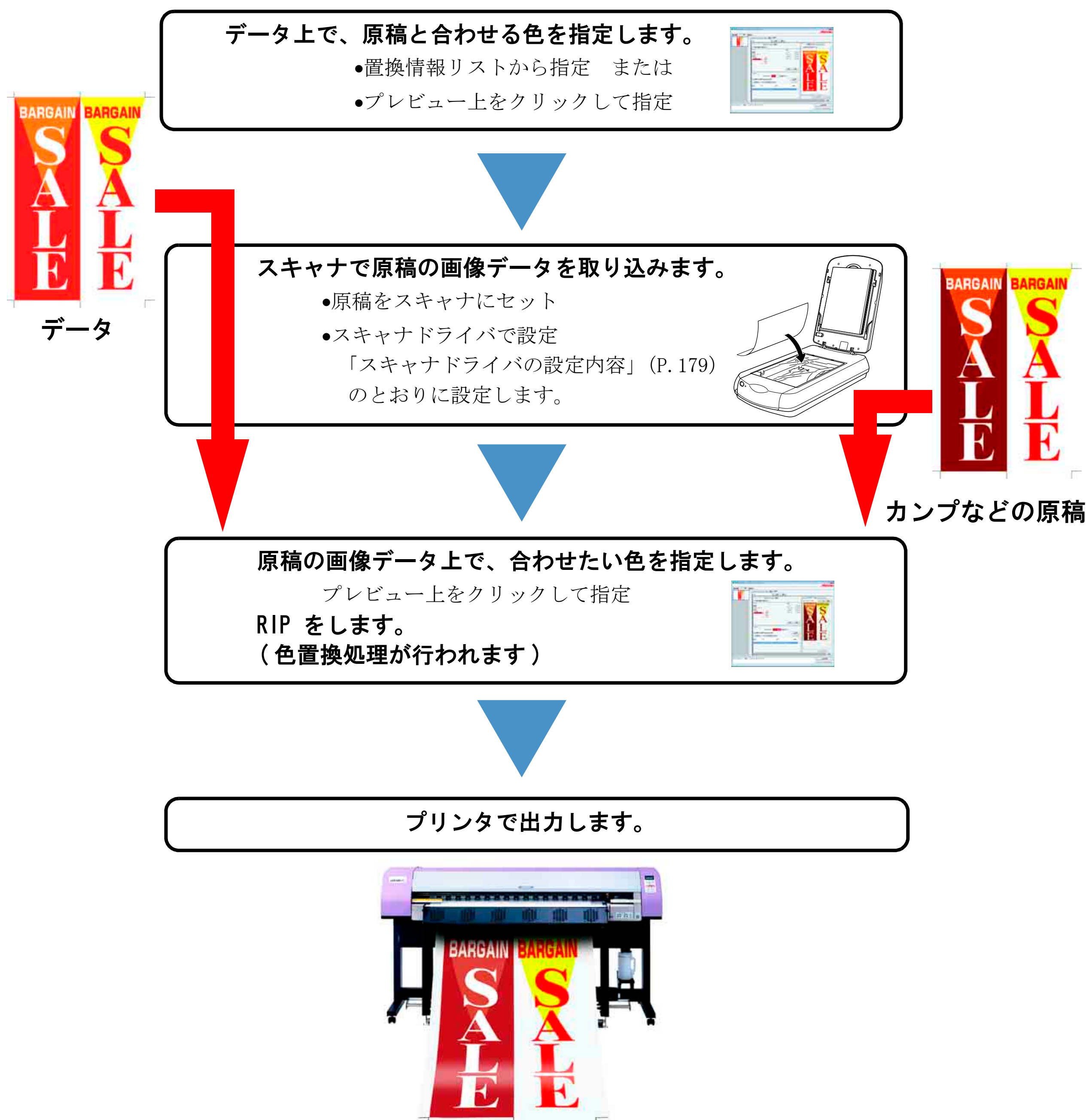
色置換の置換後の色指定にスキャナーを使用できます。使用可能なスキャナは「色取得機能と対応スキャナについて」（P.178）を参照してください。

重要!

- 本機能ではスキャナーで読み取った色に色味が近付くことを保証することはできません。必ず小さなサンプル等で色味を確認してください。
- 原稿により、スキャナで正しく色が読み取れない場合があります。
- 近付ける色味の範囲は、印刷条件（プロファイル）により異なります。
- スポットカラー・CMYK カラーに対してのみ色置換可能です。

色取得の流れ

色取得の手順は以下のようになります。



色取得

色取得はスポットカラー置換の 1 つの機能として動作します。スポットカラー置換では、置換元の色に対して置換後のインク濃度を数値指定しますが、本機能では、置換後のインク濃度の設定の代わりにスキャナから取り込んだ色情報を設定します。

1 [スポットカラー] メニューをクリックします。

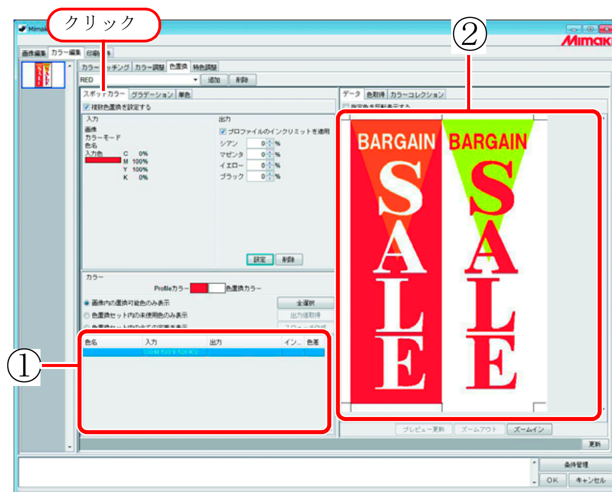
色置換を行う色を選択します。

① 置換情報リストから選択する

色置換したい色の色名・CMYK 値をリストから見て選択します。

② プレビュー画面上から選択する

マウスカーソルをプレビュー画面上に置き、色置換したい場所をクリックします。



2 [色取得] メニューをクリックします。

使用するスキャナの機種を選択します。

スキャナの電源がオンになっていることを確認し、スキャン開始 をクリックします。

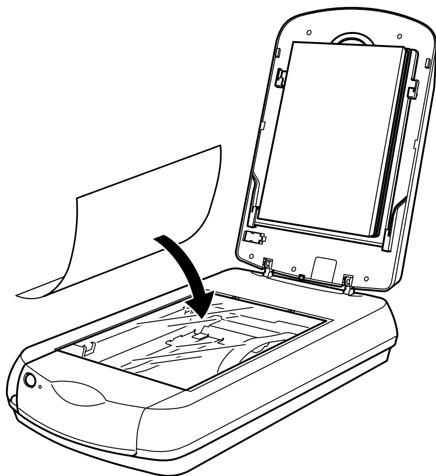
スキャナドライバ画面（TWAIN 画面）が表示されます。



3 スキャナに原稿をセットして、画像データを取り込みます。

「スキャナドライバの設定内容」(P.179) を参照し、スキャナドライバの設定をして、原稿の画像データを取り込みます。

重要!
- 画像データを取り込むときには、スキャナドライバ画面 (TWAIN 画面) で色取得のために決まった設定を行って取り込む必要があります。設定の内容は、スキャナの機種により異なります。詳しくは、「色取得機能と対応スキャナについて」(P. 178) をご覧ください。
- スキャナの操作方法については、スキャナに同梱の取扱説明書を参照してください。

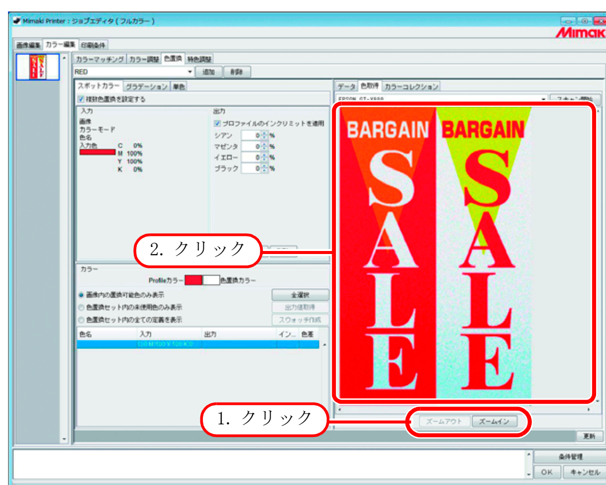


4 取り込んだ画像データがプレビュー表示されます。

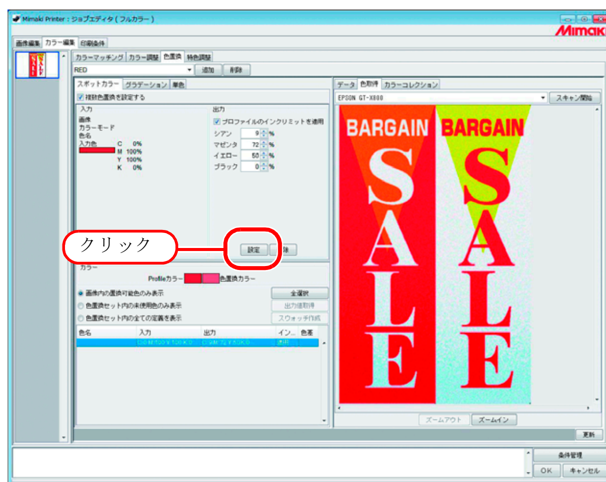
[ズームイン] または [ズームアウト] をクリックして色取得を行う色の部分を表示し、クリックします。

値を置換後のインク濃度に設定します。

重要!
色が一定した部分をクリックしてください。



5 設定 をクリックして色取得情報を設定します。



カラーコレクション

DIC カラーガイドに近似させて印刷する

RasterLinkPro5 で DIC カラーガイドに近似させて印刷する場合の、Adobe Illustrator でのデータ作成方法と、RasterLinkPro5 の設定方法を説明します。

設定の流れ

1. Adobe Illustrator でスポットカラーのデータ作成

Adobe Illustrator でスウォッチライブラリから DIC カラーガイドを指定してデータを作成



2. RasterLinkPro5 の設定

Adobe Illustrator で作成した DIC カラーガイドのスポットカラーを RasterLinkPro5 で色置換するための設定

Adobe Illustrator でスポットカラーのデータを作成

重要!　説明は Adobe Illustrator10 を使用していますが、8、9、CS、CS2、CS3、CS4、CS5 も設定方法は同じです。

1 スポットカラー指定するデータを Adobe Illustrator で開きます。

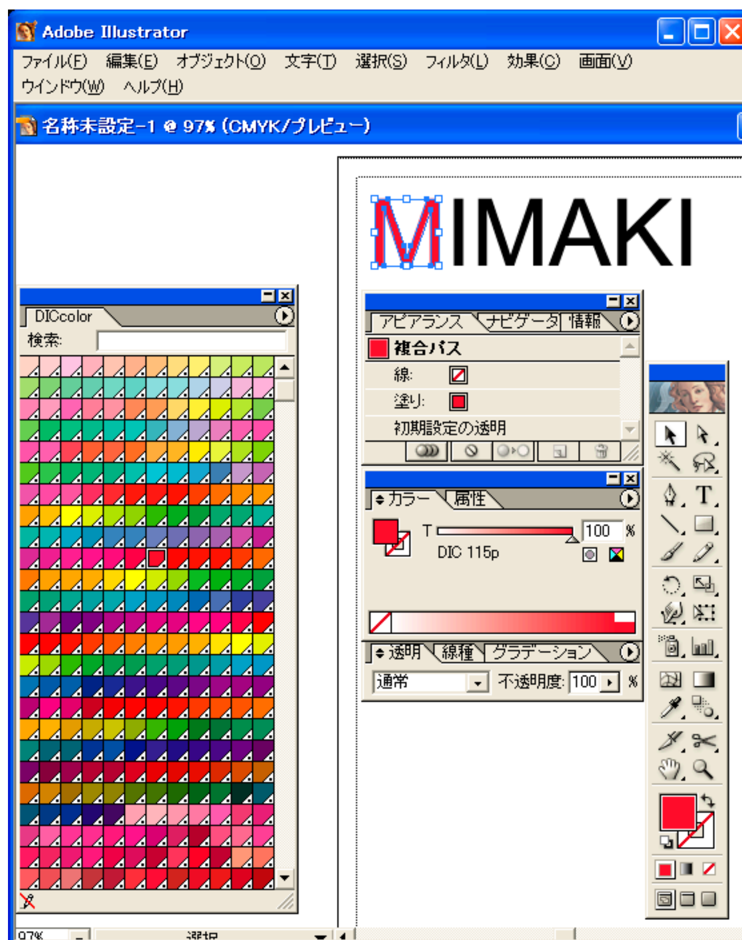
メニューの [ウィンドウ] ー [スウォッチライブラリ] ー [DICcolor] を選択し、DIC カラーガイドのスウォッチライブラリ一覧を表示します。



- Adobe Illustrator CS2 の場合、メニューから [ウィンドウ] ー [スウォッチライブラリ] ー [DIC カラーガイド] を選択します。
- Adobe Illustrator CS3 ～ CS5 の場合、メニューから [ウィンドウ] ー [スウォッチライブラリ] ー [カラーブック] ー [DIC カラーガイド] を選択します。



2 DIC のカラーを設定するアートワークを選択し、DIC カラーガイドのスウォッチライブラリ一覧から任意の色を選択します。



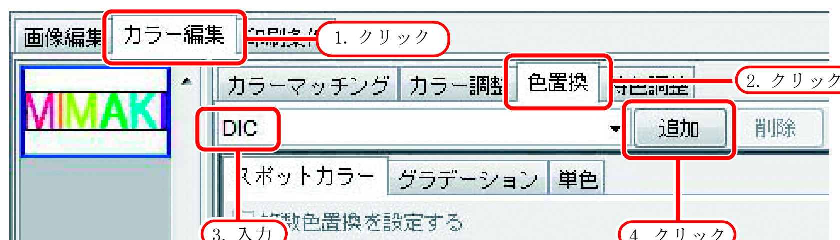
3 プリンタドライバ出力、もしくは EPS で保存し、ホットフォルダにデータをコピーします。

RasterLinkPro5 の設定

Adobe Illustrator で DIC カラーガイドのスポットカラー指定されたデータを、RasterLinkPro5 で色置換して印刷します。

1 データを RasterLinkPro5 にスプールし、ジョブエディタを開きます。

2 [カラー編集] タブの [色置換] タブを開き、色置換セットを作成します。

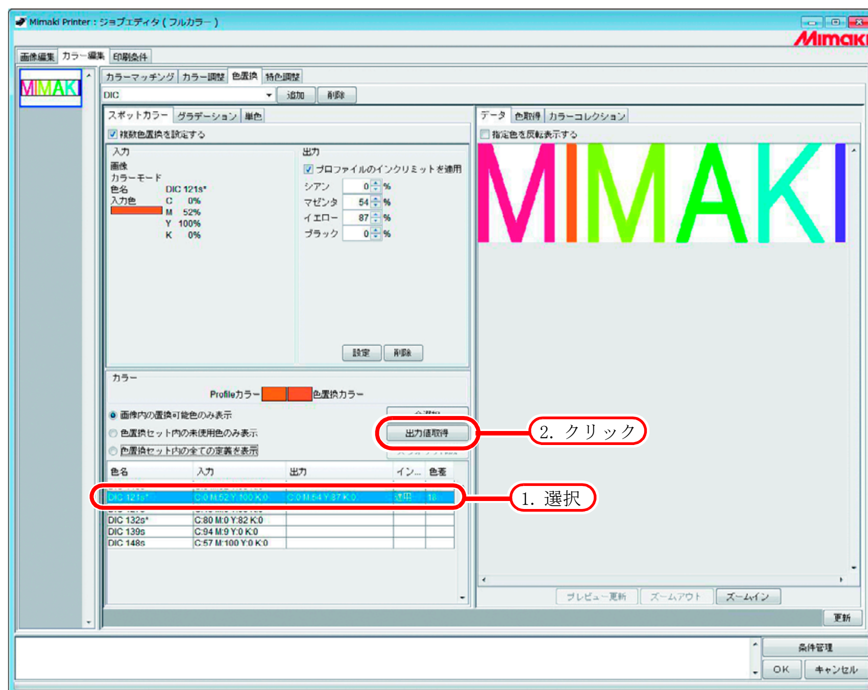


3 色置換情報を設定します。

- 選択した色名を色置換する場合

（☞「カラーコレクションから取得する 2」（P.103））

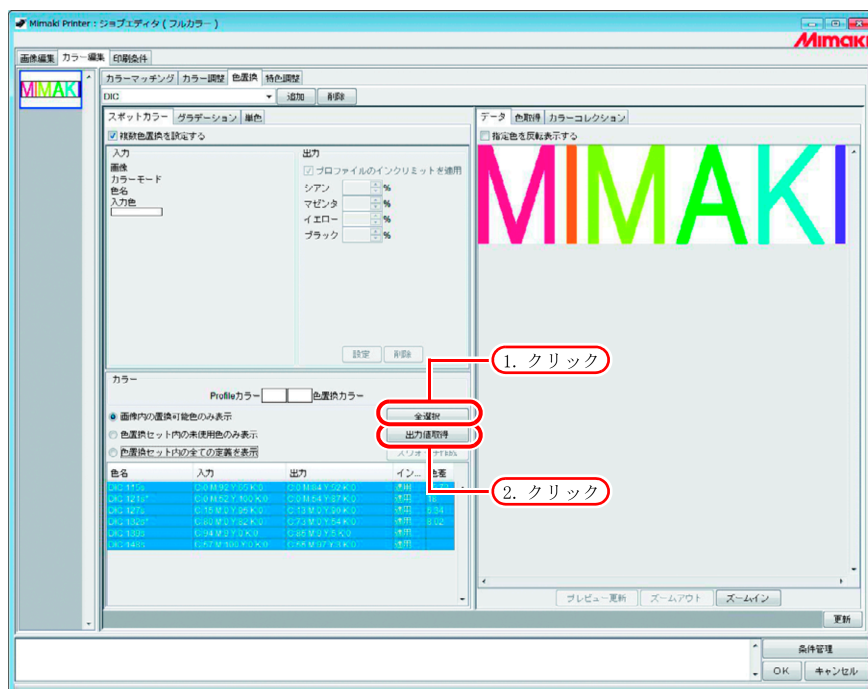
色置換する色名を選択し、出力値取得ボタンをクリックします。



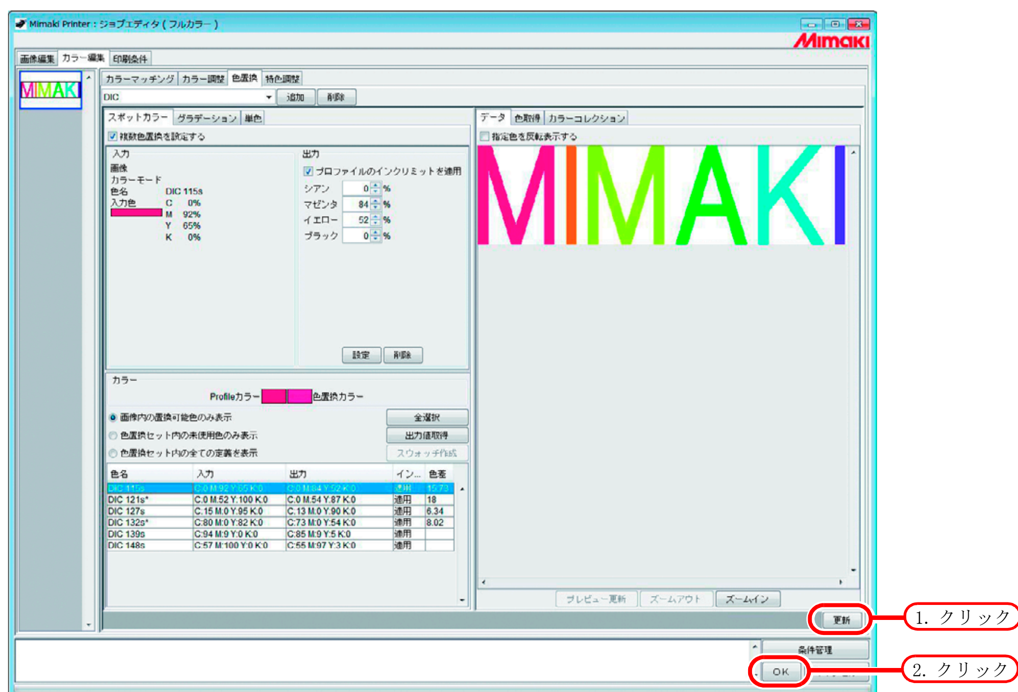
- 表示されている全ての色名を色置換する場合

（☞「カラーコレクションから取得する 2」（P.103））

全選択ボタンをクリックした後、出力値取得ボタンをクリックします。



4 更新 ボタン、OK ボタンをクリックしてジョブの設定を保存します。

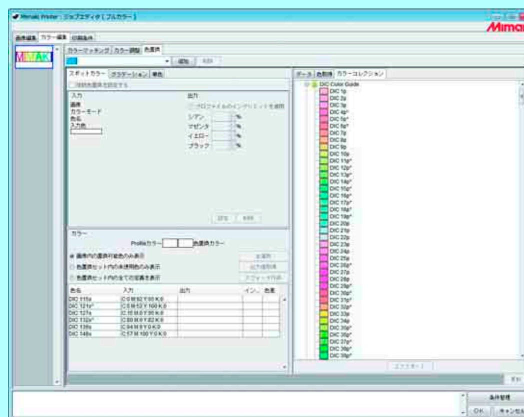


5 印刷を実行します。



RasterLinkPro5 では Adobe Illustrator の DIC カラーガイドに対応して 4 つのカラーコレクションを保有しています。カラーコレクションの詳細は、[カラー編集] − [色置換] − [カラーコレクション] を選択して確認できます。

Adobe Illustrator バージョン	DIC カラーガイド名	カラーコレクション名
8 〜 CS	DIC Color Guide	DIC 1p 〜 DIC 654p*
	DIC Color Guide PART2	DIC 2001p 〜 DIC 2638p
CS2 〜 CS5	DIC Color Guide CS2	DIC 1s 〜 DIC 654s*
	DIC Color Guide PART2 CS2	DIC 2001s 〜 DIC 2638s



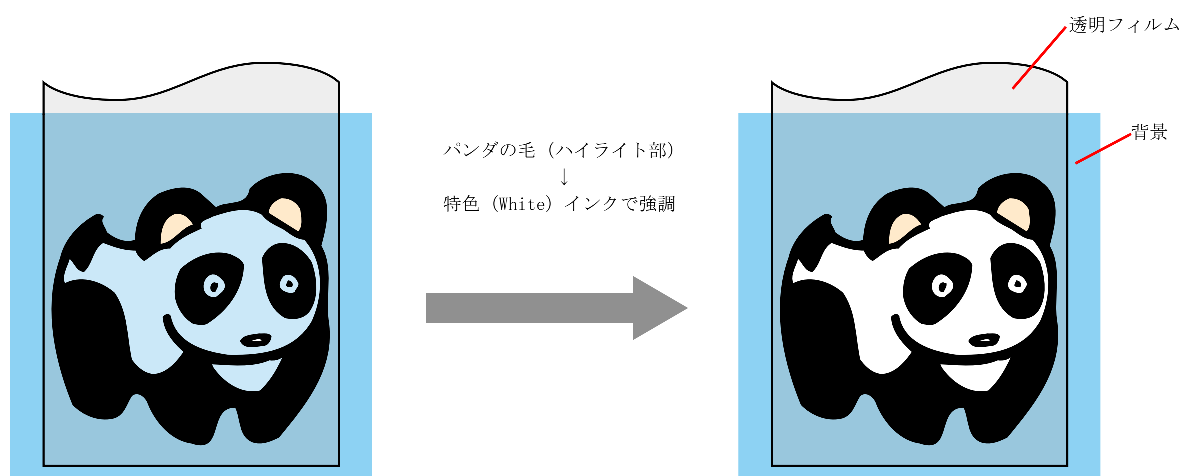
特色調整

特色調整を行うには、［印刷条件］－［印刷モード］－［特色カラーセット］が選択されている必要があります。

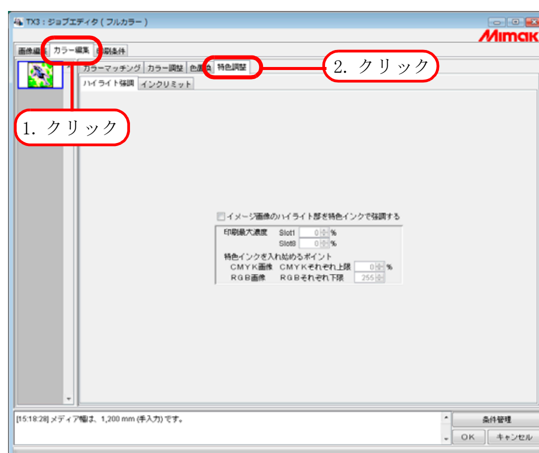
ハイライト部を特色で強調する

画像のハイライト部を、特色インクで強調することができます。透明フィルムなどに印刷するときに、ハイライト部を目立たせたい場合に効果があります。

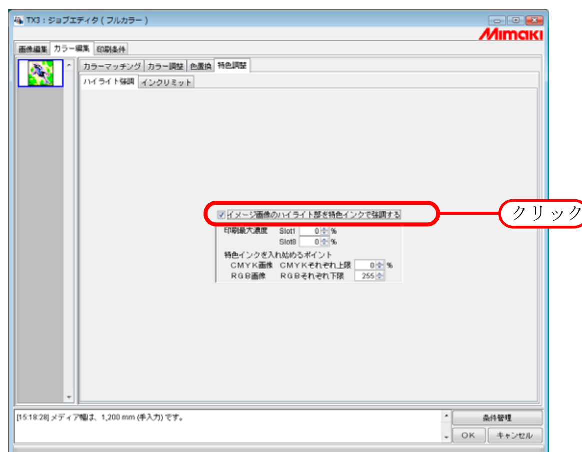
CMYK 画像、RGB 画像のどちらでも調整可能です。



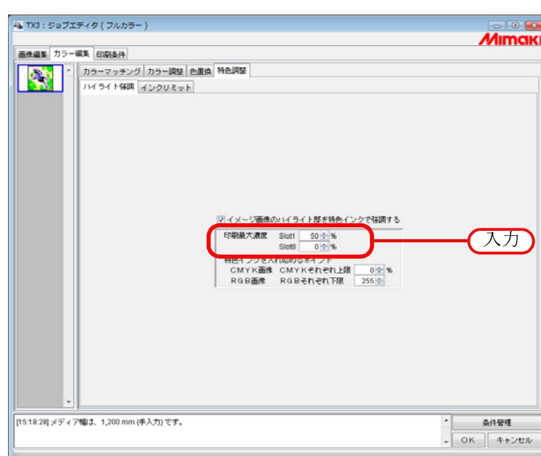
1 ［カラー編集］メニューをクリックします。
［特色調整］メニューをクリックします。



2 ［イメージ画像のハイライト部を特色インクで強調する］をチェックします。



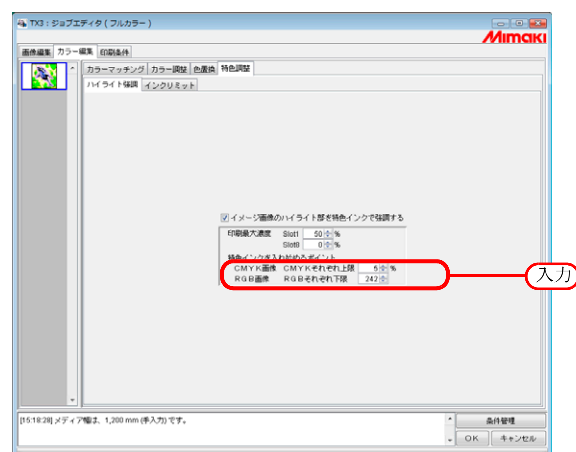
3 ハイライト部に印刷する特色インクの最大濃度を 0 ～ 100%の範囲で指定します。
印刷最大濃度は、特色カラーセットで選択された特色インクの数だけ指定できます。





ここで指定した最大濃度は、ハイライト部で最もインク量が少ない箇所の濃度になります。特色インクの濃度は、ハイライト部のインク量にしたがって自動的に計算して調整します。

4 特色インクを印刷し始めるハイライト部のポイントを指定します。
CMYK 画像は、上限として 0 ～ 20%の範囲内で指定します。CMYK 各色がこの値より小さいハイライト部に特色インクが印刷されます。
RGB 画像は、下限として 204 ～ 255 の範囲内で指定します。RGB 各色がこの値より大きいハイライト部に特色インクが印刷されます

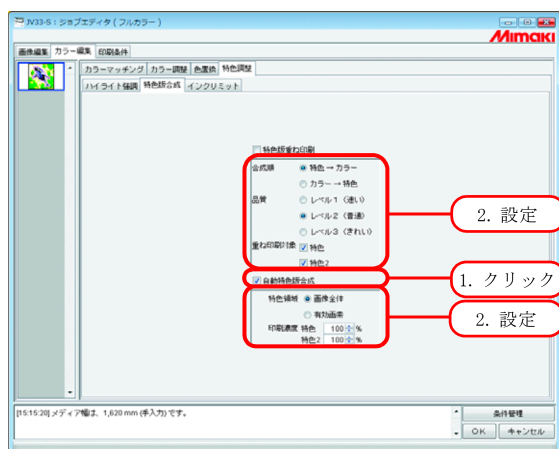


特色版を自動的に作成する（自動特色版合成 － TPC）

“ カラー画像 ” と “ カラー画像を元にして自動作成した特色インク単色画像（特色版）” を重なるように印刷します。

本機能により TPC 白重ね作図が可能になります。

合成方法を設定します。



［合成順］

特色→カラー：

特色版を出力してから、その上にカラー版を出力します。

カラー→特色：

カラー版を出力してから、その上に特色版を出力します。

［品質］

印刷品質を選択します。

“ レベル 1” は印刷速度が速くなりますが、“ レベル 3” に比べると印刷品質が低くなります。“ レベル 3” は印刷品質が高くなりますが、“ レベル 1” に比べると印刷速度が遅くなります。

レベル	印刷速度	印刷品質
1	速い	低
2	普通	普通
3	遅い	高

[重ね印刷対象]

特色版重ね印刷する特色インクを指定します。

特色カラーセットで選択された特色の数だけ指定できます。

指定されない特色インクは、カラーインクと同時に印刷されます。

[特色領域]

画像全体：
レイアウトプレビューの画像を囲む点線と、同じ大きさ・形の特色版を出力します。

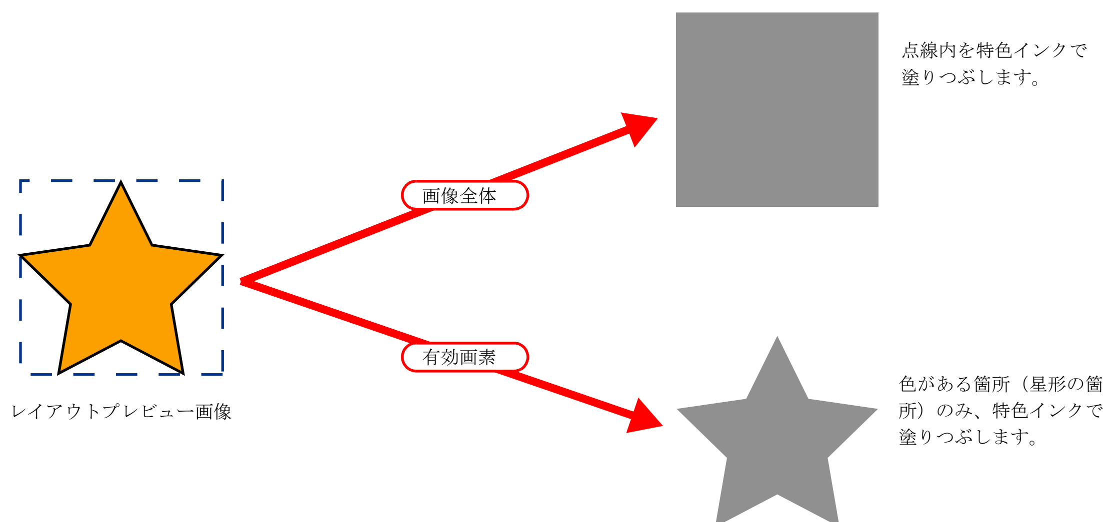
有効画素：
画像内の色がある部分のみの特色版を出力します。

[印刷濃度]

特色版に出力する特色インクの濃度 0 〜 100%の範囲で指定します。印刷濃度は、特色カラーセットで選択された特色インクの数だけ指定できます。

自動特色版合成例

レイアウトプレビューで下のように表示している画像を、それぞれ設定し出力した例です。



重 要！	“ 有効画素 ” を指定して、写真画像の一部に空白（色がないハイライト部分）がある場合、空白部分に特色は印刷されません。 この場合、ハイライト部を特色で強調する機能（☞ P. 120）と併用してください。

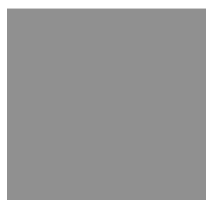
合成順例

“ レイアウトプレビュー ” で下のように表示している画像を、次のように出力します。

“ 特色領域 ” . . . 画像全体
“ 合成順 ” . . . . . 特色→カラー



レイアウトプレビュー画像



[1]
“ レイアウトプレビュー ” で表示している点線内を特色インクで
四角形に塗りつぶしてプリントします。





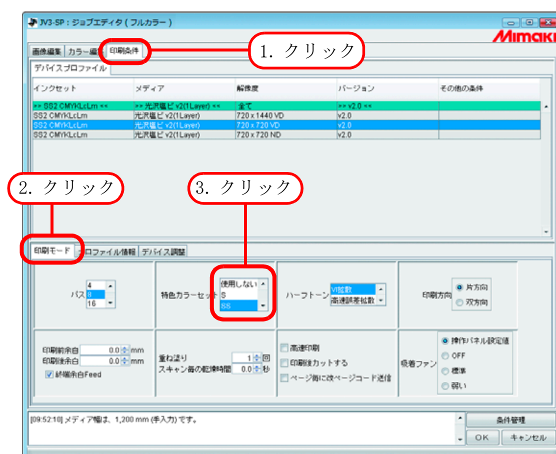
[2]
特色インク版に重なるように、カラー版をプリントします。

特色版を指定して作成する（マニュアル作成 － TPC）

“カラー画像”と“特色インク画像（特色版）”を重ねるように印刷します。本機能により、TPC 任意の位置へ白重ね作図が可能になります。

1 カラー画像と特色インク画像をグループ化します。（☞ P.66）

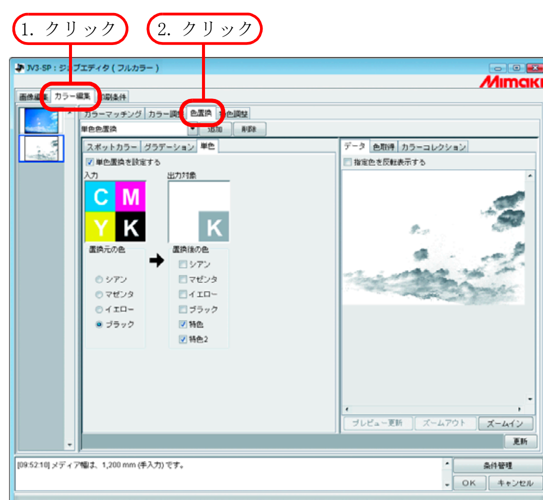
2 ［印刷条件］メニューをクリックします。
［印刷モード］メニューをクリックします。
特色カラーセットを選択します。



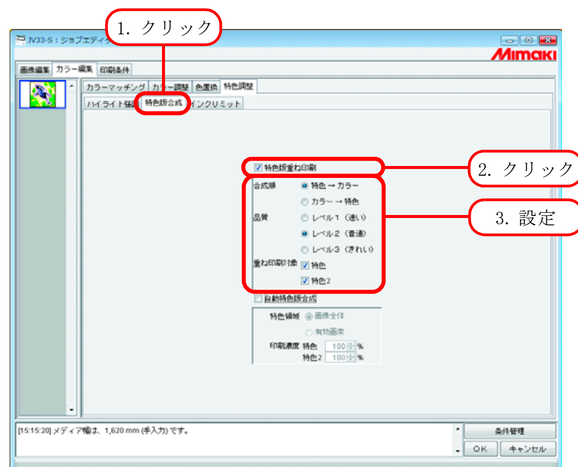
3 特色インク画像に特色インクへの色置換を設定します。（P.87）



Adobe Photoshop などの画像編集ソフトで、イメージデータをグレースケールモード、白黒反転設定して画像を作成します。作成した画像は RIP の単色色置換機能で特色に色置換できます。



4 ［特色版合成］メニューをクリックします。
［特色版重ね印刷］を指定します。
［合成順］［品質］［重ね印刷対象］を設定します。



［合成順］

特色→カラー：特色版を出力してから、その上にカラー版を出力します。

カラー→特色：カラー版を出力してから、その上に特色版を出力します。

［品質］

“ レベル 1” は印刷速度が速くなりますが、“ レベル 3” に比べると印刷品質が低くなります。“ レベル 3” は印刷品質が高くなりますが、“ レベル 1” に比べると印刷速度が遅くなります。

レベル	印刷速度	印刷品質
1	速い	低
2	普通	普通
3	遅い	高

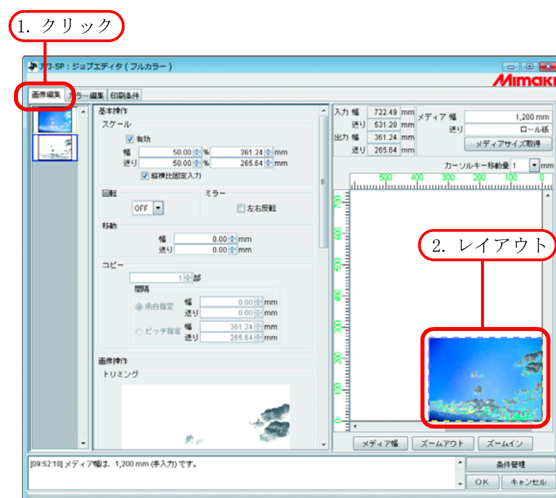
［ 重ね印刷対象 ］

特色版重ね印刷する特色インクを指定します。

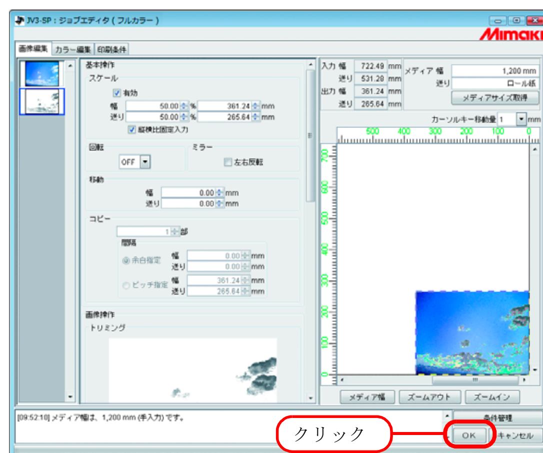
特色カラーセットで選択された特色の数だけ指定できます。

指定されない特色インクは、カラーインクと同時に印刷されます。

5 ［画像編集］メニューをクリックします。
カラー画像と特色インク画像を重ねてレイアウトします。



6 OK ボタンをクリックします。



インクリミットを編集する

特色のインク量を調整します。調整した値は、特色調整セットとして登録できます。

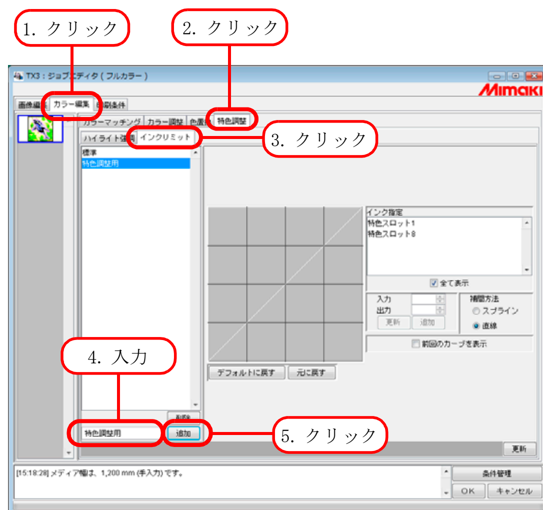
特色調整セットを作成する

特色調整セットは、特色カラーセットごとに作成します

1 ［カラー編集］メニューをクリックします。
［特色調整］メニューをクリックします。
［インクリミット］メニューをクリックします。
特色調整セット名を入力します。

重 要！ 特色調整セット名に下記の半角文字は使用できません。
¥ / : ? ″ < > |

追加 ボタンをクリックします。
すでに同じ名前の特色調整セットがある場合は、上書きの確認メッセージを表示します。

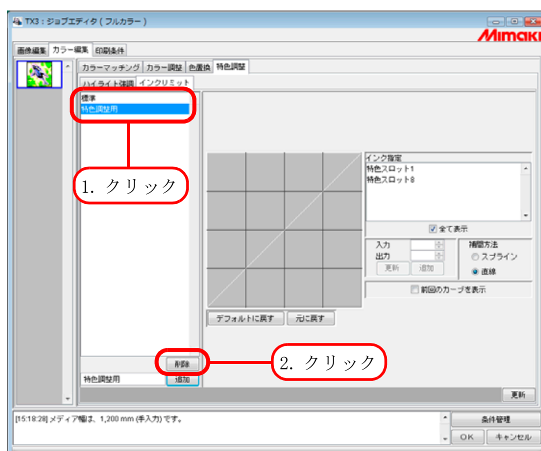




- 新規に特色調整セットを作成する場合は、“ 標準 ” を選択します。その後、セット名を入力して 追加 ボタンをクリックします。
- 登録済みの特色調整セットを複製する場合は、編集するセットを選択し、セット名を変えた後に 追加 ボタンをクリックします。

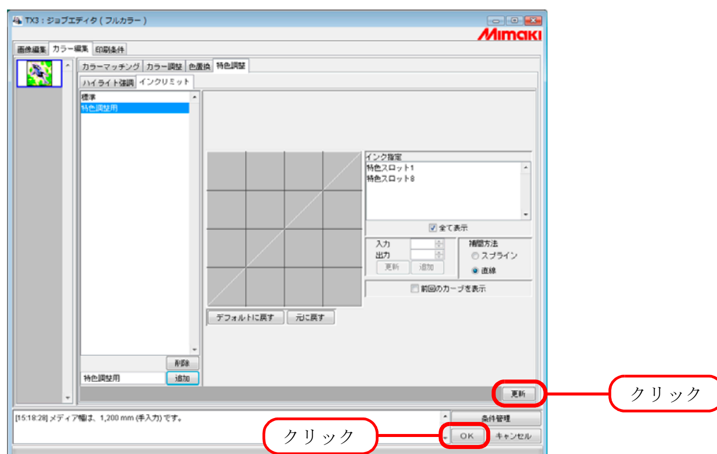
特色調整セットを削除する

登録した特色調整セットをクリックします。
削除 ボタンをクリックすると、選択したカラー調整セットを削除できます。



特色調整セットを更新する

設定した特色調整セットを更新するには、
更新 ボタンをクリックするか、 OK ボタンをクリックし、ジョブエディタを終了します。



重 要！

特色調整セットを更新すると、同じ特色調整セットを使用している別のジョブにも変更内容が適用されます。既に RIP 済みデータがある別のジョブに変更内容が適用された場合、“印刷のみ”を実行すると印刷結果が異なることがあります。もう一度 RIP し直すか、特色調整セットの更新または新規作成を行ってください。

インクカーブを調整する

“ 特色カラーセット ” で選択した特色インクカーブを表示します。横軸に調整前のインク濃度（入力階調）、縦軸に調整後のインク濃度（出力階調）を示します。縦軸、横軸とも 0 から 255 の範囲を表示します。

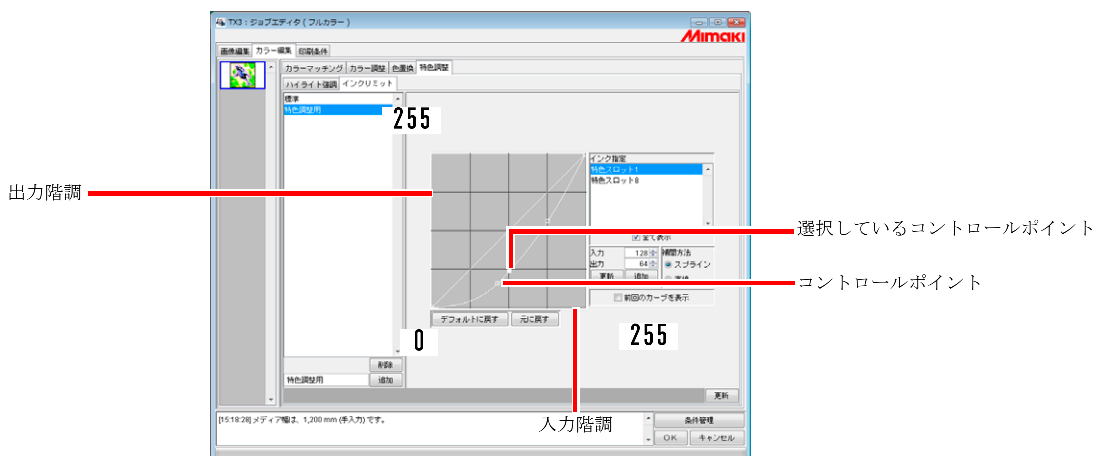
出力階調が 0 より下回る場合は、0 に設定されます。また、255 より上回る場合、255 に設定されます。

インクカーブ上の調整したいポイントをクリックすると、コントロールポイントができます。最高 30 個まで追加できます。なお、選択しているコントロールポイントは、白抜き矩形から塗りつぶされた矩形に変わります。

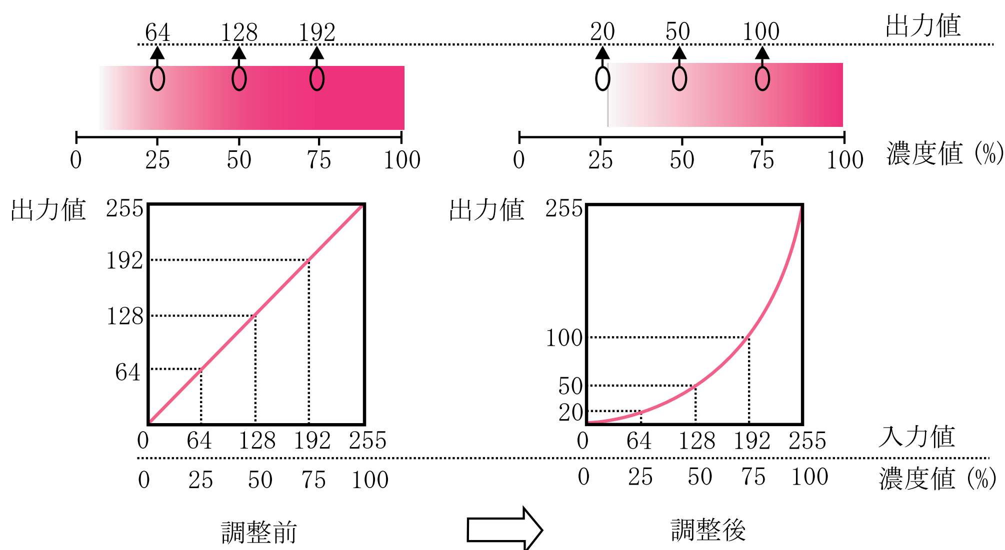


インクカーブの設定に関する操作は、CMYK インクと同様です。（☞ P. 81）

重 要！ 特色のインクカーブは色置換にだけ適用されます。自動特色版合成、自動クリア版合成、ハイライト強調には適用されません。



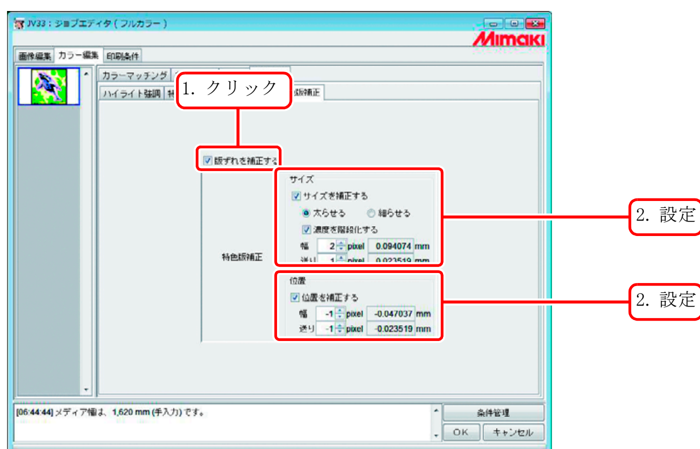
グラデーションの色置換で特色インクを使用した場合のインクカーブ適用例



特色版補正機能

以下のような問題を改善したい場合、特色版補正機能を設定します。

- 特色 (ホワイト) とカラー画像を重ねて印刷する場合、特色版とカラー画像が若干ずれて印刷されることがあり、これを補正したい。
- ベースに印刷したホワイトインクがカラー画像からはみ出て印刷されるので、ホワイトインクの画像を若干小さめに印刷したい。

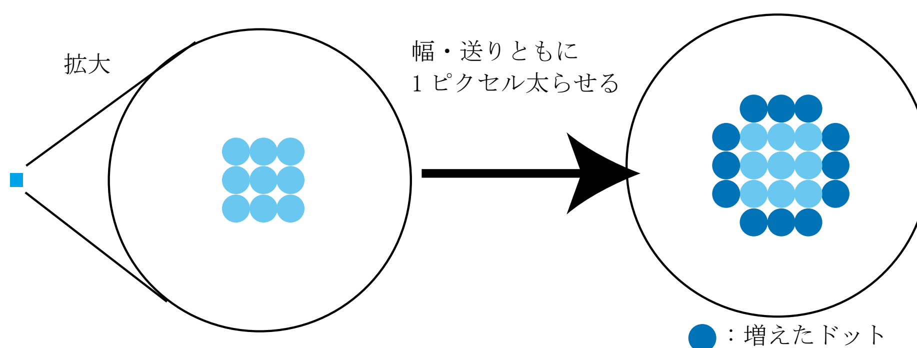


[サイズを補正する]

特色版の大きさを補正します。

太らせる	:	特色版を指定した幅および送りのピクセル数分大きくします。
細らせる	:	特色版を指定した幅および送りにピクセル数分小さくします。
濃度を階段化する	:	[太らせる] を選択したときに有効になります。太らせた部分のインク濃度が、グラデーション状に外に向かって変化します。

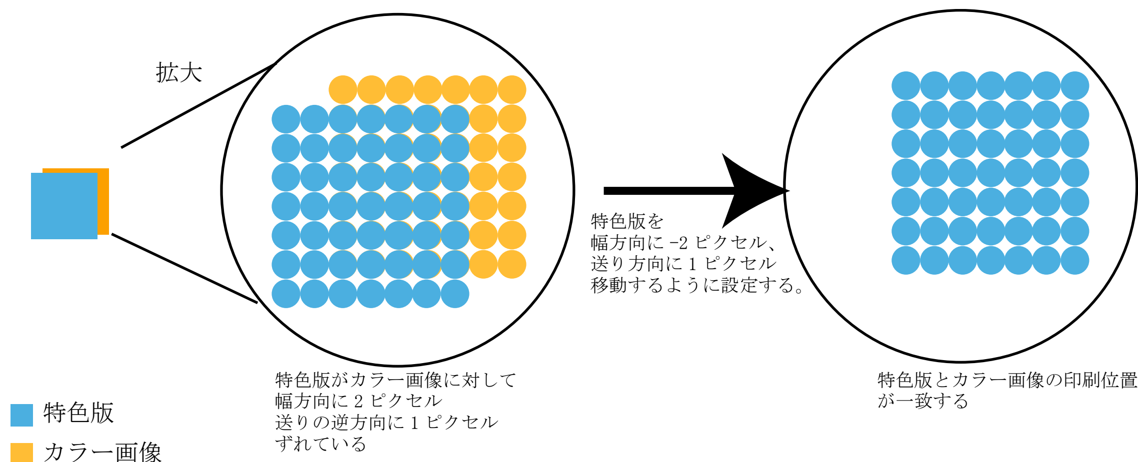
例 : 特色版を幅、送りと共に 2 ピクセル太らせる設定にした場合



[位置を補正する]

特色版の位置を指定した幅および送りのピクセル数分移動させます。

例：カラー画像と特色版が以下のようにずれていた場合



重 要 !

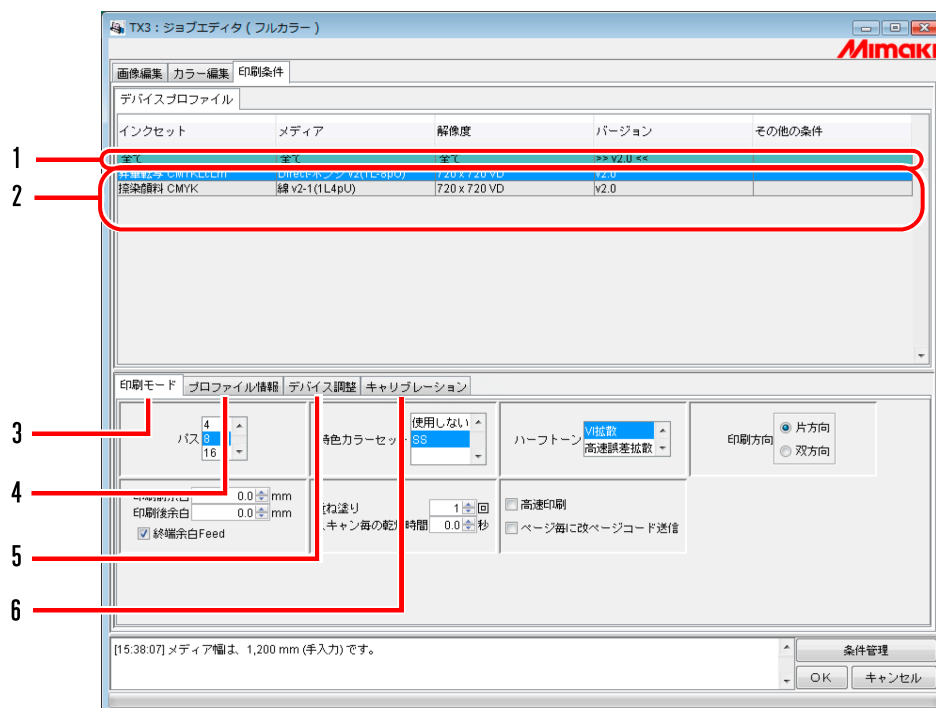
- 画像編集画面で以下の設定を行っている場合、特色補正は行えません。
  コピー、カットライン印刷、トンボ印刷、両面印刷、パネリング
- 以下のジョブでは特色補正は行えません。
  複数ページあるもの、RIP 分版、アプリ分版のジョブ
  複数ジョブを面付けしているが、重ね印刷を OFF にしている
- 特色補正の値は画像編集画面のプレビューには反映されません。
- 重ね印刷を "ON" にしていても、自動特色版合成を行っている場合は、[位置を補正する] を設定することはできません。

印刷条件の編集

印刷条件を設定します。

重 要!

- 複数のジョブをグループ化している場合、すべてのジョブが同じ出力条件になります。
- RasterLinkPro5 TA で設定した印刷条件を使って印刷する場合、必ずプリンタ本体の「優先順位」の設定を “ ホスト ” にしてください。「優先順位」の設定を “ パネル ” にしていると、RasterLinkPro5 TA で設定した印刷条件は無視され、プリンタ側で設定した印刷条件を使って印刷を行います。(「優先順位」の設定方法について、詳しくはプリンタの取扱説明書をご参照ください。)



1. デバイスプロファイルの絞込み

デバイスプロファイルを絞込み表示します。(☞ P.136)

2. デバイスプロファイルリスト

最適な印刷を行うためのデバイスプロファイルを表示します。
使用するデバイスプロファイルをクリックして選択します。

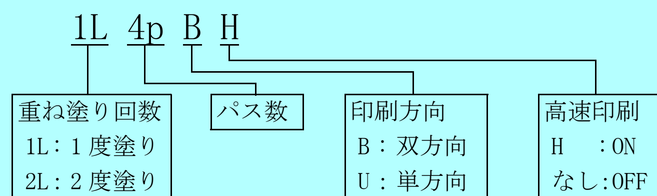
重要!

- プリンタ本体のインクセットに合わせてデバイスプロファイルを選択してください。
  例えば、プリンタ本体で 6 色充填しているときに RasterLinkPro5 TA 側で 7 色または 8 色のデバイスプロファイルを選択しても、正常に印刷できません。

重要!

- 出力できる解像度は、インストールされているデバイスプロファイルに依存します。
  出力したい解像度がない場合、対応するプロファイルをインストールしてください。(対応するプロファイルは用意されていない場合もあります。)
- デバイスプロファイルには推奨の印刷条件設定(パス数 / 重ね塗り回数 / 印刷方向 / 高速印刷の有無) があります。それ以外の条件で印刷すると適切な画質を得られません。
  デバイスプロファイルはメディア毎に適した条件で作成しているので、使用するメディアのデバイスプロファイルをご使用ください。メディアとデバイスプロファイルが合っていない場合、適切な画質が得られないことがあります。
  デバイスプロファイルの推奨値は以下の手順で、印刷条件に設定します。
  プロファイルバージョンが V3 の場合 :
  　プロファイルを選択することで自動的に推奨値が設定されます。
  プロファイルバージョンが V2 の場合 :
  　プロファイルを選択すると初期値が設定されます。これは、プロファイルの推奨値ではありません。メディア名に推奨値が記載されているプロファイルでは、下記の説明に従い、推奨値を印刷条件に設定してください。

  例 1) メディア名が「UV- ペット v2(1L4pBH)」の場合、括弧の中が推奨値となります。



  ※ 重ね塗り回数とパス数の間に -(ハイフン) がついているものもありますが、基本的には上記と同じです。

  例 2) メディア名が「光沢塩ビ (1Layer)」の場合、括弧内は重ね塗り回数を表します。
  1Layer : 1 度塗り
  2Layer : 2 度塗り

  メディア名に推奨値が記載されていないプロファイルの場合、初期設定値でテストプリントを行い、画質が悪いと判断された場合は印刷条件設定を変更してください。

3. [印刷モード] サブメニュー

印刷モードを設定します。(P.137)

4. [プロファイル情報] サブメニュー

デバイスプロファイルの情報を表示します。(P.140)

5. [デバイス調整] サブメニュー

送り補正値やヒーター温度を設定します。(P.141)

6. [キャリブレーション] サブメニュー（☞ P.144）

現在選択しているバージョン 3.0 のデバイスプロファイルが " キャリブレーション情報 "、" イコライゼーション情報 " を含む場合、" キャリブレーション " メニューを表示します。
RIP 時にキャリブレーション情報、イコライゼーション情報を適用する／しないを選択します。

キャリブレーション (情報) : . . . 現在のプリンタの色みを、プリンタ初期状態など特定の状態の色みに近似させるための調整（情報）

イコライゼーション (情報) : . . . 現在のプリンタの色みを、対象となるプリンタの色みに近似させるための調整（情報）

重 要 !	この機能を使用する場合、弊社のプロファイル作成専用ソフトウェア「MimakiProfileMaster Ⅱ」で作成した " キャリブレーション情報 " または " イコライゼーション情報 " を含むバージョン 3.0 のデバイスプロファイルが必要です。 弊社が提供するバージョン 3.0 のデバイスプロファイルには、" キャリブレーション情報 " と " イコライゼーション情報 " は含まれていません。

プロファイルの絞込み表示

デバイスプロファイルをインクセット、メディア、解像度、バージョン、プロファイルに含まれるその他の条件でプロファイルを絞込み表示します。

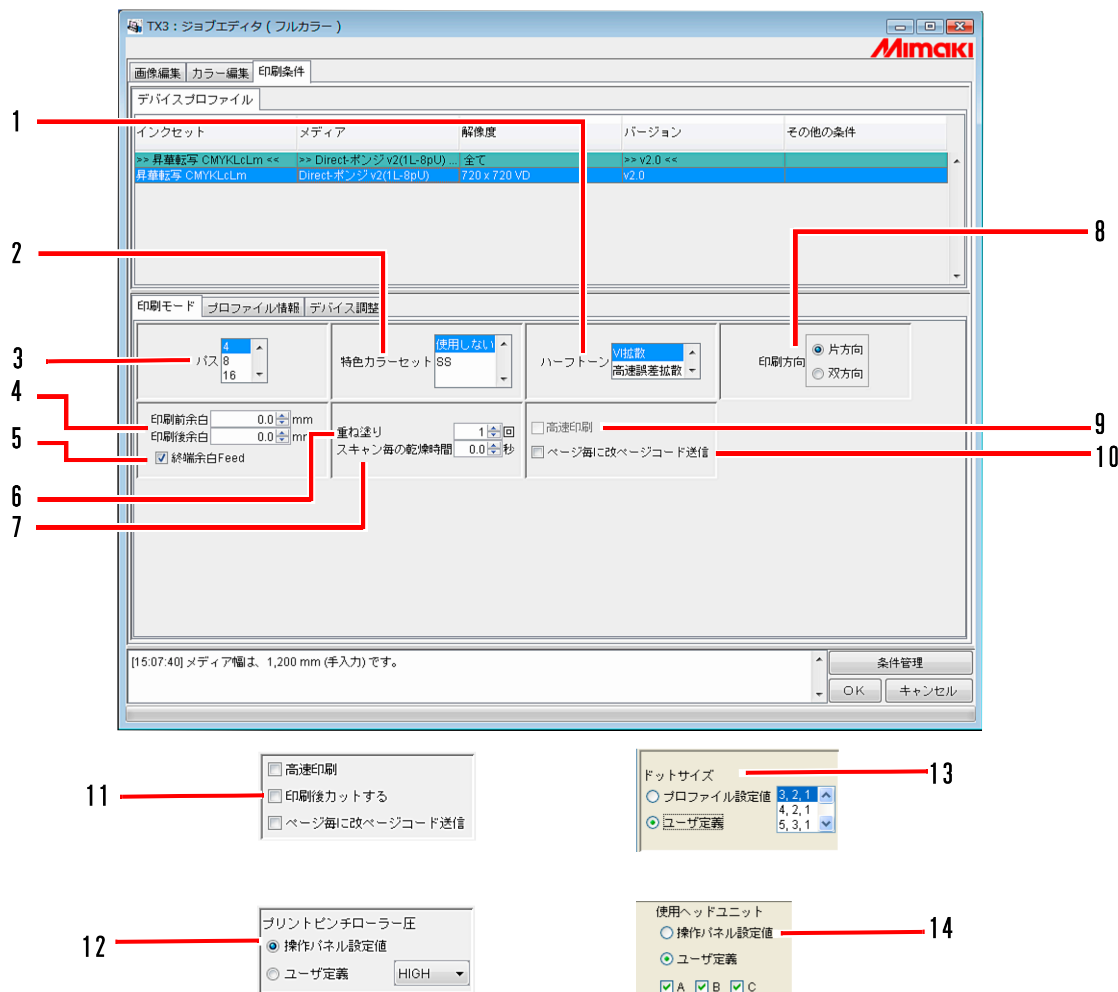
リスト１行目の緑色の行で絞込み条件を指定します。



［インクセット］が捺染顔料 CMYK のプロファイルを絞り込んだとき

［印刷モード］サブメニュー

印刷モードを設定します。



1. ハーフトーン

プリントの階調表現を指定します。

VI 拡散 . . . . ベタ塗りが多い画像向きです。

高速誤差拡散. . . . . 小さな文字にシャープさを求める場合選択します。ベタ塗りが多い画像ではシマが出てしまうため不向きです。

ILL 拡散 . . . . バージョン 3 デバイスプロファイルで選択できます。淡い色の再現性にすぐれ、グラデーションが多い画像向きです。

2. 特色カラーセット

色置換で使用する特色インクを選択します。

次のものが選択可能です。

S .... 特色を 1 つ使用します。
SS .... 特色を 2 つ使用します。
SSi .... 特色とシルバーを 1 つずつ使用します。
W .... ホワイトを 1 つ使用します。
WS .... ホワイトと特色を 1 つずつ使用します。
SSSS............... 特色を 4 つ使用します（Tx シリーズのときに有効です）。
使用しない .... プロファイルで使用されている色以外使用しません。

重 要 !	• 以下の条件でプリンタをお使いの場合、特色カラーセットを選択しないでください。選択すると色置換機能・特色調整機能・特色カラーチャート機能が正常に動作しなくなります。 条件 ：TS3 6 色モデル、TPC-1000 6 色モデル

3. パス

1 バンドを何分割で印刷するか指定します。

数が大きいほど綺麗に印刷できますが、印刷時間は長くなります。

バージョン 3 のデバイスプロファイルを選択すると、プロファイルの持つ推奨値に初期化されます。

4. 印刷前余白､印刷後余白

印刷開始前、印刷終了後の余白を設定します。

重 要 !	• 印刷時にはここで設定した余白の他に、プリンタで自動的に付ける余白が付加されます。 • プリント＆カットジョブの場合、“ 印刷後余白 ” を入力しても、プリント＆カット結果に余白は追加されません。（TPC の場合）

5. 終端余白 Feed

画像の終端（元画像の上部）に空白があった場合、その空白部分をフィードするかどうかを設定します。

6. 重ね塗り

発色を強くしたい場合に設定します。

重ね塗り用の出力プロファイル（2Layer 用）を使用する場合は、重ね塗りの回数には “ ２ ” を入力してください。

バージョン３のデバイスプロファイルを選択すると、プロファイルの持つ推奨値に初期化されます。

7. スキャン毎の乾燥時間

ヘッドが 1 スキャンする度に停止する時間を設定します。

インクの乾燥状態を目安に設定してください。

8. 印刷方向

片方向 .... ヘッドが右から左へ移動する際にインクを吐出して印刷します。“ 双方向 ” より綺麗に印刷できますが、印刷時間は長くなります。

双方向 .... ヘッドが左右に移動する際にインクを吐出して印刷します。“ 片方向 ” より画質が落ちますが、印刷時間は早くなります。

9. 高速印刷

印刷時間を短くするために、高速で印刷することができます。
ただし、通常の印刷より画質が落ちます。

重 要!	SSi の特色カラーセットを選択した場合、高速印刷は自動的に OFF 固定に設定されます。

10. ページ毎に改ページコードを送信

複数ページ及び版下出力時、1 ページ出力するごとに改ページコードを送信するかを設定します。
改ページコードを出力すると、次のページとの間に余白が作成されます。

重 要!	RIP& 印刷モードでは、この設定に関係なくイメージ出力するごとに改ページコードを送信します。

11. 印刷後カットする(TPC のみ)

印刷終了後、メディアをカットしてロールから切り離します。

重 要!	プリント&カットジョブの場合、“印刷後カットする”を選択しても プリント後にメディアをロールからカットしません。

12. プリントピンチローラー圧(TPC のみ)

プリント時のピンチローラー圧を設定します。

13. ドットサイズ

1 ドットの大きさを指定します。メディアに合わせて指定してください。

プロファイル設定値. . プロファイル作成時のドットサイズを指定して印刷します。

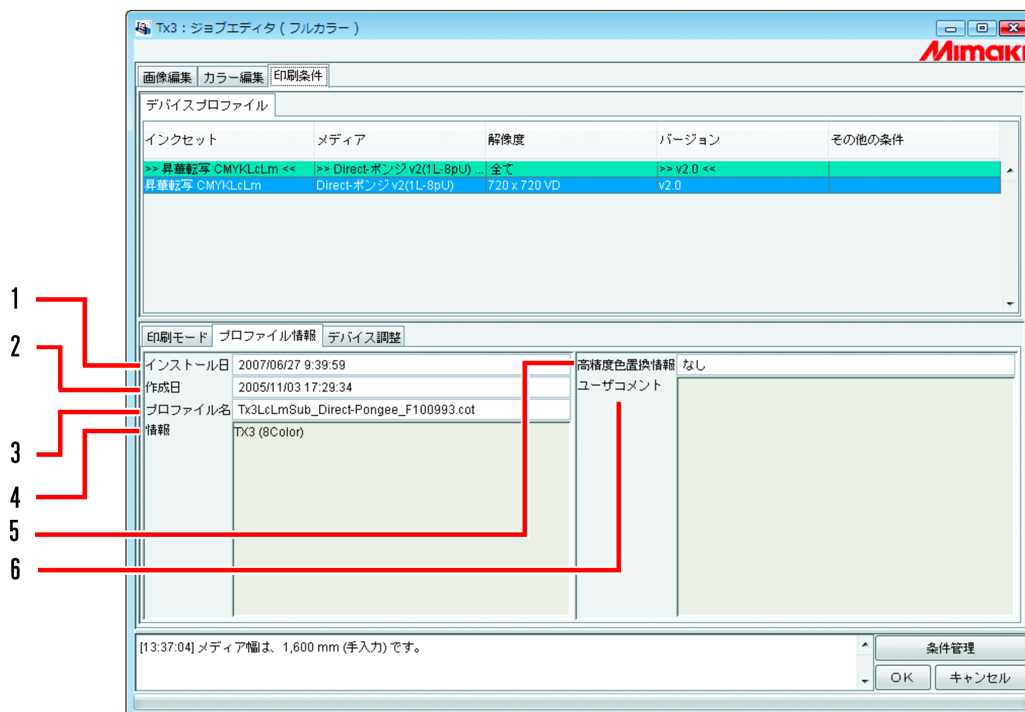
ユーザ定義. . . . . リストより、使用するドットサイズを指定します。ND プロファイル選択時は Large ドットのみ、VD プロファイル選択時は Large, Middle, Small のドットサイズの組み合わせから選択します。

14. 使用ヘッドユニット

作図に使用するヘッドユニットを選択します。
2 つ以上選択する場合は、隣り合ったヘッドユニットのみ選択できます（A と C を選択し、B を選択しないということはできません）

[プロファイル情報]サブメニュー

デバイスプロファイルの情報を表示します。



1. インストール日

選択したプロファイルのインストール日を表示します。

2. 作成日

選択したプロファイルの作成日を表示します。

3. プロファイル名

選択したプロファイルのファイル名を表示します。

4. 情報

選択したプロファイルの情報を表示します。

5. 高精度色置換情報

デバイスプロファイル内の、高精度色置換情報の有無を表示します。

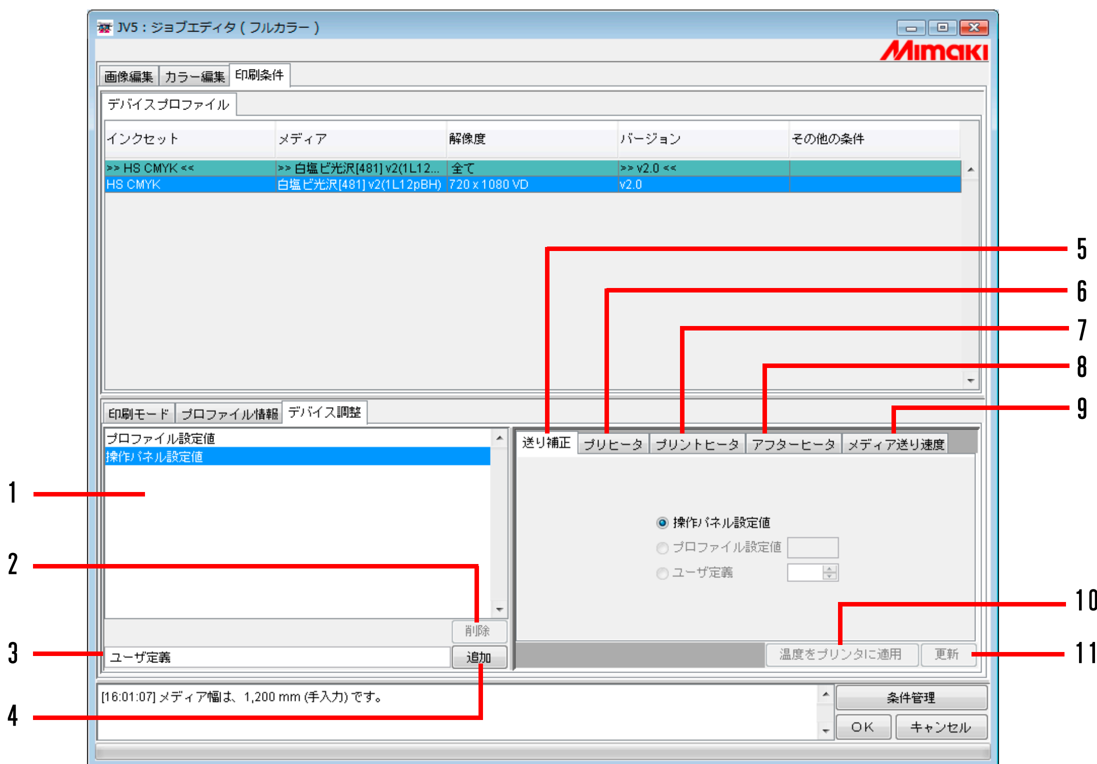
6. ユーザコメント

プロファイルに対してコメントを書き込むことができます。

プロファイルを選択すると、ユーザーコメント欄に書き込んだコメントを表示します。

[デバイス調整] サブメニュー

送り補正値やヒーター温度を設定します。



1. デバイス調整セットリスト

登録されているデバイス調整セットを表示します。

デバイス調整セットとは、[デバイス調整] サブメニューで設定・登録した値を名前を付けて登録したファイルです。

2. 削除

登録してあるデバイス調整セットを削除します。

> **重 要 !**　“ プロファイル設定値 ” と “ 操作パネル設定値 ” は削除することはできません。

3. デバイス調整セット入力ボックス

登録するデバイス調整セット名を入力します。

メディア名と送り補正値がわかるような名前を入力すると便利です。

> **重 要 !**　デバイス調整セット名に下記の半角文字は使用できません。
> ¥ / : ＊ ? “ < > I

4. 追加

デバイス調整セットを追加します。

5. 送り補正

DS シリーズは、メディアを手前に送り出しながら印刷します。作図した画像に縞などが入るなど綺麗に印刷できない場合は、メディアの送り量を補正します。

下記のいずれかの送り補正値を優先にするか設定します。

操作パネル設定値：　　　プリンタの操作パネルで設定した値を優先します。

プロファイル設定値：　　選択したプロファイルに登録されている値を優先にします。

重 要！　送り補正が登録されていないプロファイルがあります。この場合、プロファイル設定値は表示しません。

ユーザー定義：　　　　　ボックスに入力した値でプリンタが動作します。

6. プリヒータ（TPC、TS3、TS5）

プリヒータ設定を行います。

操作パネル設定値：　　　プリンタの操作パネルで設定した値を優先します。

プロファイル設定値：　　選択したプロファイルに登録されている値を優先にします。

重 要！　ヒータ温度が登録されていないプロファイルがあります。この場合、プロファイル設定値は表示しません。

ユーザー定義：　　　　　ボックスに入力した値でプリンタが動作します。

ヒータオフ：　　チェックするとヒータを使用しません。

7. プリントヒータ（TPC、TS3、TS5）

プリントヒータ設定を行います。

設定項目・設定方法はプリヒータと同じです。

8. アフターヒータ（TPC、TS3、TS5）

アフターヒータ設定を行います。

設定項目・設定方法はプリヒータと同じです。

9. メディア送り速度（TPC、TS3、TS5）

デフォルトのメディア送り速度で正確な送りができない場合に、メディア送り速度の値を設定します。

操作パネル設定値：　　　プリンタの操作パネルで設定した値を優先します。

プロファイル設定値：　　選択したプロファイルに登録されている値を優先にします。

> **重 要！**　メディア送り速度が登録されていないプロファイルがあります。この場合、プロファイル設定値は表示しません。

ユーザー定義：　　　　　ボックスに入力した値でプリンタが動作します。
値は 10% から 200% までの 10% 刻みで設定できます。

10. 温度をプリンタに適用（TPC、TS3、TS5）

ボタンを押すとプリンタへ温度設定情報を送信します。

プリント前に温度設定を行うことで、プリント直前のヒータ温度調整時間を短くすることができます。

11. 更新

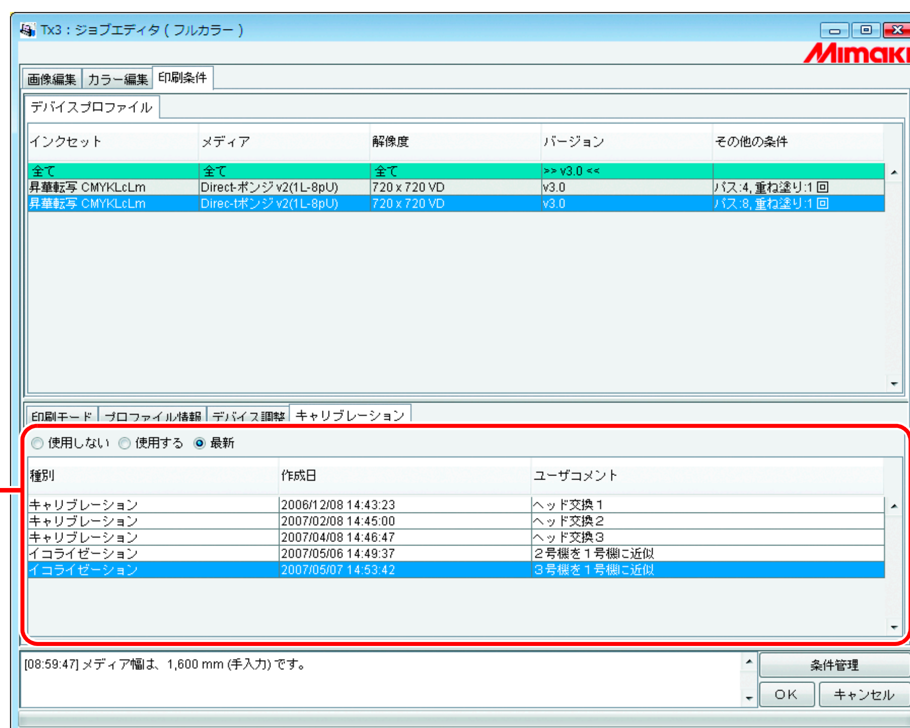
設定内容をデバイス調整セットに適用します。

［キャリブレーション］サブメニュー

“キャリブレーション”“イコライゼーション”の使用の有無を設定します。



［キャリブレーション］サブメニューは、キャリブレーション情報があるバージョン 3.0 のデバイスプロファイルを選択すると表示されます。
デバイスプロファイルにキャリブレーション情報を追加するには、弊社のプロファイル作成ソフト「MimakiProfileMaster II」をご使用ください。



1. キャリブレーション

［使用する］......... リストから選択されたキャリブレーションもしくはイコライゼーション情報を使用して RIP します。

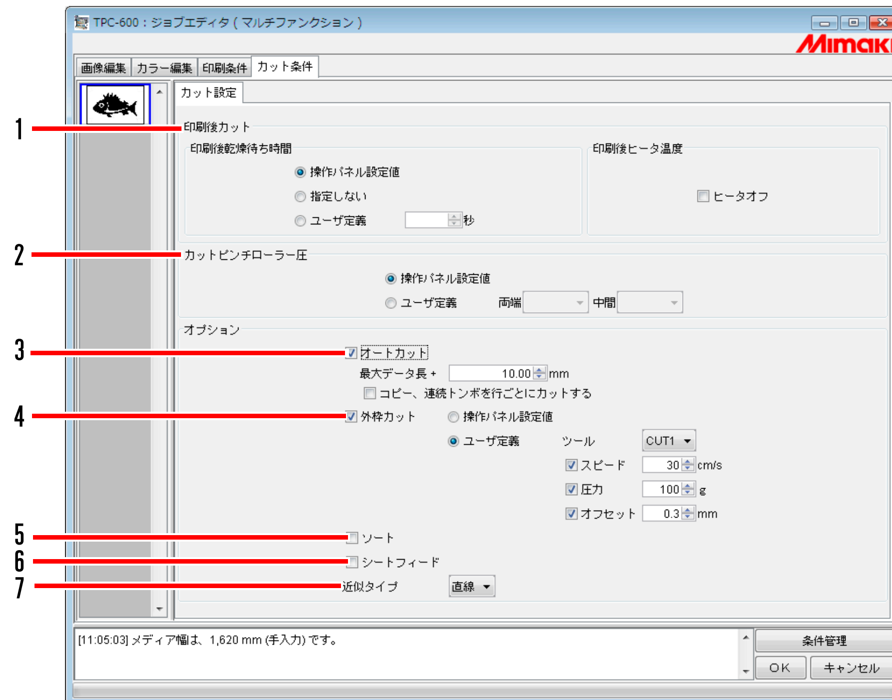
［使用しない］....... キャリブレーション、イコライゼーション情報を使用しません。

［最新］............. 常に作成日が最も新しいキャリブレーションもしくはイコライゼーション情報を使用して RIP します。キャリブレーション情報を日々追加して運用する場合、毎回選択する手間を省略します。

カット条件の編集（TPC 使用時）

TPC のカッタを使用する際の条件を設定します。

カット設定サブメニュー



1. 印刷後カット

印刷終了してから、カットを開始するまでの動作を設定します。

印刷後乾燥待ち時間 : カットを開始するまでの待ち時間を設定します。



メディアによっては、ヒータ温度が高いと、歪みなどによりカット精度が低下する場合があります。この場合、“ヒータオフ”を設定してください。

印刷後ヒータ温度 : カッティング実行時のプリヒータ、プリントヒータ、アフターヒータを OFF に設定します。

2. カットピンチローラー圧

カット時のピンチローラー圧を指定します。

3. オートカット

カット終了後に、自動的にメディアを切断します。

最大データ長 + : データの終端からカットする位置までの長さを指定します。
プリント&カットジョブの場合、プリントデータまたはカットデータの大きい方のデータ終端からの位置でカットします。

コピー、連続トンボを行ごとにカットする : チェックすると、データを行ごとにカットします。

4. 外枠カット

画像の外枠を四角形にカットします。

ツール　　　: カッタを選択します。HALF を選択すると点線カットになります。

スピード　　: カッティングスピードを設定します。

圧力　　　　: カット刃の圧力を指定します。

オフセット　: カット刃の中心位置を補正します。

5. ソート

カッティングするとき、カッティング時間が短縮されるように、カッティングの順番を並べ替えてカットします。

6. シートフィード

リーフメディアのとき、全図形がカット可能かメディアをフィードし確認動作します。

7. 近似タイプ

曲線をカッティングする際の近似方法を選択します。

直線　: 小さな直線に近似します。カット品質は落ちますが、高速です。

円弧　: 小さな円弧に近似します。低速になりますが、カット品質が上がります。

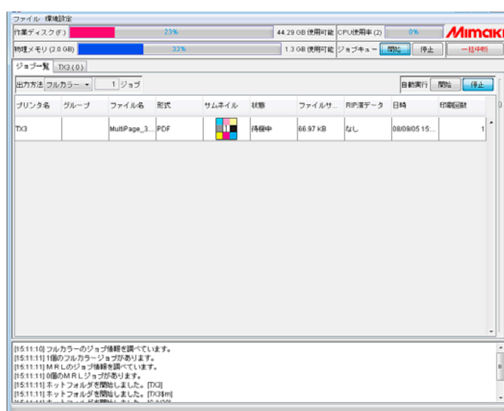
複数ページのジョブ

1 つのファイルで複数の画像を持つファイルを、「複数ページ」画像と呼びます。
RasterLinkPro5 TA では、複数ページ画像の全てのページを同時に出力することができます。

重 要! 画像サイズが違うページのある複数ページ画像には対応していません。

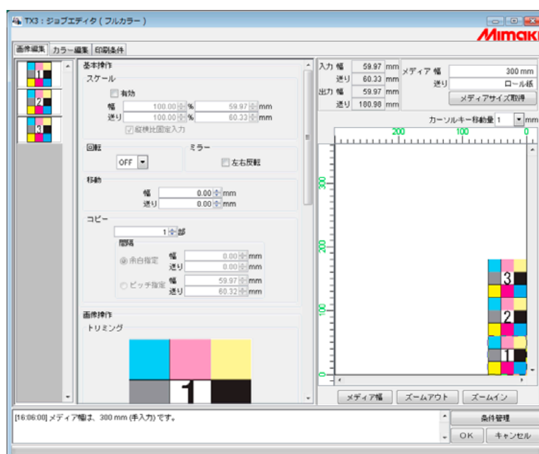
メインウィンドウについて

サムネイルには、1 ページ目の画像のみ表示します。



“ジョブエディタ” について

“ジョブエディタ”には、全てのページを表示します。



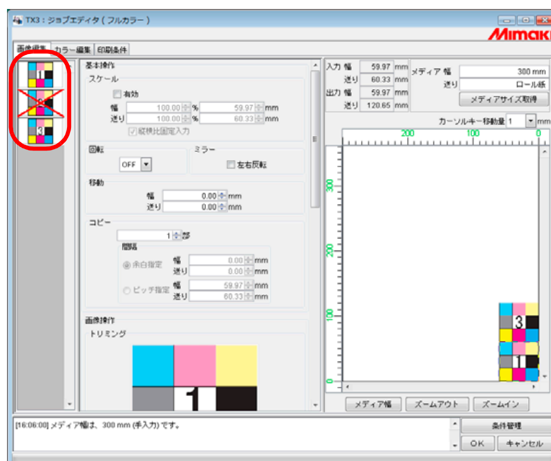

“ジョブエディタ” の全ての設定は、全ページ共通です。

ジョブの編集（画像編集）

出力ページの決定

編集対象のジョブの全ページをサムネイル画像で一覧表示します。
出力するページを選択することができます。

サムネイルリストから印刷しない画像をクリックします。
サムネイルに×マークが付き、プレビュー画像からも消えます。



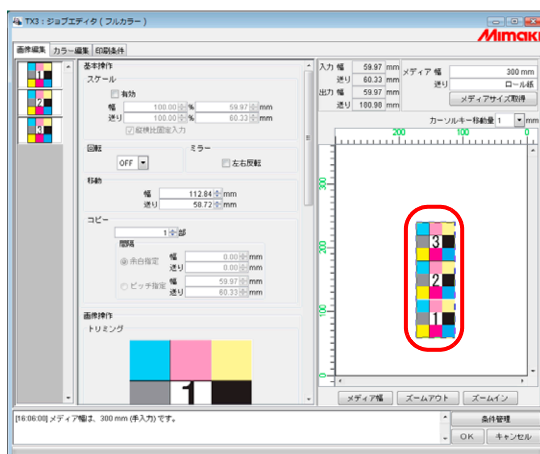


- ×の付いている画像（プレビューにない画像）は印刷しません。
- 印刷しないように設定した画像を再度印刷するように設定するには、×印の付いているサムネイルをクリックします。

重要！ 全てのページを印刷対象から外すことはできません。

移動

全てのページを 1 つのオブジェクトとして移動します。
マウスでドラッグアンドドロップするか、幅・送りの移動量を入力します。



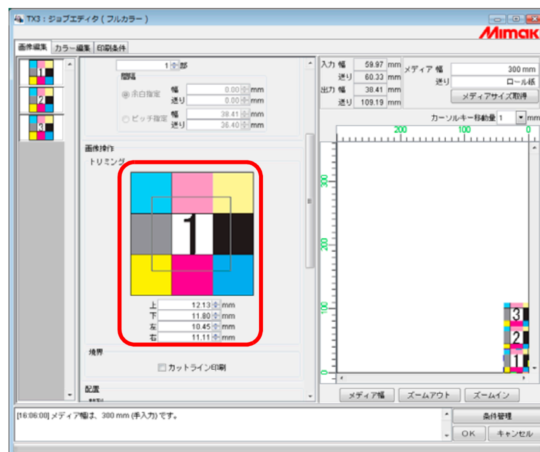


各ページバラバラに配置することはできません。

トリミング

全てのページをトリミングします

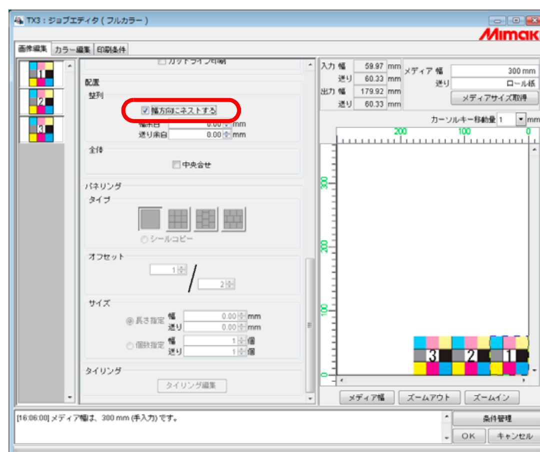
トリミングプレビューには、出力対象の先頭ページを表示します。



整列

各ページの間隔を指定します。

“幅方向にネストする”をチェックすると、横方向に整列します。

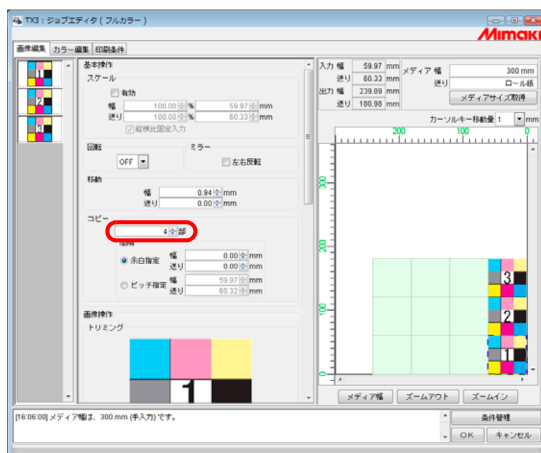


コピー

各ページをコピーします。

重 要!

“ 幅方向にネストする ” と “ コピー ” は同時に指定できません。



重 要!

複数ページでは、次の設定を行うことができません。

- パネリング
- タイリング

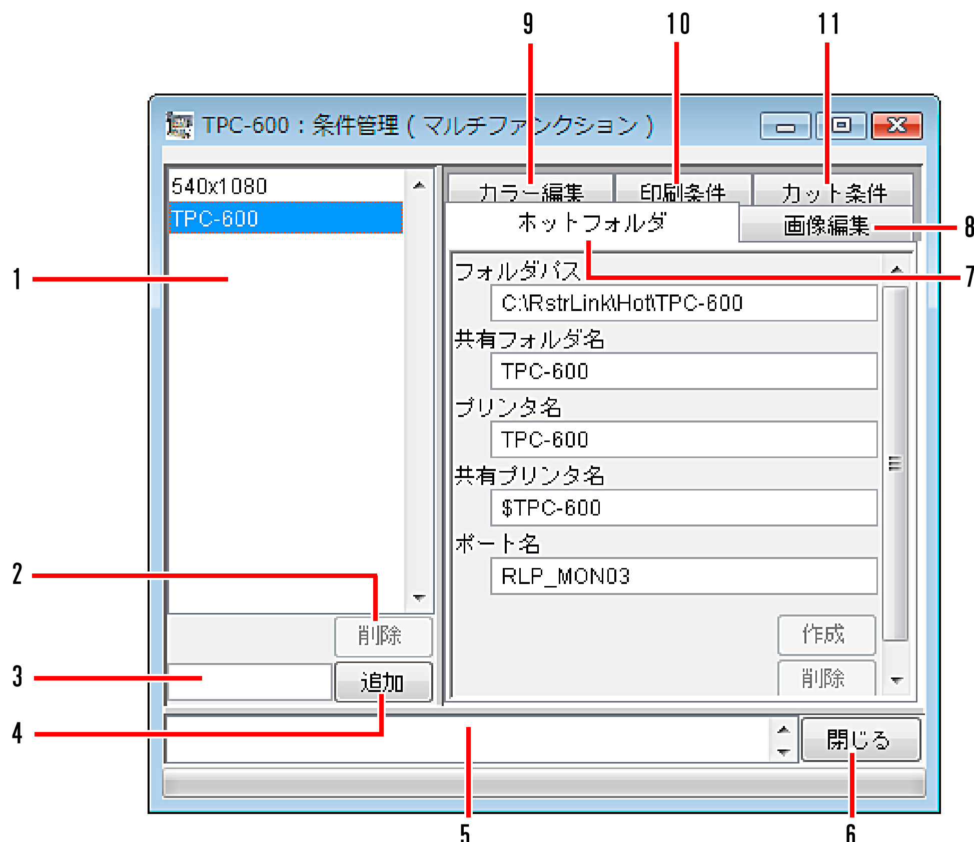
条件管理について

ジョブの実行に必要な各種条件（印刷条件、画像編集、など）を、一つの「条件セット」として管理します。

条件管理の機能は以下の通りです。

1) 編集中のジョブに、条件セットを適用することができます。

2) 条件セットごとにホットフォルダとプリンタを作成することができます。作成したホットフォルダまたはプリンタでスプールしたジョブの初期値は、対応する条件セットの設定値になります。



1. 条件リスト

条件セットの一覧を表示します。

2. 削除

選択した条件を削除します。デフォルトで作成された条件は削除できません。

3. 条件名入力ボックス

新規に条件を登録する場合、新しい名称を入力します。

重要！ 条件名に下記の半角文字は使用できません。
￥ / ： ＊ ？ “ ＜ ＞ I ！ ,

4. 追加

新規に条件を登録します。

5. 情報表示

条件管理の処理状況を表示します。

6. 閉じる

条件管理ウィンドウを閉じます。

7. [ホットフォルダ] サブメニュー

ホットフォルダとプリンタドライバを作成します。（☞ P.153、P.163）

8. [画像編集] サブメニュー

画像編集の条件を設定します。（☞ P.154）

9. [カラー編集] サブメニュー

カラー編集の条件を設定します。（☞ P.155）

10. [印刷条件] サブメニュー

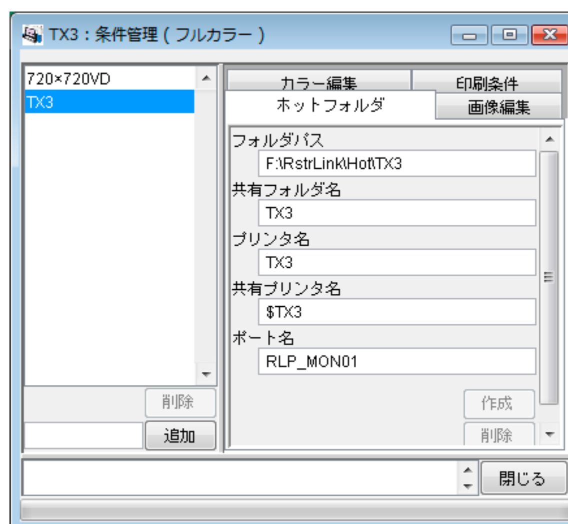
印刷条件を設定します。（☞ P.156）

11. [カット条件] サブメニュー (TPC のみ)

カット条件を設定します。（☞ P.157）

［ホットフォルダ］サブメニュー

ホットフォルダとプリンタドライバの追加と削除を行います。ホットフォルダとプリンタドライバの追加と削除方法は、☞ P.163 を参照してください。



［画像編集］サブメニュー

画像編集のパラメータを設定します。パラメータの設定方法は、☞ P.159 を参照してください。

設定可能なパラメータは次の通りです。

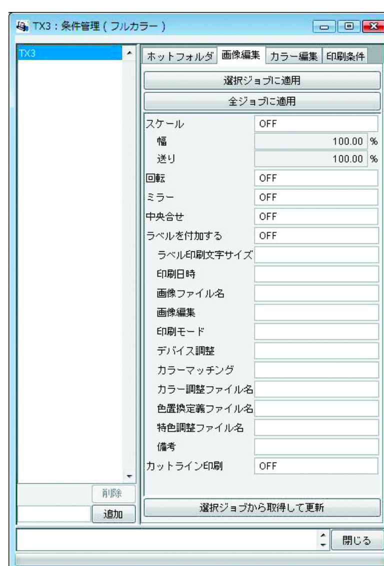
プリントジョブ　　　　　　：スケール、回転、ミラー、中央合わせ、カットライン印刷（フルカラーのみ)、反転（反下分版のみ)、印刷情報ラベル

プリント＆カットジョブ（トンボ有り）
：回転、ミラー、中央合わせ、印刷情報ラベル

プリント＆カットジョブ（トンボ無し）
：スケール、回転、ミラー、中央合わせ、カットライン印刷、印刷情報ラベル

カットジョブ（トンボ有り）：回転、ミラー、中央合わせ

カットジョブ（トンボ無し）：スケール、回転、ミラー、中央合わせ



重要！　タイリング、パネリング、およびシールコピーを設定しているジョブには、条件を適用できません。

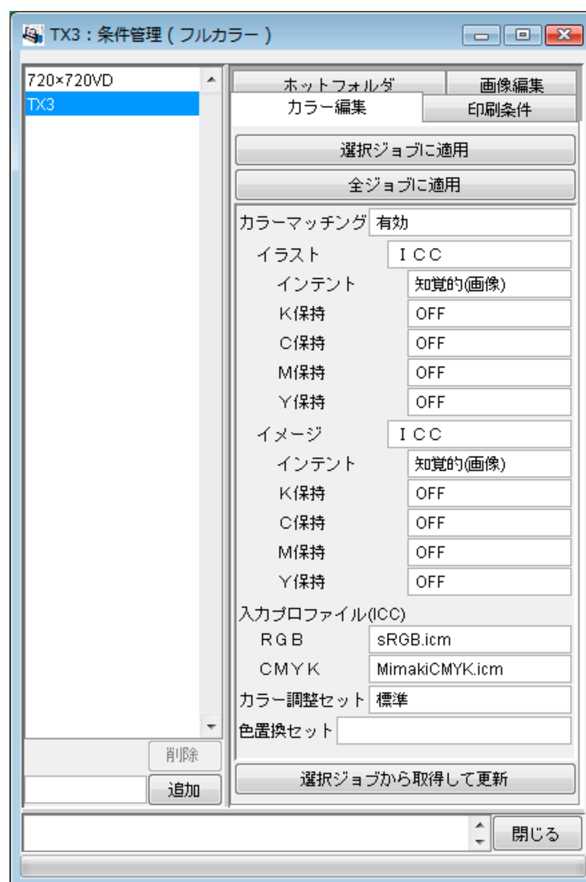
［カラー編集］サブメニュー

カラー編集のパラメータを設定します。パラメータの設定方法は、☞ P.159 を参照してください。

設定可能なパラメータは次の通りです。

カラーマッチングの全てのパラメータ（フルカラーのみ）、カラー調整セット、色置換セット（フルカラーのみ）、特色調整設定

重 要! カットジョブの場合、カラー編集メニューは表示されません。

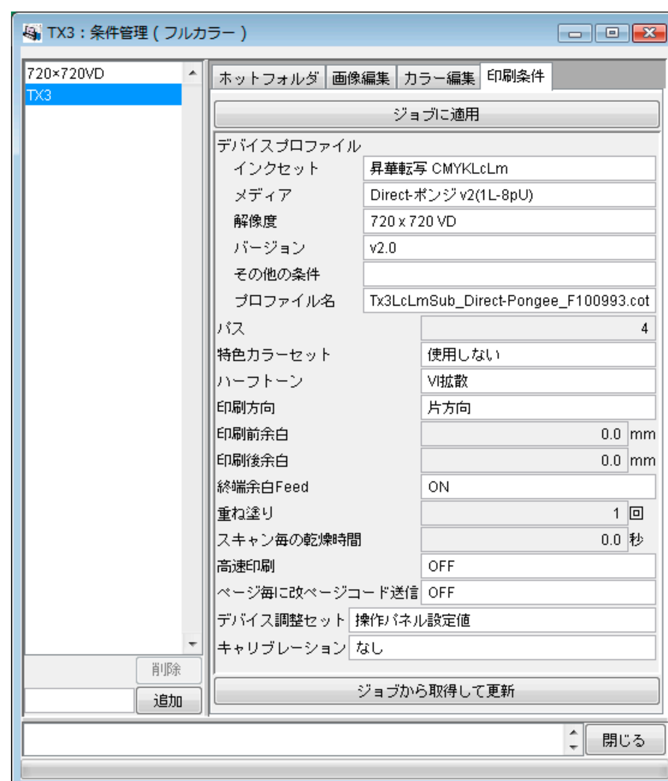


［印刷条件］サブメニュー

印刷条件のパラメータを設定します。パラメータの設定方法は、☞P.159 を参照してください。
設定可能なパラメータは次の通りです。

デバイスプロファイル、印刷モードの全てのパラメータ、デバイス調整セット

重要！	カットジョブの場合、印刷条件メニューは表示されません。



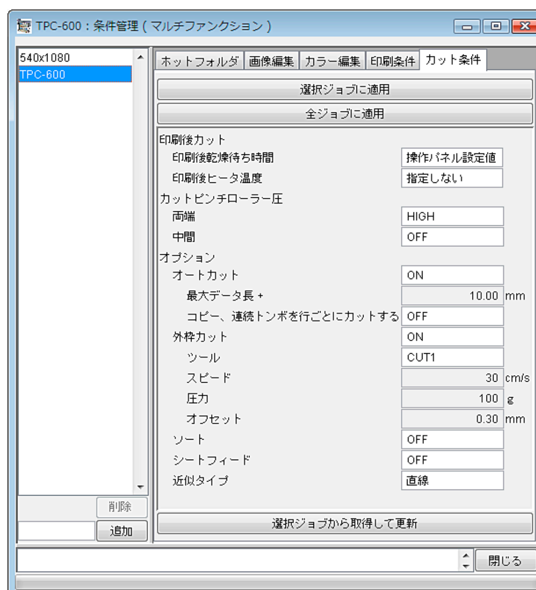
［カット条件］サブメニュー（TPC のみ）

カット条件のパラメータを設定します。パラメータの設定方法は、P.159 を参照してください。

設定可能なパラメータは次の通りです。

印刷後乾燥待ち時間、印刷後ヒーター温度、カットピンチローラー圧、オートカット、最大データ長＋、コピー、連続トンボを行ごとにカットする、外枠カット、ソート、シートフィード、近似タイプ

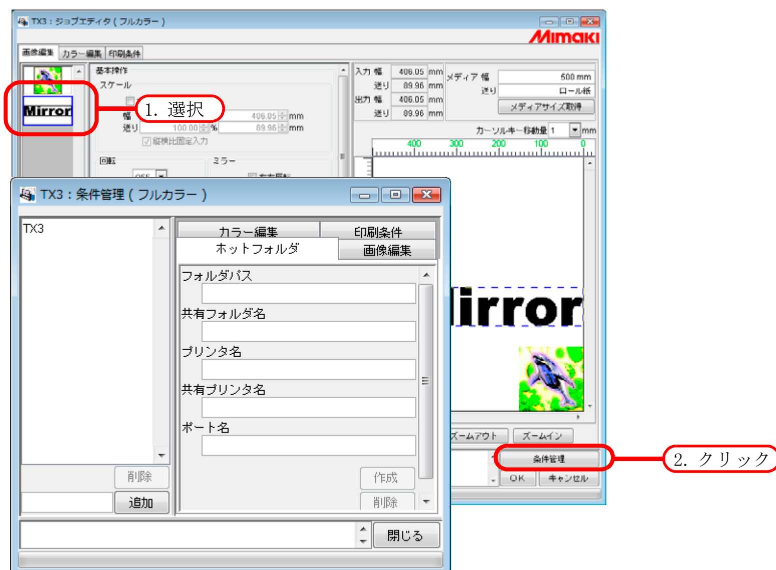
重要! プリントジョブの場合、カット条件メニューは表示されません。



条件管理ウィンドウを表示する

条件を設定するジョブを 1 画像選択し、条件管理ボタンをクリックします。

" 条件管理 " ウィンドウを開きます。



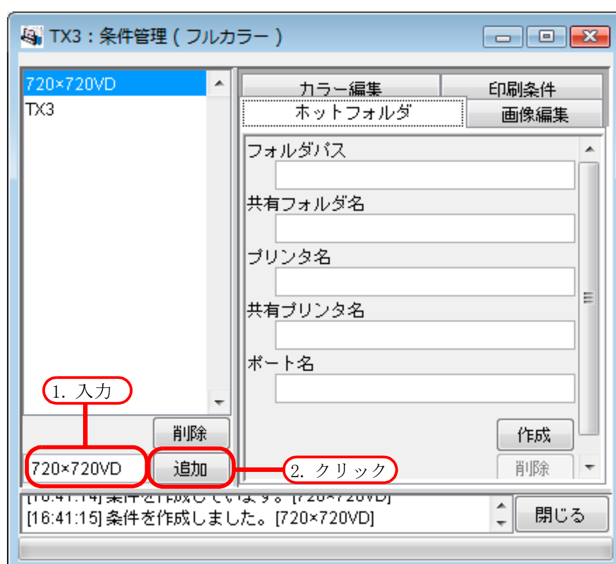
条件セットの新規作成

条件名を入力します。

重 要！ 条件管理名に下記の半角文字は使用できません。
￥ / ： ＊ ？ “ ＜ ＞ Ｉ ！ ，

追加ボタンをクリックします。

条件リストに追加します。

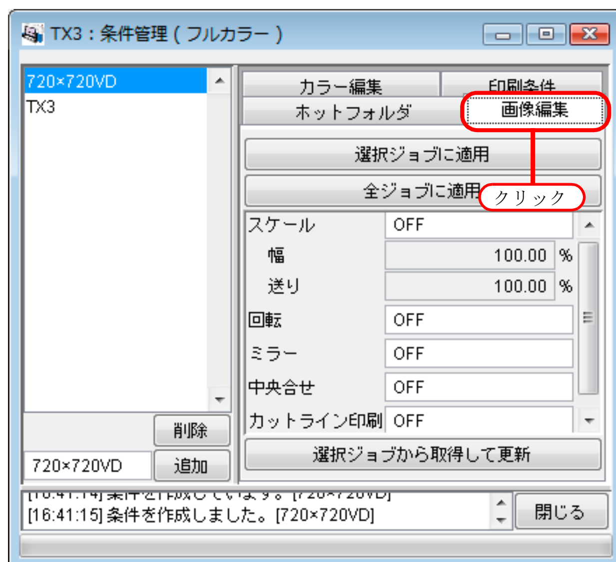



登録済みの条件セットを編集して別名で登録する場合は、編集するセットを選択し、セット名を変えた後に追加ボタンをクリックします。

条件の設定値を変更する

各条件（画像編集、カラー編集、印刷条件）の設定値を変更します。
現在 “ ジョブエディタ ” で編集中のジョブから値を取得します。
画像編集は単独で、カラー編集と印刷条件はセットで設定が変更されます。

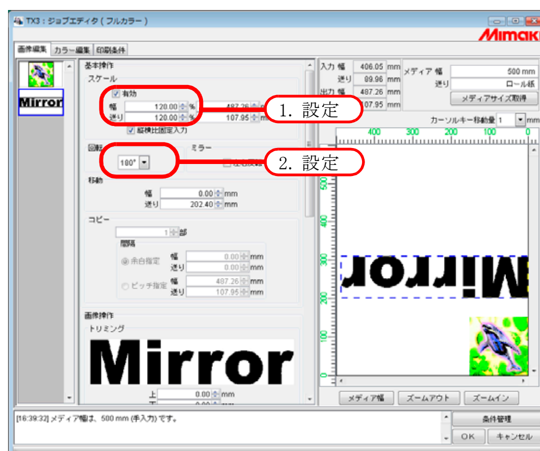
1 条件管理ウィンドウを開きます。
変更する条件のサブメニューを開きます。
ここでは [画像編集] を開きます。
“ ジョブエディタ ” も [画像編集] を表示します。





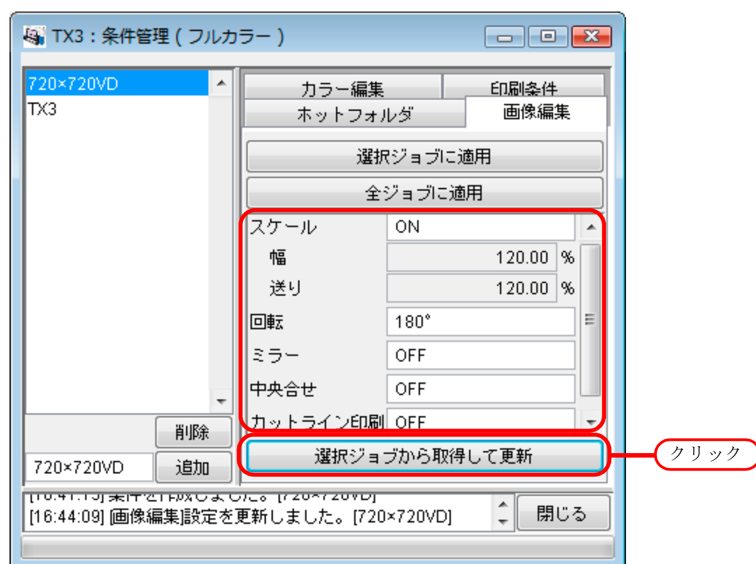
条件管理ウィンドウで表示したサブメニューに合わせて、 “ ジョブエディタ ” のメニューも切り替わります。

2 “ ジョブエディタ ” で、パラメータの設定を行います。
例では以下のように設定しています。
スケール　　　: 120%
回転　　　　　: 180°



3 条件管理ウィンドウの 選択ジョブから取得して更新 ボタンをクリックします。

"ジョブエディタ" で設定したパラメータを取得し、表示します。



条件をジョブに適用する

条件管理で設定した条件を、ジョブに適用します。

画像編集は単独で、カラー編集と印刷条件はセットで設定が変更されます。

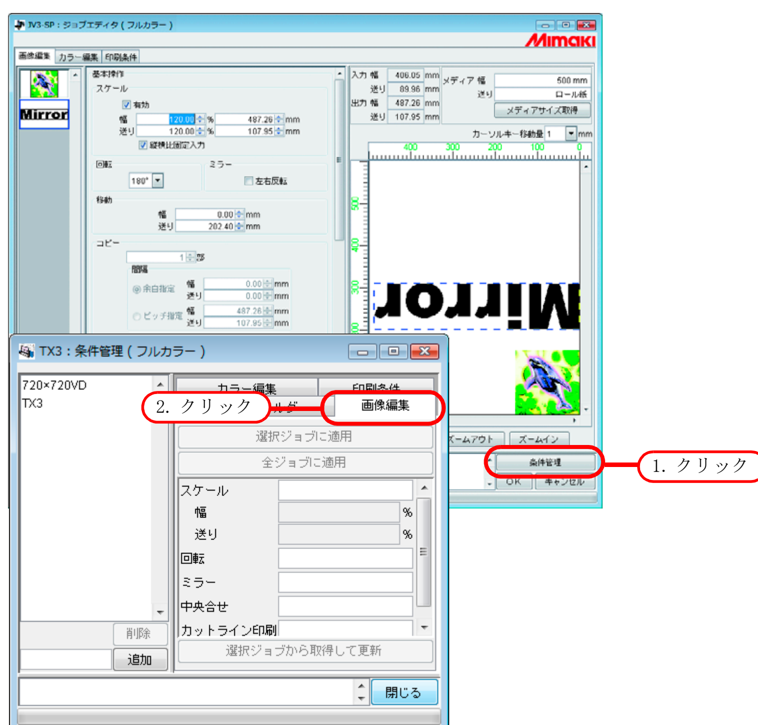
画像編集の条件は、“ 画像編集 ” のサムネイルリストで選択している 1 つ以上のジョブ、または全てのジョブに適用します。

カラー編集の条件は、“ カラー編集 ” のサムネイルリストで選択しているジョブにだけ、または全てのジョブに適用します。

印刷条件は、グループ化している全てのジョブに適用します。

1 条件管理ウィンドウを開きます。
変更する条件のサブメニューを開きます。
ここでは [画像編集] を開きます。

“ ジョブエディタ ” も [画像編集] を表示します。

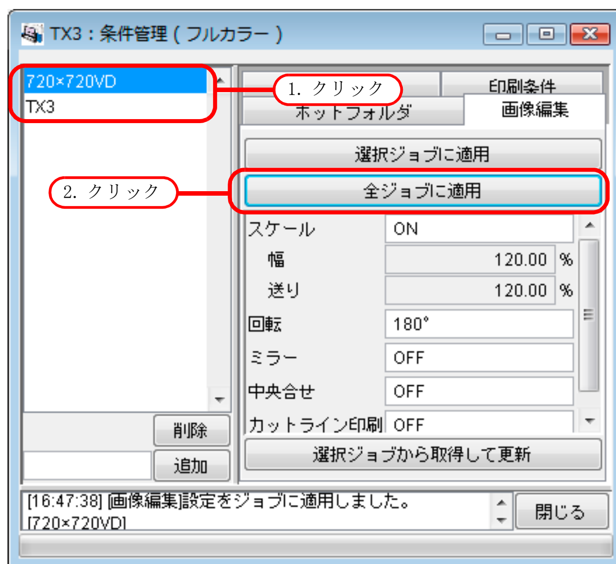




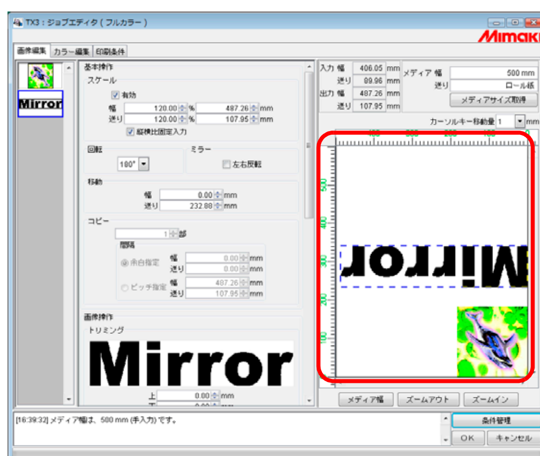
条件管理で表示したメニューに合わせて、“ ジョブエディタ ” のメニューも切り替わります。

2 適用する条件を選択します。
適用ボタンをクリックします。

ここでは 全ジョブに適用 ボタンをクリックします。



3 “ ジョブエディタ ” の全ジョブに適用します。



［ホットフォルダ］サブメニュー

ホットフォルダとプリンタドライバを作成します。

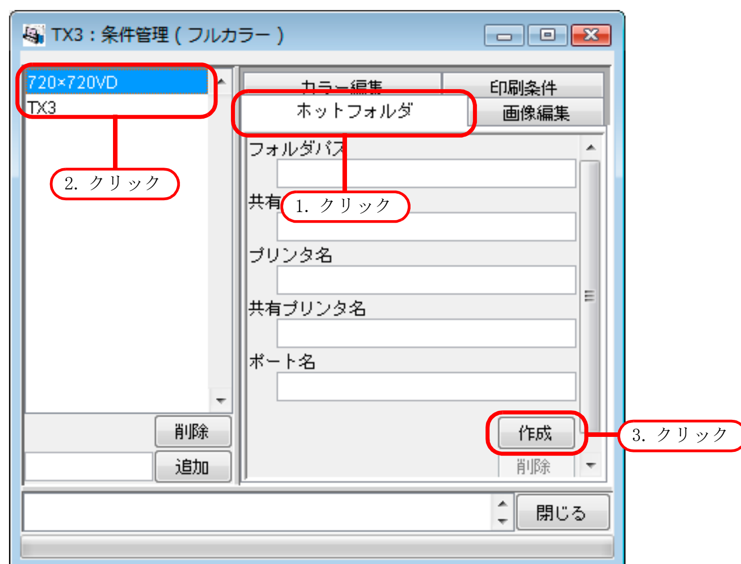
1 つの条件セットに対し、1 つのホットフォルダとプリンタドライバを作成します。

作成したホットフォルダ・プリンタドライバを使用してスプールしたジョブの各条件には、条件管理で設定した条件が反映されます。

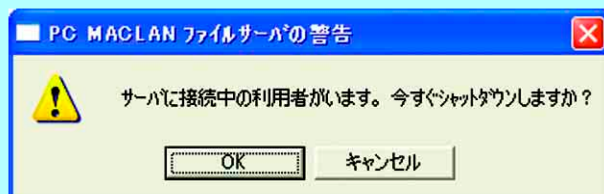
ホットフォルダとプリンタドライバの作成

1 条件管理ウィンドウを開き、[ホットフォルダ] メニューを開きます。
ホットフォルダを作成する条件セットを選択します。
作成 ボタンをクリックします。

重 要!
- ホットフォルダやプリンタドライバの作成中に RasterLinkPro5 TA を強制終了しないでください。
- Windows Me 以前の古い OS の PC からホットフォルダ・共有プリンタにアクセスする場合、条件セット名を半角で 11byte 以内にしてください。

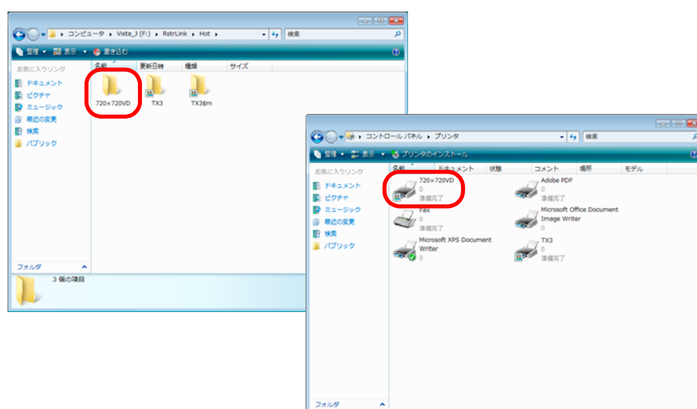


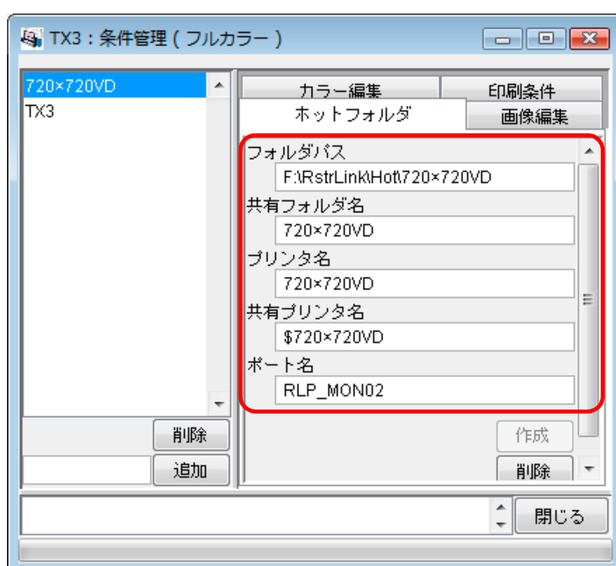
重 要!
RasterLinkPro5 TA PC に PC MACLAN がインストールされている場合、ホットフォルダの作成途中で [PC MACLAN ファイルサーバの警告] 画面が表示されることがあります。 OK ボタンをクリックして PC MACLAN ファイルサーバを停止してください。PC はシャットダウンされません。



2 ホットフォルダとプリンタドライバが作成されます。
ホットフォルダとプリンタドライバの情報を表示します。

> **重 要!**
>
> - RasterLinkPro5 TA で作成したホットフォルダに対し、以下のことは絶対に行わないでください。アンインストールできなくなります。
>   フォルダ名の変更、共有名の変更、共有の解除、ホットフォルダの削除
> - RasterLinkPro5 TA で作成したプリンタドライバに対し、以下のことは絶対に行わないでください。アンインストールできなくなります。
>   名前の変更・削除、共有名の変更、共有の解除





PC MACLAN の自動設定について

RasterLinkPro5 TA に PC MACLAN がインストールされている場合、ホットフォルダとプリンタドライバの作成を行うと、自動的に PC MACLAN の設定が行われます。
この際、自動的に以下の名称が付けられます。

PC MACLAN ファイルサーバ

ファイルサーバ名称： RasterLinkPro5 TA PC のホスト名
共有フォルダ名 ： 条件セット名

PC MACLAN プリントサーバ

スプーラ名 ： 条件セット名 _RasterLinkPro5 TA PC のホスト名

重 要 !

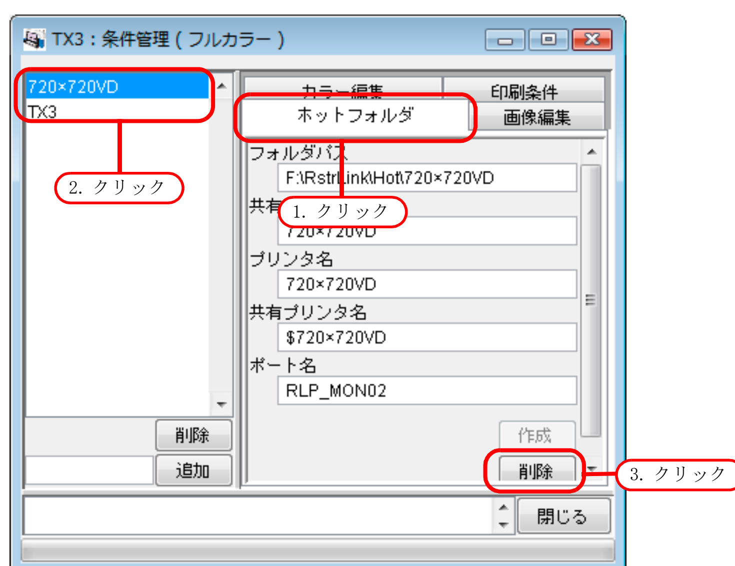
- PC MACLAN プリントサーバのスプーラ名は、仕様上最大 27byte となっています。
  条件セット名またはホスト名が長い場合、28byte 目以降は切り捨てられます。
  Macintosh からプリンタドライバ出力される場合は、あまり条件セット名を長くしないことをお奨めします。
- ホットフォルダとプリンタドライバの作成時に、RasterLinkPro5 TA は PC MACLAN を再起動させます。この際一時的に Macintosh クライアントとの接続が絶たれるため、ホットフォルダ内に削除できないファイルが残る等の問題が発生します。
  ホットフォルダとプリンタドライバの作成は、Macintosh でマウントしたホットフォルダをアンマウントしてから行ってください。

ホットフォルダとプリンタドライバの削除

1 条件管理ウィンドウを開きます。
[ホットフォルダ] メニューを開きます。
ホットフォルダを削除する条件セットを選択します。
削除 をクリックします。

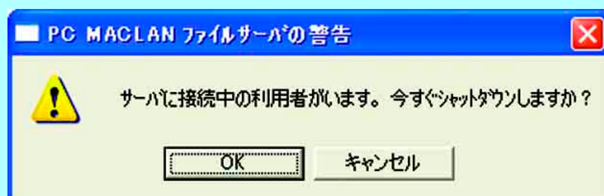
重 要 !

ホットフォルダやプリンタドライバの削除中に RasterLinkPro5 TA を強制終了しないでください。



重 要!

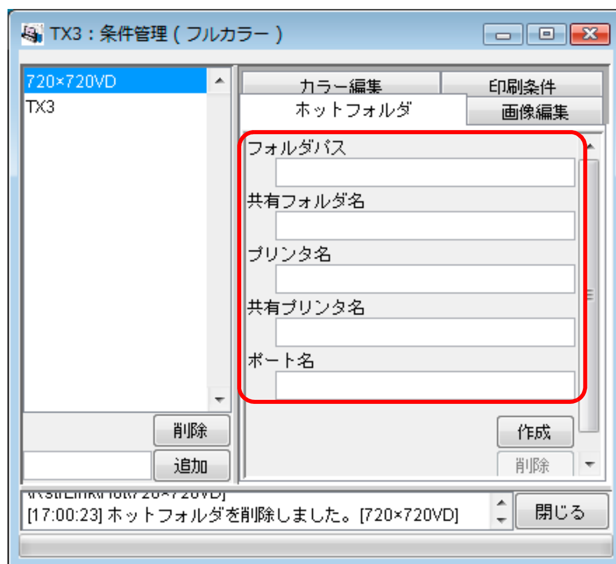
RasterLinkPro5 TA PC に PC MACLAN がインストールされている場合、ホットフォルダの削除途中で [PC MACLAN ファイルサーバの警告] 画面が表示されることがあります。 OK をクリックして PC MACLAN ファイルサーバを停止してください。PC はシャットダウンされません。



2 ホットフォルダとプリンタドライバが削除されます。

重 要!

Macintosh から AppleShare で RasterLinkPro5 TA のホットフォルダを共有している場合、ホットフォルダを削除できない場合があります。
この場合、Macintosh でマウントした共有ボリュームをアンマウントしてから 削除 をクリックしてください。



PC MACLAN の設定解除について

RasterLinkPro5 TA に PC MACLAN がインストールされている場合、ホットフォルダとプリンタドライバの削除を行うと、自動的に PC MACLAN の設定が解除されます。

重 要!

- ホットフォルダとプリンタドライバの削除時に、RasterLinkPro5 TA は PC MACLAN を再起動させます。この際一時的に Macintosh クライアントとの接続が絶たれるため、ホットフォルダ内に削除できないファイルが残る等の問題が発生します。
  ホットフォルダとプリンタドライバの削除は、Macintosh でマウントしたホットフォルダをアンマウントしてから行ってください。
- PC MACLAN ファイルサーバのボリューム情報は自動的に削除されません。
  PC MACLAN ユーザガイドの、PC MACLAN ファイルサーバの使用法の章に従い、[ボリューム情報を削除] を行ってください。

プリンタステータス表示機能

“プリンタステータス”では、接続されたプリンタの状態表示や、プリンタ固有の設定を行います。

出力ポートごとに表示する内容が異なります。

“プリンタステータス”は、各プリンタの実行中ジョブ画面に表示されます。

重 要！

- プリンタステータスは自動的に更新表示されません。最新の状態を確認したい場合は 最新の情報に更新 ボタンをクリックしてください。
- 印刷中に 最新の情報に更新 ボタンをクリックすると、表示が更新されるまでに時間がかかります。

出力ポートが IEEE1394、USB 2.0 の場合

“一般” 情報

現在のプリンタの状態です。

TPC

一般 | メディア | インク | ヒータ | バージョン

状態　ローカルアイドル

プリント長　0.00 m

ヘッドワイパ状態　使用可能

最新の情報に更新

TS シリーズ /Tx シリーズ /DS シリーズ

一般 | メディア | インク | バージョン

1 状態　ローカルアイドル

2 プリント長　0.00 m

3 ヘッドワイパ状態　使用可能

4 ヘッド高さ　1.3 mm

最新の情報に更新

1. 状態

現在のプリンタの状態です。

状態	内容
ノットレディ	プリンタ起動時に行う初期動作中です。 この状態の時はプリンタに出力しないでください。
カバーオープン	プリンタのフロントカバーが上がっています。 フロントカバーを閉めて下さい。

状態	内容
ローカルアイドル	プリンタがローカル状態です。 この状態でプリンタに出力しても、印刷を開始しません。 出力する場合、プリンタをリモートモードにしてください。
ローカルアクティブ	プリンタがクリーニングやテストプリントを実行中です。 この状態でプリンタに出力しても、印刷を開始しません。 出力する場合、プリンタをリモートモードにしてください。
リモートアイドル	プリンタがリモート状態です。 この状態でプリンタに出力すると、印刷を開始します。
リモートアクティブ	印刷中です。

2. プリント長

出力最中の実際にプリントされた長さを表示します。

3. ヘッドワイパ状態

ヘッドワイパが使用可能かどうか表示します。

4. ヘッド高さ

現在のヘッド高さを表示します。

“メディア” 情報

メディアについての情報を表示します。

TS シリーズ /Tx シリーズ /DS シリーズ

TPC

1. メディアサイズ：幅

メディア幅の表示／設定を行います。

自動検出 . . . プリンタが検出したメディア幅を使用します。検出したメディア幅は、寸法線上に表示されます。

手入力 . . . . . プリンタの検出値を使用せず、手入力した値をメディア幅として扱います。プリンタと接続していない状態で RasterLinkPro5 TA を使用する場合は、この設定にしてください。

左右マージンを設定している場合、作図可能幅は以下のようになります。

作図可能幅 ＝ メディア幅 － 左マージン － 右マージン

重 要 ! メディア幅が 0 の場合、“ジョブエディタ” でレイアウトプレビューが表示されません。プリンタと接続していない場合は、手入力設定でメディア幅を数値入力してください。

2. メディアサイズ：送り

自動検出時にメディアがリーフ紙の場合、メディアの送りサイズを表示します。

メディアがロール紙または手入力の場合は、ロール紙と表示します。

3. 右マージン／ 4. 左マージン

メディアの左右端にマージン領域 (クリップ領域) を設定します。マージン領域に画像が配置された場合、その部分はクリップされ印刷されません。

“ジョブエディタ”のレイアウトプレビューでは、マージン領域はグレー表示されます。

転写紙を使用する際に、メディア端の品質の悪い領域を使用したくない場合など、レイアウトプレビュー画面上で確認できるため有効です。

プリンタ本体のマージン設定 (デッドスペース) とは異なります。本体のデッドスペースを加味してお考えください。

5. 警告線(TPC のみ)

警告線を表示するプリンタ原点からの位置を設定します。

6. メディア厚(TPC/TS3/TS5)

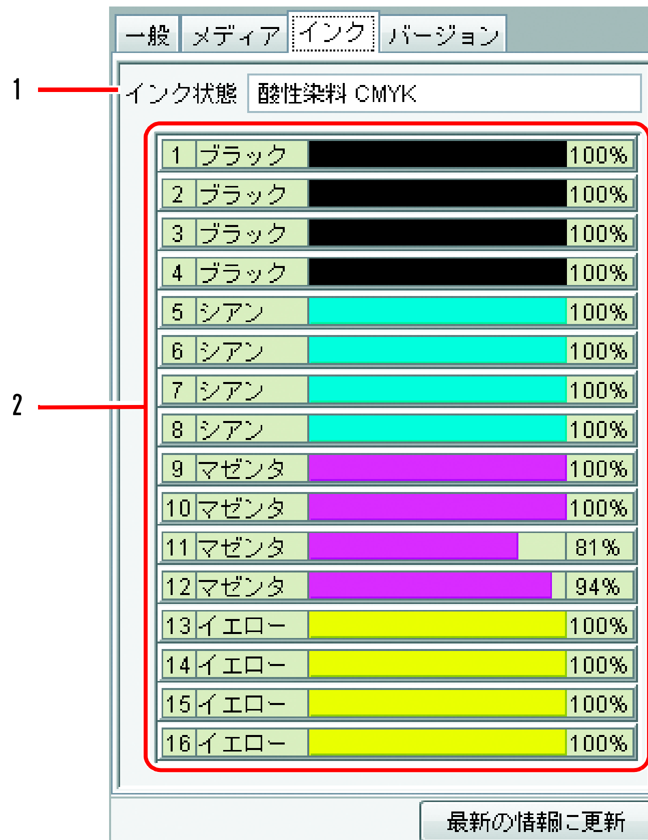
セットしたメディアの厚さを表示します。

7. メディア残量(TPC/TS3/TS5)

プリンタの操作パネルで［ﾒﾃﾞｨｱ ｻﾞﾝﾘｮｳ］が “ON” に設定されているとき、セットされているメディアの残量を表示します。

“インク” 情報(Tx3)

プリンタにセットしてあるインクの情報を表示します。



重要! プリンタ本体にインクカートリッジが挿入されていない場合、インク情報を正しく表示できない場合があります。
インク情報を表示するには、プリンタ本体にインクカートリッジを正しく挿入してください。

“インク” 情報(DS シリーズ / Tx2 シリーズ)

DS シリーズ、Tx2 シリーズは、リアとフロントに別々のインクを設定できるので、リア・フロントの情報をそれぞれ表示します。

プリンタと接続していない状態で RIP だけ実行し、後で印刷のみ実行する場合、“インクセット検出方法”を“指定”にし、接続するプリンタに搭載されているインクセットを選択してください。リア／フロントのインクセットの状態により、どちらのヘッドを使用して印刷するかが決まります。

リアとフロントのインクセットが一致している場合

プリンタの操作パネル設定値（[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ] - [ｼｮｳﾍｯﾄﾞ]）に従います。

リアとフロントのインクセットが異なる場合

デバイスプロファイルとインクセットが一致する側のヘッドを使用します。
一致しない場合、プリンタの操作パネル設定値（[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ] - [ｼｮｳﾍｯﾄﾞ]）に従います。

インク検出方法：自動

一般 | メディア | インク | バージョン

インクセット検出方法 ◉ 自動 ○ 指定

リア 反応染料 CMYKLcLm

1	グレー	10%
2	ブラック	2%
3	シアン	2%
4	ライトシアン	100%
5	マゼンタ	100%
6	ライトマゼンタ	100%
7	イエロー	51%
8	ブルー	14%

フロント 反応染料 CMYKLcLm

9	グレー	10%
10	ブラック	100%
11	シアン	100%
12	ライトシアン	100%
13	マゼンタ	100%
14	ライトマゼンタ	100%
15	イエロー	51%
16	ブルー	14%

最新の情報に更新

現在プリンタに設定してあるインクセット名と、各スロットのインクカラー、残量を表示します。

インク検出方法：指定

一般 | メディア | インク | バージョン

インクセット検出方法 ○ 自動 ◉ 指定

リア 酸性染料 CMYKLcLm

1	未検出	0%
2	未検出	0%
3	未検出	0%
4	未検出	0%
5	未検出	0%
6	未検出	0%
7	未検出	0%
8	未検出	0%

フロント 昇華転写 CMYKLcLm

9	未検出	0%
10	未検出	0%
11	未検出	0%
12	未検出	0%
13	未検出	0%
14	未検出	0%
15	未検出	0%
16	未検出	0%

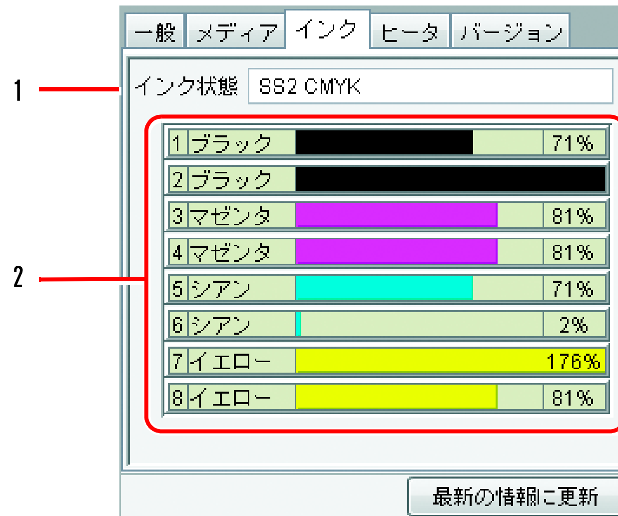
最新の情報に更新

リア・フロントのインクセットが選択できるようになります。プリンタに搭載のインクセット用ではないプロファイルを使用してプリントする場合、“指定”を選択し、出力したいプロファイルと同じインクセットを選択します。

重要! プリンタ本体にインクカートリッジが挿入されていない場合、インク情報を正しく表示できない場合があります。
インク情報を表示するには、プリンタ本体にインクカートリッジを正しく挿入してください。

“ インク ” 情報(TPC/TS3/TS5)

プリンタにセットしてあるインクの情報を表示します。



重 要! プリンタ本体にインクカートリッジが挿入されていない場合、インク情報を正しく表示できない場合があります。
インク情報を表示するには、プリンタ本体にインクカートリッジを正しく挿入してください。

1. インク状態

インクセット名を表示します。

2. 各スロットのインク色と残量

各スロットのインクカラーと残量を表示します。

“ ヒータ ” 情報(TPC/TS3/TS5)

プリンタに搭載しているヒーターの情報を表示します。

一般 | メディア | インク | ヒータ | バージョン

プリヒータ
ヒータ温度 39 °C
ヒータ状態 使用可能

プリントヒータ
ヒータ温度 40 °C
ヒータ状態 使用可能

アフターヒータ
ヒータ温度 50 °C
ヒータ状態 使用可能

最新の情報に更新

“バージョン” 情報

機種情報を表示します。

一般 メディア インク バージョン

モデル名	Tx3-1600
エンジンバージョン	3.10
コマンド名	MRL-IF
コマンドバージョン	1.00

最新の情報に更新

出力ポートが IEEE1394、USB 2.0 以外の場合

設定のみできます。プリンタ情報は表示しません。

“ メディア ” 情報

メディア幅は “ 手入力 ” のみ設定可能です。
“ 左マージン ”、“ 右マージン ” の設定が可能です。

メディア
インク
メディアサイズ
幅
自動検出
0
手入力
1,600.0 mm
送り
ロール紙
右マージン
0.0 mm
左マージン
0.0 mm
最新の情報に更新

“インク” 情報(Tx3/TPC/TS3/TS5)

メディア　インク

インク状態　未検出

1	未検出	0%
2	未検出	0%
3	未検出	0%
4	未検出	0%
5	未検出	0%
6	未検出	0%
7	未検出	0%
8	未検出	0%
9	未検出	0%
10	未検出	0%
11	未検出	0%
12	未検出	0%
13	未検出	0%
14	未検出	0%
15	未検出	0%
16	未検出	0%

最新の情報に更新

“インク” 情報(DS シリーズ / Tx2 シリーズ)

DS シリーズ、Tx 2 シリーズのみ設定可能です。

“インクセット検出方法”は“指定”のみ設定可能です。

接続するプリンタに搭載されているインクセットを選択してください。

メディア インク

インクセット検出方法 自動

指定

リア 昇華転写 CMYKLcLm

1	未検出	0%
2	未検出	0%
3	未検出	0%
4	未検出	0%
5	未検出	0%
6	未検出	0%
7	未検出	0%
8	未検出	0%

フロント 昇華転写 CMYKLcLm

9	未検出	0%
10	未検出	0%
11	未検出	0%
12	未検出	0%
13	未検出	0%
14	未検出	0%
15	未検出	0%
16	未検出	0%

最新の情報に更新

付録

色取得機能と対応スキャナについて

スキャナを使ってカンプなどの原稿とデータの色味を合わせて出力（色取得機能）することができます。

ここでは、色取得機能を使用するときにスキャナドライバで設定する項目ついて説明します。お使いになるスキャナの機種に応じて、本書で説明しているスキャナドライバの設定を行ってください。

対応スキャナ

色取得機能では、以下のスキャナに対応しています。

EPSON GT-X800

重要！

- スキャナ本体、およびスキャナドライバの操作方法や注意事項については、スキャナに同梱の取扱説明書を参照してください。
- 色取得機能を使用する場合、本書に記載された設定値を使用してください。
  取得される色の精度に影響が出ます。
- スキャナを本ソフトウェアの色取得機能以外に使用している場合、スキャナドライバのデフォルト設定値が変更されています。
  本ソフトウェアの色取得機能で使用する場合、設定値の確認をしてください。

スキャナドライバの設定内容

色取得機能で使用するスキャナの機種を選択し、 スキャン開始 をクリックすると、スキャナドライバの画面が表示されます。

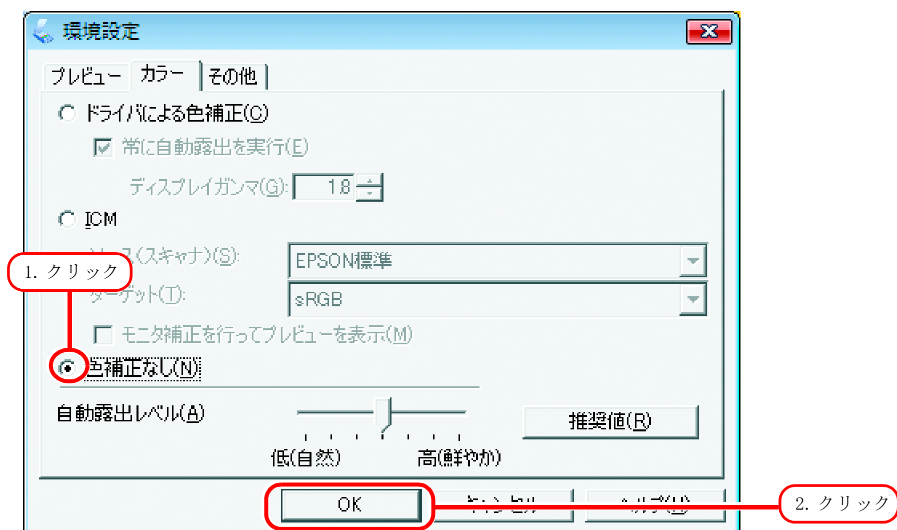
以降で説明する設定で画像データの取り込みを行ってください。

EPSON GT-X800 をお使いの場合

1 スキャナの動作が始まってから、しばらくするとスキャナドライバの画面が表示されます。以下のような設定をして、 環境設定 をクリックします。

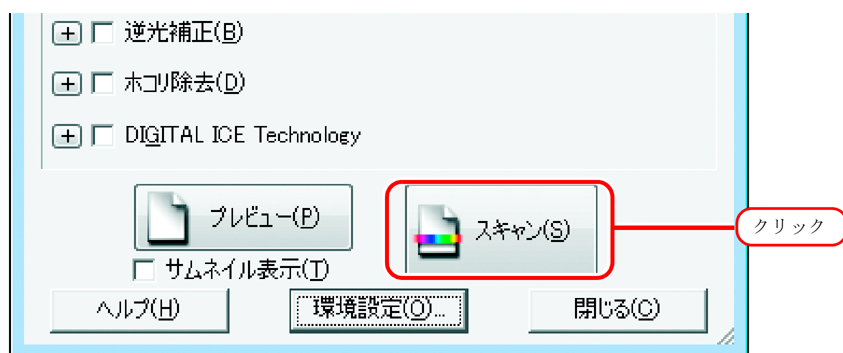


2 ［環境設定］画面の［カラー］メニューで［色補正なし］を選択して、 OK をクリックします。

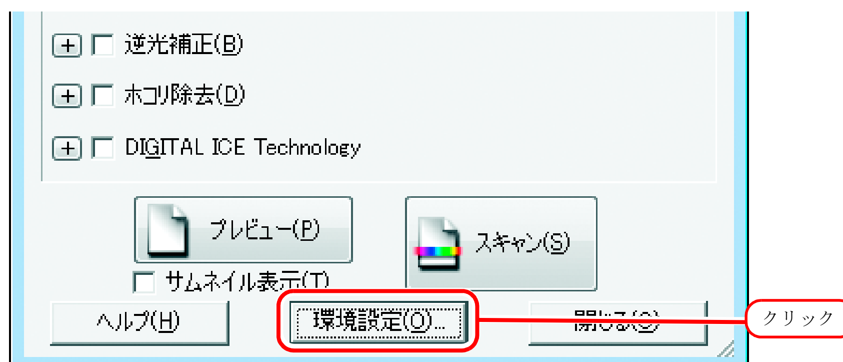


3 スキャン をクリックします。

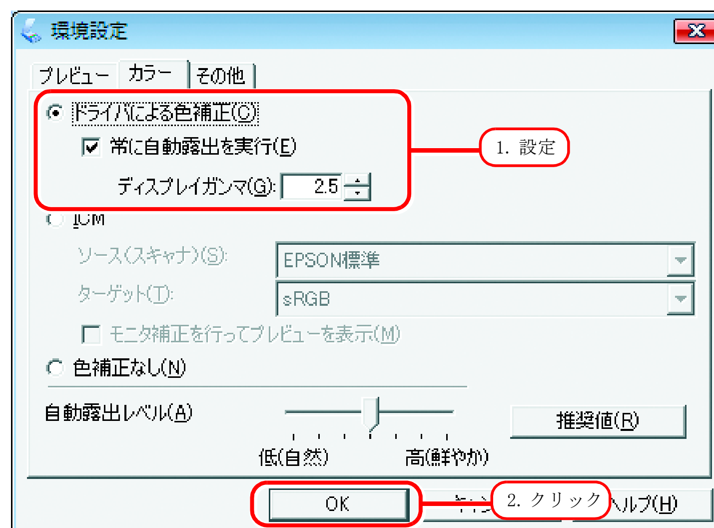
画像の取り込みが始まります。



4 画像の取り込みが終わると、再度スキャナドライバの画面が表示されます。そのままの設定で 環境設定 をクリックします。



5 ［環境設定］画面の［カラー］メニューで以下のような設定をして、OK をクリックします。



6 スキャン をクリックします。

再度画像の取り込みが始まります。



以上でスキャナの操作は終了です。

「原稿の色を取得する（色取得）」（P.111）を参照して、色取得機能の操作を進めてください。

索引

記号

.... 107

B

Back Space キー 82

C

CMYK....................................... 88
CMYK カラー 100
C 保持.................................... 73

D

Delete キー 82
DIC カラーガイド 115

I

ICM.. 73
IEEE1394............................. 167, 175
ILL 拡散................................. 137

K

K 保持.................................... 73

M

M 保持.................................... 73

S

S.. 138
SS....................................... 138
SSSS..................................... 138

U

USB 2.0.............................. 167, 175

V

VI 拡散.................................. 137

W

W.. 138
WS....................................... 138

Y

Y 保持.................................... 73

い

イコライゼーション (情報)................. 135
“ 一般 ” 情報............................. 167
移動 18, 148
イメージ 73
イメージ画像のハイライト部を特色インクで
強調する 121
イメージ全体 43
イラスト 73
色取得 93, 111
色置換 87
色置換セットの更新 98
色置換セットの削除 99
色置換セットの作成 97
色置換セットの選択 99
インクカーブ 79, 81, 84
インク指定リスト 82
インク状態 173
“ インク ” 情報....... 171, 172, 173, 176, 177
インク濃度の調整 77
インクリミット 79, 80
インクリミット値 77
印刷後カット 145
印刷後カットする (TPC のみ)................ 139
印刷後余白 138
印刷条件 152, 156
印刷条件の編集 133
印刷情報ラベル印刷 36
印刷濃度 123
印刷モード 134, 137

お

オートカット 145
送り 10
温度をプリンタに適用 143

か

カーソルキー移動量 10
回転 16
各スロットのインク色と残量 173
重ね印刷対象 123
重ね代 50
画像サイズ表示 10
画像編集 152, 154
片方向 138
カット条件の編集 145
カット設定サブメニュー 145

カットピンチローラー圧 145
カットライン 24
カットライン印刷 55
カバーオープン 167
カラー 94
カラーコレクション 93, 115
カラー調整 74
カラー調整セット 75
カラー調整セット名 75
カラー編集 72, 152, 155
カラーマッチング 72

き

キーボード 84
キーボードによる画像の移動 19
キャリブレーション 135, 144
キャリブレーション、イコライゼーション 144
キャリブレーション（情報）................. 135
近似タイプ 146

く

偶数列反転 59
グラデーション 88, 95, 108
グラデーション置換 108
グループ化 66
グループ化の解除 70
グレーバランス 73, 79

こ

更新 83
更新ボタン 83
合成順 122
合成順例 124
高速誤差拡散 137
固定配置 61
この取扱説明書について 4
コピー 20, 150
コピー、連続トンボを行ごとにカットする 145
コピー間隔 22
個別指定 46, 47
コントラスト 78
コントロールポイント 81, 82, 84

さ

サイズ変更 47
彩度（グラフィック）....................... 73
再配置 28
削除 141, 151
作図タイル選択 56, 57
サムネイル 94, 95
サムネイルリスト 10, 11, 148

し

シートフィード 146
シールコピー 32
指定 57
指定順クリア 57
指定色を反転表示する 93, 95, 107
自動検出 169
自動特色版合成 89, 122
出力階調 83
出力情報 93, 95
出力ポートが IEEE1394、USB 2.0 以外の場合 .. 175
出力ポートが IEEE1394、USB 2.0 の場合 167
順次 27
条件管理 151
条件管理ウィンドウを表示する 158
条件セットの新規作成 158
条件の設定値を変更する 159
条件名入力ボックス 151
条件リスト 151
条件をジョブに適用する 161
状態 167
使用ヘッドユニット 139
情報表示 152
ジョブの編集 148
ジョブの編集中にグループ化するジョブを
追加 68

す

水平 30
スウォッチライブラリを作成する 107
スケール 14
全て表示 83
スポットカラー 87, 90, 100
スポットカラー・CMYK カラーの置換.......... 100

せ

整列 27, 149
整列方法 60
絶対的な色域を維持 73
設定画面 10
前回のカーブを表示 83
全ジョブに適用 162
全タイルに適用 45

そ

ソート 146
操作パネル設定値 142, 143
相対的な色域を維持 73
双方向 138
外枠カット 146

た

タイリング解除 42
タイリングプレビュー 40
タイリング編集 37, 42
タイル設定の前に画像編集をする 42
タイルの印刷順序を設定する 56
タイルのオプションを設定する 50
タイル番号印刷 54
タイルを印刷する 64

タイルを順次印刷する........................ 56
タイルを分割する........................... 45
タイルをレイアウトする..................... 59
縦横比固定入力............................. 14
単色....................................... 96
単色置換を設定する......................... 96
単色の置換................................ 110

ち

知覚的（画像）............................. 73
置換後の色................................. 96
置換情報一覧..................... 94，95，106
置換元の色................................. 96
中央合せ.............................. 29，61

つ

追加............................ 83，141，151

て

手入力.................................... 169
デバイス調整.......................... 134，141
デバイス調整セット........................ 141
デバイス調整セット入力ボックス............ 141
デバイス調整セットリスト.................. 141
デバイスプロファイル...................... 136
デフォルトカーブ........................... 83
デフォルトに戻す........................... 83
デフォルトに戻すボタン..................... 83

と

等間隔..................................... 45
特色...................................... 138
特色調整.................................. 120
特色調整セットを更新する.................. 129
特色調整セットを削除する.................. 129
特色版補正機能............................ 131
特色領域.................................. 123
閉じる.................................... 152
トリミング........................... 23，149
トリミング印刷............................. 23
トンボ目安線............................... 32

に

入力階調.............................. 81，83
入力情報.............................. 93，95
入力プロファイル........................... 73
任意の場所に配置する....................... 60
任意配置................................... 61

ね

ネスト..................................... 27

の

ノットレディ.............................. 167

は

“バージョン”情報.......................... 174
パネリング................................. 30
パネリング印刷............................. 30

ひ

“ヒータ”情報.............................. 173
左マージン................................ 169
ピッチ指定................................. 22
品質...................................... 122

ふ

複数印刷................................... 20
複数色置換を設定する.................. 93，95
複数ジョブの入れ替え....................... 11
複数のジョブを一度に印刷する............... 66
複数ページ................................ 147
プリヒータ................................ 142
プリンタステータス........................ 167
プリント長................................ 168
プレビュー................................ 107
プレビュー画面........................ 95，96
プロファイル情報..................... 134，140
プロファイル設定値.............. 139，142，143
プロファイルの絞込み...................... 136
プロファイルリスト........................ 134
分割位置の微調整........................... 48
分割間隔................................... 40
分割線を点線で印刷......................... 53
分割マーク................................. 40

へ

ヘッド高さ................................ 168
ヘッドワイパ状態.......................... 168

ほ

補間方法................................... 83
ホットフォルダ.................. 152，153，163
ホットフォルダとプリンタドライバの削除.... 165
ホットフォルダとプリンタドライバの作成.... 163
本文中の表記について........................ 4

ま

マークについて.............................. 4

み

右下コーナー............................... 44

右マージン 169
ミラー 17

め

メディア厚 170
メディアサイズ送り 169, 170
メディアサイズ取得 10
メディアサイズ幅 169
メディア残量（TPC） 170
“ メディア ” 情報. 169, 175
メディア幅 10
面付け 67

も

元に戻す 83
元に戻すボタン 83

ゆ

ユーザー定義 142, 143
ユーザ定義 139
有効 72

よ

用語について 4
余白指定 22

り

リニアライゼーション 80
リモートアイドル 168
リモートアクティブ 168

れ

レイアウト設定 41
レイアウトプレビュー 10, 12, 41
レンダリング 72

ろ

ローカルアイドル 168
ローカルアクティブ 168
ローラーマージン 34

わ

ワークサイズの設定 43
ワークの移動 44
ワークの設定をする 43
ワーク枠 40



D202032-15-11082011

NH
SW:2.4